

大崎上島町

第Ⅲ期健康増進計画・食育推進計画（案）

目次

第1章 計画の概要

1. 計画の基本事項.....	1
(1) 計画策定の背景・趣旨.....	1
(2) 計画の位置づけ	2
(3) 計画の期間.....	3
(4) 計画の役割.....	3
(5) 計画の策定・推進.....	3
(6) 進行管理	5
2. 第III期計画にむけた課題の整理.....	6
大崎上島町の健康を取り巻く状況.....	6
(1) 基礎データからの把握.....	6
(2) 関係機関、関係団体の取り組み成果と課題.....	7
(3) 健康に関する住民意識調査からの課題.....	22
(4) 目標達成状況・成果・課題.....	27
①生活習慣病・循環器疾患・糖尿病…27 ②がん…30	
③食生活・食育…31 ④身体活動・運動…33 ⑤休養・こころの健康…34	
⑥たばこ…34 ⑦飲酒…35 ⑧歯・口腔の健康…36	
⑨高齢期の健康・フレイル…37 ⑩感染症対策…38 ⑪こどもの健康…38	
3. 基本的な方向	39
(1) 計画の目指すもの 基本理念	39
(2) 取り組み方針	40
(3) 施策の体系.....	42

第2章 具体的な取り組み及び目標

1. 総括目標	43
2. 具体的な取り組み及び目標.....	43
(1) 主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の推進.....	43
①がん…44 ②生活習慣病・循環器疾患・糖尿病…45	
③骨粗しょう症…47	
(2) 望ましい生活習慣の確立改善	48
①食生活・栄養…48 ②身体活動・運動…50 ③休養・こころの健康…51	
④たばこ…52 ⑤飲酒…53 ⑥歯・口腔の健康…54	
(3) 食育の推進.....	55
①食育…55	

(4) ライフステージに応じた健康づくりの推進.....	56
①次世代・こどもの健康…56 ②働き盛り世代の健康…58	
③高齢期の健康・介護予防の推進…59	
(5) 地域で健康を支え守るための社会環境整備.....	61
①地域ぐるみの健康づくり…61	
(6) 地域ぐるみ、関係機関・団体の取り組み	62

資料編

1. 大崎上島町の健康状況.....	66
(1) 人口・世帯.....	66
(2) 平均寿命・健康寿命	69
(3) 主要死因	70
(4) 特定健診・特定保健指導	71
(5) 国保医療費・生活習慣病有病者	73
(6) 歯と口腔	75
(7) 精神保健・自殺死亡率.....	75
(8) 介護保険	77
(9) 後期高齢者医療費・受療状況.....	77
2. 健康に関する住民意識調査のまとめ	78
3. 目標値一覧.....	87
4. 策定推進体制	97
(1) 健康増進計画策定推進委員会設置条例.....	97
(2) 健康増進計画策定推進委員会名簿.....	98
(3) 策定経過	99
(4) 健康づくり地域会議実施経過	100
5. 用語説明	105
6. 健康に関する住民意識調査票	106
(1) 一般住民	106
(2) 小中学生	114

第1章 計画の概要

1. 計画の基本事項

(1) 計画策定の背景・趣旨

<社会環境の変化>

わが国は、生活水準の向上や医療技術の進歩等により、平均寿命、健康寿命とも延伸し、世界有数の長寿国となりました。これまで基本的な法整備が進んだほか、多様な主体が健康づくりに取り組み、デジタル技術の活用も進んでいます。

近年では、新型コロナウイルス感染症の拡大を経て、生活様式の変化や新たな感染症拡大への脅威の認知も広がりました。また、高齢化の急速な進展、認知機能や身体機能の低下による要介護者の増加、食習慣や生活習慣、労働環境に起因する疾病や、ストレスによる心の問題など、社会が多様化するなかで健康に関わる問題は多岐にわたっています。

<国・広島県の方針・動向>

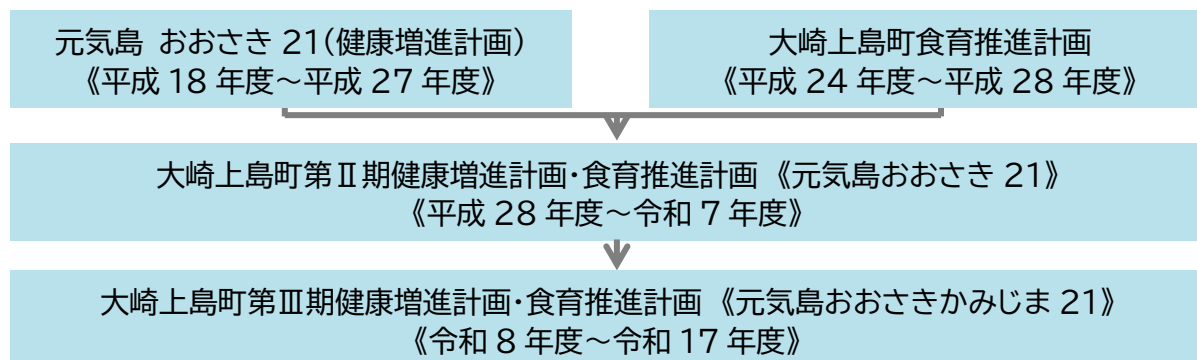
国においては、「健康日本 21（第三次）」が令和 6 年 3 月に策定され、「すべての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」に向け、「誰一人取り残さない健康づくり」と「より実効性をもつ取り組みの推進」を基本方針とすることが示されました。また、個人の行動と健康状態の改善に加え、個人をとりまく社会環境整備やその質の向上を通じて健康寿命の延伸及び健康格差の縮小を実現することとしました。

広島県においては、令和 6 年 3 月に「健康ひろしま 21（第 3 次）」を策定し、「県民誰もが、より健やかに、安心して、生きがいを持ちながら自分らしく暮らし続けられる社会の実現」を目指し、人生 100 年時代を念頭に取り組みを進めています。

<大崎上島町の考え方>

大崎上島町では、平成 28 年 3 月に「大崎上島町第Ⅱ期健康増進計画・食育推進計画（元気島おおさき 21）」を策定し、「いきいき暮らし、つながる元気島おおさきかみじま」を基本理念として、健康な暮らしの実現に向けた取り組みを進めてきました。

この度、計画の最終年度にあたることから、これまでの成果と課題を明らかにし、住民の皆様のご意見を踏まえ、健康づくりに関わる各機関よりご参画いただいた計画策定推進委員会での議論を経て、本町の総合的な健康増進・食育推進の指針として本計画を策定します。



(2) 計画の位置づけ

大崎上島町健康増進計画は、健康増進法第 8 条 2 項の規定に基づく「市町村健康増進計画」として策定するものであり、国の「健康日本 21（第三次）」や県の「健康ひろしま 21（第 3 次）」に対応するものです。

また、大崎上島町食育推進計画は、食育基本法第 18 条第 1 項に基づく「市町村食育推進計画」として策定するものであり、国の「第 5 次食育推進基本計画（策定中）」や県の「第 4 次広島県食育推進基本計画」に対応するものです。

そして、本計画は、「大崎上島町第 3 次長期総合計画」（令和 7 年度～令和 16 年度）において、保健福祉部門に位置づけられる計画であり、保健福祉部門の各種計画等との連携を図りながら推進します。

大崎上島町第 3 次長期総合計画《令和 7 年度～令和 16 年度》 『海景色の映えるまち』～瀬戸内海から幸せつなぐ「豊かな自然と学びの島」～

基本目標1	大崎上島を愛する人が育ち・集まるまち
基本目標2	元気に充実した日々を過ごし、安心して住み続けられるまち
基本目標3	活気に溢れ、安全で快適な住みやすいまち
基本目標4	住民に寄り添い、力をあわせて、みんなでつくるまち

主な施策

- 健康づくりの推進 | 生活習慣病の発症・重症化予防／心の健康づくり／健康づくり体制の整備、食育の推進
- 高齢者支援の充実 | 地域包括ケアシステムの深化と推進／認知症施策の推進／高齢者への保健事業と介護予防の一体的な取り組み 等
- 障がい者支援の充実 | 住み慣れた地域における福祉基盤の充実／一人ひとりが輝き活躍できる地域の推進／誰もが安心安全に暮らすまちづくり

健康増進計画

「健康増進法」第 8 条に基づく「市町村健康増進計画」であり、住民一人ひとりが健康的な生活習慣を身につけ、健康寿命を延ばせるように、健康づくりに対する基本的な考え方を取りまとめた計画

食育推進計画

食育基本法第 18 条に基づく「市町村食育推進計画」であり、今後の食育推進の方向性を定めるとともに、食に関する施策を総合的・計画的に推進するための基本的な考え方を取りまとめた計画

(3) 計画の期間

計画期間は、令和 8 年度から令和 17 年度までの 10 年間とします。なお、中間年となる令和 12 年度に中間評価（点検）を行い、計画の進捗状況や国・県等の動向、社会情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

《計画期間》

令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度	令和 14年度	令和 15年度	令和 16年度	令和 17年度
計 画 策 定	第Ⅲ期健康増進計画・食育推進計画									
					中間 評価					最終 評価

(4) 計画の役割

本計画は、住民一人ひとりが実践する健康づくりを推進するための基本方針を示すものです。家庭・学校・職域・地域などが一体となって、健康づくりの展開と健康づくり環境の向上を図るため、町・学校・関係団体・事業所等、地域で健康づくりを推進する主体の指針となります。

(5) 計画の策定・推進

本計画の策定及び推進にあたっては、健康づくりを住民の身近な課題として住民参画・協働で検討・推進していくことを基本としています。また、関係機関における連携によって、計画の充実を図り、実効性を高めることも重要です。

このため、令和 6 年度には住民及び小・中学生を対象に、健康や食育に関するアンケート調査を実施しました。また、令和 7 年 9 月から 10 月にかけて、関係機関における取り組みの現状や実績、今後の取り組みに関する意見を記入式により収集・整理しました。

さらに連絡区単位毎に健康づくり地域会議を実施し、健康に関するアンケート結果やまちの健康状況等を報告し、各地域の取り組みやまちの健康づくりについて意見交換等を行いました。

このような住民アンケート調査や関係機関、地域住民から得られた情報を整理し、日常生活における住民の状況や、健康に関する意見等を計画に反映するよう努めました。

①健康に関する住民意識調査

令和 6 年 12 月～令和 7 年 1 月にかけて、住民及び町内小中学生を対象に、健康に関する住民意識調査を実施しました。住民の健康づくり、生活習慣、食育に関する現状やニーズを把握するとともに、第Ⅱ期計画における指標の達成状況を点検し、第Ⅲ期計画における目標値設定に活用することとします。

●調査概要

区 分	調査対象	調査方法	対象者数
① 住民	令和 6 年 12 月 1 日時点で 20 歳以上の町民	無作為抽出（手作業抽出） したデータを基に、郵送に よりアンケートを送付	1,495 人
② 小・中学生	町内小学生（4～6 年生） ・中学生	各学校長に、アンケートの 配布、回収の協力を依頼し て、各学校で実施	291 人
合 計			1,786 人

●回答状況

区 分	発送数	回収数（回収率）	有効回答数	有効回答率
① 住民	1,495 件	748 件	748 件	50.0%
② 小・中学生	291 件	276 件	270 件	92.8%

②大崎上島町健康増進計画策定推進委員会

本計画の策定・推進にあたっては、大崎上島町健康増進計画策定推進委員会において、検討・協議しながら進めていきます。計画策定後も策定委員会に進捗状況等を定期的に報告し、具体的な推進について検討・協議等を行いながら推進していきます。

また、令和 7 年 9 月から 10 月にかけて、委員が所属する各団体・機関において、取り組みの現状や今後の取り組みに関する意見を収集・整理し、計画策定の基礎資料とします。

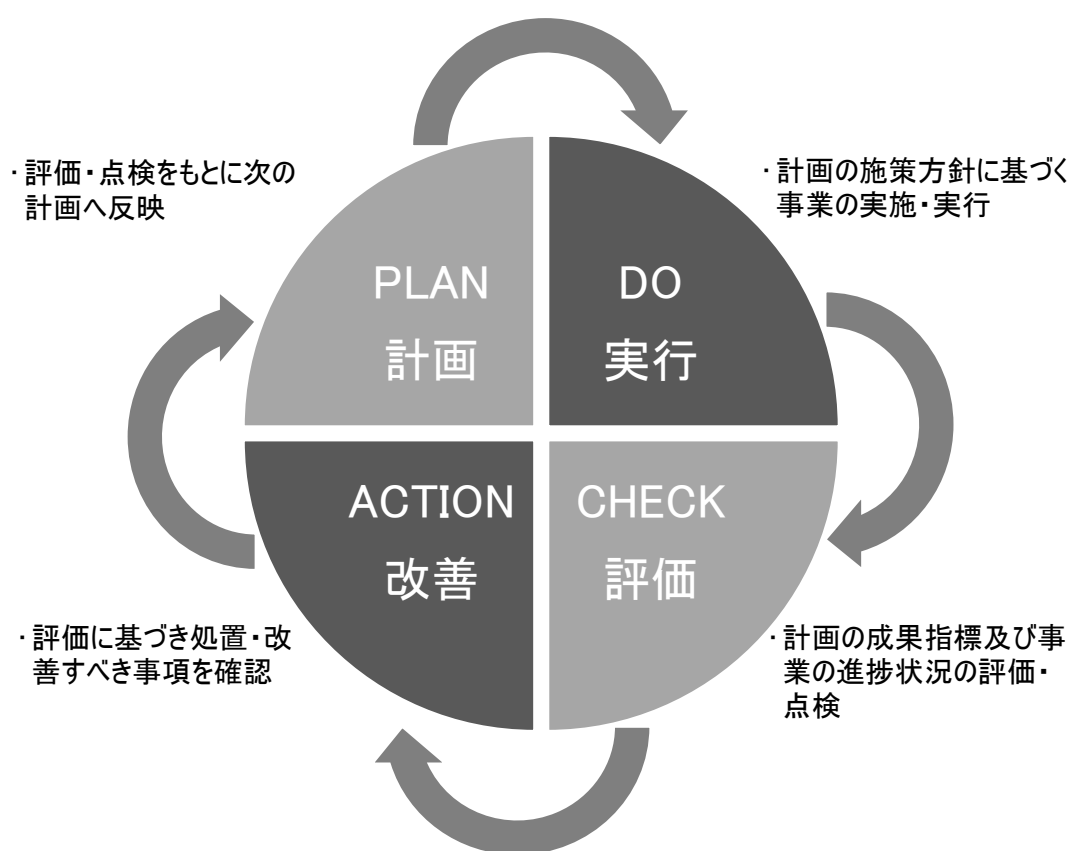
③健康づくり地域会議

各地域の取り組みやまちの健康づくりについて出された意見や提案を健康増進計画策定推進委員会に報告し、具体的な取り組みや計画策定につなげていきます。

(6) 計画の進行管理

本計画の着実な実行に努めるため、年度ごとに計画の進行状況の取りまとめを行うとともに、「健康増進計画策定推進委員会」において計画の評価検証等を行い、「計画（PLAN）－ 実施・実行（DO）－ 点検・評価（CHECK）－ 処置・改善（ACTION）」の「PDCA マネジメントサイクル」に基づく、計画の評価・点検を行います。

<PDCA マネジメントサイクルに基づく計画の評価・点検>



2. 第Ⅲ期計画にむけた課題の整理

大崎上島町の健康を取り巻く状況

(1) 基礎データからの把握

人口・世帯	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民基本台帳では、令和 7 年 1 月 1 日で、人口 6,779 人、4,198 世帯である。0～14 歳が 466 人で 6.9%、15～64 歳が 3,242 人で 47.8%、65 歳以上は 3,071 人で 45.3%である。 ○ 令和 3 年と令和 7 年を比較すると、人口・世帯数ともに減少している。高齢化率は令和 7 年に 45.3%と高い水準である。 ○ 自然動態では、令和 4 年は出生数 12 人、死亡数 183 人と自然減であり、その差は年々広がっている。
平均寿命・健康寿命	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均寿命は、広島県が男性 82.0 年、女性 88.2 年、大崎上島町は男性 81.8 年、女性 87.9 年と、男女ともに広島県より長い(令和 2 年度)。 ○ 健康寿命は、広島県が男性 80.40 年、女性 84.81 年、大崎上島町は男性 79.73 年、女性 83.26 年と、男女ともに広島県より短い(令和 3 年度)。 ○ 平均寿命から健康寿命を引いた不健康な期間の平均は、広島県で男性 1.42 年、女性 3.10 年、大崎上島町は男性 1.41 年、女性 3.30 年と、県平均より男性は短く、女性は長い(令和 3 年度)。
主要死因	<ul style="list-style-type: none"> ○ 死因は、悪性新生物と心疾患が多く、次いで老衰となっている。老衰が死因となる割合は年々高くなっている(令和 4 年度)。 ○ 男性の死因別割合では悪性新生物の割合が 35.6%で、女性(13.6%)と比べて割合が高い(令和 4 年度)(出典：広島県人口動態統計)。 ○ 死因となる悪性新生物の部位では、男性は気管・気管支及び肺が最も多く、次いで胃が多い。女性は膵、肝および肝内胆管、結腸の順に多い(令和 4 年度)。
特定健診・がん検診	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年～令和 6 年の特定健診受診率は、令和元年を除き広島県の受診率を下回っており、3 割前後で推移している。 ○ 令和 6 年の特定健診受診者のうち内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)と診断された者について、該当者 18.9%、予備軍 15.1%である。
生活習慣病有病者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和 7 年 5 月診療分の生活習慣病の疾病数のなかでも高血圧、脂質異常症、糖尿病の割合が高い。
国保加入者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1 人当たり医療費は、540,528 円と県内市町村の中で最も高く、全国の市町村平均と比較しても約 1.3 倍高い(令和 6 年度)(R5 全国平均：418,253 円)。
後期高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1 人当たり医療費は、1,064,954 円である(令和 6 年度)。
介護保険等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和 7 年 3 月末現在の要支援・要介護認定者(第 1 号被保険者)は 686 人である。認定者数は年々減少傾向にあるが、認定率は横ばいである。

詳細は資料編を参照

(2) 関係機関、関係団体の取り組み成果と課題

健康増進に関する活動を行う機関・団体からあげられた成果・課題は以下の通りです。

注) 分野番号

- ①生活習慣病・循環器疾患・糖尿病 ②がん ③食生活・食育 ④身体活動・運動
 ⑤休養・こころの健康 ⑥たばこ ⑦飲酒 ⑧歯・口腔の健康 ⑨高齢期の健康・フレイル
 ⑩感染症対策 ⑪こどもの健康

取り組み	成果	課題	分野
豊田郡医師会			
各医院で患者さんに指導している	・ますますあると考える	・認知症等、理解できない人にサポートを要す	①～⑪
よってみんな屋で月 1 回健康講座を実施	・参加者全員、健康を維持しており、①～⑪の注意事項の啓蒙に協力してくれている	・今年限りでの立ち退きを地主に通告されている ・行政、社協、郵便局で早急に代替場所の確保を要す	①～⑪
竹原豊田歯科医師会			
フッ素塗布 フッ素洗口	・1 歳～6 歳フッ素塗布事業、幼児・小学生のフッ素洗口及び口腔洗浄指導等により、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等の感染予防及びむし歯や歯周病予防に効果が出ている	・町内全小学校でのフッ素洗口予防が出来ていない ・全小学校での実施体制 ・口腔洗浄指導とインフルエンザ予防効果の理解、取り組みの実践	⑧⑪
社会福祉協議会			
木江・東野保健福祉センターの入口へ自動血圧計を設置	・自らの健康状態をチェックすることができる環境になっている	・自動血圧計を利用し、健康チェックする人を増やしていく必要がある	①
木江・東野保健福祉センターの館内は禁煙で、屋外に喫煙所を設置	・自分以外の人が吸っていたたばこの煙を吸う機会が減っている	・喫煙人口の増加を防ぎ、禁煙を行っていた人の再喫煙を防ぐ必要がある	⑥
ふれあいサロンの会食時に、食生活推進員の協力のもと、調理実習している	・栄養バランスや塩分量を考える機会になっている	・手軽に食べることでできるレシピ等を通じて、食に関する関心を高める必要がある	③
健康体操教室やストレッチ教室の開催	・週 1 回運動の機会になっている	・健康体操教室やストレッチ教室以外に、もう 1 回 30 分以上の運動を実施する必要がある	④
在宅介護者家族会の開催を支援	・定例会として 3 ヶ月に 1 回開催し、介護者の身体的・心理的な負担感の軽減につながっている	・在宅介護者家族会を知らない人や参加したことがない人に、参加することの様々なメリットを伝える必要がある	⑤

取り組み	成果	課題	分野
リフレッシュ交流会を企画、実施	・年 1 回開催し、介護者の仲間づくりとリフレッシュにつながっている	・自分のストレス解消方法が見つからない人に、リフレッシュ交流会へ参加することで、自分なりのストレス解消方法を見つけるきっかけとする	⑤
ふれあいサロン、よってみんなさい屋の参加者への見守りと声掛けを実施	・参加者の状態把握や欠席者への声かけ等さりげない見守りが行われている	・地域住民が主体となって見守りや声掛けに取り組んでいるが、担い手の不足から活動継続が難しくなっている	
ふれあいサロンの世話人やかみじまネットの協力員等、ボランティア活動を促進	・社会参加活動を通じて、介護予防につながっている	・誰でも気軽に参加しやすく、世話人や協力員が柔軟な活動ができる環境づくりが必要である	⑨
外出支援サービス事業を実施することにより、歯科への受診を支援	・歯や口腔の健康を保つことにつながっている	・定期的に歯科へ受診して、適切な治療を受けることで、オーラルフレイルを予防する必要がある	⑧
木江・東野保健福祉センターの入口へスタンド式非接触式検知器、足踏み式消毒液スタンドを設置	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの健康状態をチェックすることができる環境になっている ・感染症の予防対策として、手指消毒ができる環境になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンド式非接触検知器で体温をチェックする人を増やしていく必要がある ・足踏み式消毒液で手指消毒を行う人を増やしていく必要がある 	⑩
地域包括支援センター			
通所 C（短期集中生活機能向上リハビリ教室）の支援と参加呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年度（前期・後期）延べ参加者 13 名 ・参加者のリハビリ意欲の向上、いきいき百歳体操などの地域活動への参加が促進された 	・参加者枠が 6 名、事業対象者もしくは要支援 1、2 の方のみのため、利用者が限定される	④
社会福祉協議会と高齢者巡回相談員との情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・年 3 回実施 ・普段の見守り活動での困りごとや、支援が必要な方の発見ができ、スムーズなサービス利用に繋がった 	・旧 3 町での開催で、高齢者巡回相談員も仕事をされている方が多く、昼間に時間が取れない方が多い	⑨
ふれあいサロンで介護保険のことや介護予防につながるお話をする	<ul style="list-style-type: none"> ・年 3 回実施 ・本町における介護保険申請の仕組みや、相談窓口の周知、サービス利用について理解が深まった 	・町内に 25 か所ある中でわずか 3 か所しかお声がかかっていない	⑨
健康福祉課保険係といいき百歳体操での健康講座の開催支援	<ul style="list-style-type: none"> ・22 か所開催 ・介護保険の仕組みや、個別の指導で効果的ないきいき百歳体操の実施ができている ・フレイル等気になる方の発見ができる 	・支援の日だけ参加しない方がおり、情報が参加者すべての方に届いているわけではない	⑨

取り組み	成果	課題	分野
生活サポートセンターIらんど			
町主催の糖尿病講座に参加同行・糖尿病ふり返り勉強会開催	・糖尿病講座に当事者と一緒に参加し、意識づけは出来たと感じる	・直後は意識が高まるが、持続できない方がほとんどであること	①
Iらんど料理教室(2ヵ月に1回)	・バランスの良い献立、調理を楽しく学ぶ機会を提供できた	・参加者が固定しがちである ・新たな参加者への声かけ	③
地域活動支援センター体操教室(月に1回)	・運動指導士による体操教室は非常に好評で、参加者が多かった	・今後は運動を通じて、地域住民と障がいのある方が交流できる機会を作りたい	④
ひきこもり支援(訪問・社会参加のきっかけ作り)、メンタルサポート(悩み事相談・訪問・医療との連携)	・「こころの健康相談」に同行し、精神科受診に繋げることが出来た ・引きこもりがちな方をサービスにつなげたり、外出の機会を作った	・コンタクトの取れない引きこもりの方等、支援が行き届いていない方が多数おられる	⑤
感染症の予防(研修・マニュアルの確認)	・随時対策を行い、事業所内でのクラスターは発生していない	・継続して意識を持ち、実行すること	⑩
大崎上島幼稚園			
毎日の給食指導:給食試食会やたよりなどで食事(1回の食事量や食事の様子)について啓発	・保護者の食に対する意識が高くなってきている ・家庭でも、苦手な食材を食べさせるようになった	・園と家庭で食事の量に対する意識の差がある ・年齢に応じた食事の量等を啓発する必要がある	③
食育講座:町食育推進員さんによる食育講座及び親子クッキングを実施	・栄養に対する意識が高くなった。クッキングを通して、親子で作る楽しさを経験し、家庭での関わりにもつながっている		③
運動遊び:毎日、全園児での体操・かけ足に取り組んでいる	・運動能力テストの結果:年齢に応じた発達をしている。体を動かすことが大好きな子供になっている		④
虫歯予防教室:歯科衛生士さんによる歯磨き指導	・保護者の参加率が増え、虫歯予防への意識の高まりが伺えた ・仕上げ磨きを体験し、実施する家庭が増加した	・治療率が100%になるよう取り組む	⑧
感染症予防:基本的な予防対策の実施	・トイレ後、食事前、外出後の手洗いが定着してきた ・体調不良や感染症予防のため、様子を見てマスクを着用する家庭が増加した	・丁寧な手洗いに課題が残る。家庭への啓発を行うとともに、随時指導を行う	⑩⑪

取り組み	成果	課題	分野
小学校			
スナックスクール出前授業	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師による専門的な指導により、知識理解を深めることができた 	<ul style="list-style-type: none"> 人気があり、講座の申し込みを早くする必要がある 	③
学校応援隊給食試食会	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方に給食や食育の重要性を広めることができた 町の管理栄養士から減塩についての話があり、意欲が高まった 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は給食調理員さんの意見から急遽実施したが、学校のイベントとしてあらかじめ計画しておくとうい 	③
フッ素（毎週木曜日）	<ul style="list-style-type: none"> むし歯の予防 	<ul style="list-style-type: none"> しっかりと歯磨きをしてから行えていない児童がいる 	⑧
歯科衛生士による歯科保健指導（1年、4年）	<ul style="list-style-type: none"> 1年生は親子で参加のため、家庭への啓発にもつながっている 	<ul style="list-style-type: none"> 指導直後は効果が出ているが、一時的なものとなり、継続してできるようになってほしい 	⑧
生活がんばり習慣の取り組み（生活がんばりカード）	<ul style="list-style-type: none"> 子供の家庭での生活の様子が把握でき、指導につなげられる 親も意識して取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 課題が継続している家庭もある 	⑪
メディアコントロールデー	<ul style="list-style-type: none"> タブレットによる動画視聴やゲーム等、時間管理を意識する家庭が増えた。親も協力している 	<ul style="list-style-type: none"> 課題が継続している家庭もある 	⑪
中学校			
生徒委員会活動における給食の残食調べと食と健康に関する啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒委員会活動を通して、全校生徒を対象に成長期における食と健康の関係性や食べ物の大切さについて啓発した。その後、給食時に苦手なものを少しでも食べようと努力する生徒の姿が見られるようになった 	<ul style="list-style-type: none"> 偏食傾向や食が細い生徒に対する個別の支援が必要である 食と健康の重要性や食べる楽しさを感じることができるよう取り組みを進めていく 	③
自作弁当の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 季節の食材を調べ、自分で献立や調理方法を考え調理する体験を通して、和食の良さや自分で調理する楽しさや重要性を学ぶことができた 生徒の感想からいつも料理を作ってくれている家族や学校給食に対する感謝の気持ちが聞かれた 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校卒業後は自分でお弁当を作る機会が増えるので、今後も自作弁当の取り組みを継続し、生徒の自己管理能力の育成に努めていきたい 	③

取り組み	成果	課題	分野
体力測定	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から、全校一斉で体力測定を実施した 生徒や教職員が互いに声をかけ合うことで、生徒たちは自己記録更新を目指して一生懸命取り組むことができた 校内に握力計を常時設置することで、体力向上や生徒の興味・関心を高めることに繋がっている 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に運動に親しむ生徒を増やしていくために、町内の運動施設の利用や休憩時間の外遊びの啓発に努めていきたい 	④
長期休業前に全校生徒を対象にしたストレス対処法や SOS の出し方指導の実施	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラーや学級担任、養護教諭等が連携し、各学級でストレス対処法や SOS の出し方の指導を行った 生徒の感想からは「一人で悩みを抱えないように信頼できる大人に相談したい」という声が聞かれ、適切な援助希求行動を学ぶことができた 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階に応じた授業内容を検討する必要がある 生徒の特性や困り感に応じた支援となるように専門家と連携し努めていきたい 	⑤
歯科保健指導	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で歯科保健指導を実施した 食後の歯磨きの重要性や生活習慣との関係性についての学習を通して、給食後に歯みがきを行う生徒が増加し歯科検診の結果からは歯垢の付着している生徒の割合が減少した 	<ul style="list-style-type: none"> 行動変容に繋がらなかった生徒が一定数いる 意欲を高め、行動変容に繋げるために、個々の生徒の実態を把握し、個別の指導方法を工夫していく 	⑧
歯科衛生士による歯の染め出し体験や口腔と健康に関する講話	<ul style="list-style-type: none"> 歯の染めだし体験を通して、適切な歯の磨き方を学ぶことができた 生徒の感想からは、磨き残しがないように丁寧な歯磨きを心がけたいという声が聞かれた 	<ul style="list-style-type: none"> 行動変容に繋がらなかった生徒が一定数いる 意欲を高め、行動変容に繋げるために、個々の生徒の実態を把握し、個別の指導方法を工夫していく 	⑧
生徒委員会が行う歯みがきの啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒を中心に給食後の歯みがきチェックや啓発動画を作成した 歯みがきに対する興味や関心が高まり、生徒同士が声をかけ合い歯磨きを行う姿が見られるようになった 	<ul style="list-style-type: none"> 行動変容に繋がらなかった生徒が一定数いる 意欲を高め、行動変容に繋げるために、個々の生徒の実態を把握し、個別の指導方法を工夫していく 	⑧

取り組み	成果	課題	分野
学校教育課			
職場検診の受診勧奨	・教職員の健康意識の向上と健康の保持増進に寄与することができた	・再検査の未受診、生活習慣病改善のための継続支援など職場検診受診後のフォローが課題	①
教職員へのストレスチェック	・教職員のストレス状況の可視化や実態に基づく施策立案が図られた	・職場改善・個別支援体制などストレスチェック後のフォローが課題	⑤
食生活改善推進協議会			
牛乳・乳製品・地場産物を使った講習会	・各年代を通して、牛乳・乳製品の栄養的価値にあらためて気付かされる	・地場産物を使った料理の研修をこれからも継続していきたい	③
健康バンザ〜イッキング教室	・生活習慣病の予防と悪化の防止、低栄養予防、栄養バランスの良い食生活などの大切さを地域の方たちに広めることが出来る	・高齢化が進む中、参加者の方が減少してゆく ・一人でも多くの方が講座に参加して下さるよう、普及啓発をしていく	①
健康づくりのための睡眠	・睡眠がどれだけ私たちの生活に影響があるかということに改めて考えさせられた		⑤⑥
食育出前講座 ・幼稚園 ・中学校 ・高校、商船	・調理実習等は、ほとんどの生徒（幼〜商船）が楽しかったとのこと ・これからも食事が健康的な生活をするのにどれだけ大切かということを学んでほしい	・これからも必要に応じて推進員が食生活について話をしていく	③⑪
公衆衛生推進協議会			
検診をするよう啓発（早期発見が目的）	・キャンペーンをスーパー2店（フレスタ、ユアーズ）で年2回（検診の前）実施 ・申込みを忘れていた人が当日申し込むことで1人でも多くなる ・若い人には特に行くよう話をするとよく聞いてくれた	・町の検診以外の病院でも検診していることが分かったが、どのくらい割合か分からない ・若い人には特に検診をするようこれからの課題と思う（早期発見なら治る率が高いから）	①
平成22年から小中学校へ出前。コロナ禍で最近あまり行かない。 ※大人の脱煙道場は2回実施	・子どもたちにタバコの害について話すと、大人になって吸わないようにすると発表した ・脱煙道場で2名タバコをやめた（友人にすすめられてまた吸ったとの報告があった）	・タバコが売られている限り、吸わない率は100%にならない ・いったん吸い出して止められない人を多くみる。医師から吸うと死ぬと言われて止めたという人もいた	⑥

取り組み	成果	課題	分野
R5 年 11 月に歯科講演会を町民対象に実施（75 名参加）	<ul style="list-style-type: none"> 講演会のあと、質問がよくあり大変好評であった あとからのアンケートで、これから気をつけて歯をしっかりと守って長生きに繋げるよう意識してくれたことが良かった 	<ul style="list-style-type: none"> 生まれつき歯の悪い人、歯周病になりやすい人が、日頃の努力を怠らず注意しながら歯・口の検診をすることを願っている。（これから良い薬も出てくるし、少しは解消されるかも） 	⑧
月に 1 回フレイル健康ウォーキングを実施	<ul style="list-style-type: none"> 高齢になって参加できなくなり、入れ替わり新しい人が参加して中止することなく継続出来ていることは大変良いと思う いろんな人との出会いがフレイル予防につながっている 	<ul style="list-style-type: none"> 責任者がしばらくいなかったが、来年から責任者が決まりそうである もう少し参加者が増えるとよい 	⑨
豊田・竹原歯科衛生士会			
幼稚園、認定こども園、小学校 1 年生と 4 年生、中学 1 年生でのブラッシング指導	<ul style="list-style-type: none"> 中学生まで継続した指導が出来ている お口の発達時期に合わせた指導が出来ている 保護者の参加や参観日に合わせて指導の機会を作ってもらえた 中学校に歯磨きする場所を作ってもらえたので、昼食後に歯磨きをする生徒が増えた（0%→60%） 	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨き習慣の定着していない家庭への対応 	⑧
オーラルフレイル予防の各地区へのポピュレーションアプローチとオーラルフレイル予防教室	<ul style="list-style-type: none"> 各地区を回り、オーラルフレイルを知ってもらうことが出来た いきいき百歳体操と共にかみかみ百歳体操を取り入れてくれる地区が増えた 個人ごとに計測し、結果にアドバイスすることで、食生活や歯磨き習慣の見直しや受診につながった 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の関わりと、集いの場に参加していない高齢者のオーラルフレイル予防 	⑧
商工会			
健康診断受診の奨励	<ul style="list-style-type: none"> 2024 年度は職員全員受診 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も継続的な声掛けを行なっている 	①
年次有給休暇の取得率アップの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 2024 年の職員取得目標は年間 5 日以上 2025 年は 10 日以上 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みの積み重ねが重要 	⑤
ワクチン接種に係る助成	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ等の予防接種に対しての職員への助成措置の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 継続した取り組みが必要 	⑩

取り組み	成果	課題	分野
【今後、会員事業者向けに実施したいこと】	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病等の予防に関するパンフレットやチラシの全会員への送付 商工会の貯蓄共済加入者へ「健康診断助成金」制度の普及・周知等を行なう 		①②
老人クラブ連合会			
グラウンドゴルフ大会（2回）	<ul style="list-style-type: none"> 会員相互の親睦と健康増進に寄与し、健康寿命の延伸に貢献した 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の増加 	④⑤ ⑨
高齢者スポーツ大会（2地区）	<ul style="list-style-type: none"> 会員相互の親睦と健康増進に寄与し、健康寿命の延伸に貢献した 		④⑤ ⑨
野外研修（山口県柳井市）	<ul style="list-style-type: none"> 会員相互の親睦をはかるとともに見分を広めた 	<ul style="list-style-type: none"> 参加負担金が高額（8,000円） 	⑤⑨
高齢者総合教室（内容）ディップフラワー	<ul style="list-style-type: none"> 会員の親睦と、趣味の多様化がはかれた 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の増加 	⑤
講演会（消費被害防止と啓発講座）	<ul style="list-style-type: none"> 被害未然防止に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の増加 	
平和塔清掃・献花活動（月1回）	<ul style="list-style-type: none"> 戦没者慰霊ができた 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	④
地域活動（木江・東野地区発表会、1回）	<ul style="list-style-type: none"> 各地区の発表並びに地元の方によるフォークソングを聴き、楽しいひと時を過ごした 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の増加 	⑤⑨
夏休みラジオ体操	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進に良い効果があった 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の増加 	④⑨
百歳体操・サロンへの参加	<ul style="list-style-type: none"> 会員の親睦と健康増進に貢献した 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の増加 	③④ ⑤⑨
町民(高齢期ワーキング)			
百歳体操 毎週土曜日 9:30～	<ul style="list-style-type: none"> 20～25名毎回参加 健康維持に役立っている 安否確認できる 	<ul style="list-style-type: none"> 男性の参加者が少ない（5～6名と、1/4程度） 参加人数が増えない 	⑨
明朗会（老人クラブ） ・研修旅行 ・親睦会 等	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進と親睦 	<ul style="list-style-type: none"> 20人程度と参加者が少ない 会員の減少 	⑨
町民(子育て・成人期ワーキング)			
栄養バランスの良い食事作り	<ul style="list-style-type: none"> 良い効果があった 	<ul style="list-style-type: none"> 長期視点で（毎日ではなく）栄養バランスがとれていれば良いと思う 	③
ウォーキング実施	<ul style="list-style-type: none"> 歩く習慣が出来た 	<ul style="list-style-type: none"> 継続してのウォーキングが難しく、習慣づけが必要 	⑪
広島県西部東保健所			
歯科保健対策 ・管内市町の歯科保健事業に関する各種事業、データ等の把握と分析を行い、関係機関に情報提供	<ul style="list-style-type: none"> データを分析することにより、大崎上島町での歯・口腔についての健康課題を関係機関と共有することができた 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きデータ等の把握と分析を実施し、関係機関への情報提供を実施する 	⑧

取り組み	成果	課題	分野
<p>受動喫煙防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 改正健康増進法に基づき、住民から喫煙・受動喫煙についての情報提供に対し、現地確認・必要に応じて指導等を行っている 世界禁煙デー・禁煙週間に、庁舎内でポスター掲示など啓発を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 年間約 10 件の情報提供に対して、現地確認・指導を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き取り組みを実施する 	⑥
健康づくりに関する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> リーフレット等を年間約 1500 部、来庁者へ配布 健康増進普及月間を中心に、ポスター掲示による啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き取り組みを実施する 	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
うつ・自殺対策	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健相談（毎月、精神科医による面接相談）及び精神保健福祉相談（随時、保健所保健師による面接・電話相談）の実施による相談体制の充実を図った 管内大学生を対象とした出前講義を実施することにより、普及啓発を図ることができた 自殺予防週間及び自殺予防月間に、ポスター掲示等を実施し、普及啓発が推進できた 	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健相談について、開催方法や場所を見直ししながら実施しているが、参加者の地域が限定されている。引き続き、開催方法や場所等を見直ししながら、取り組みを推進する 管内の大学を対象とした出前講座や自殺予防週間・月間に応じ、掲示物による普及活動等の取り組みを行う必要がある 	⑤
精神保健福祉事業	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健相談（毎月、精神科医による面接相談）及び精神保健福祉相談（随時、保健所保健師による面接・電話相談）の実施による相談体制の充実を図った 	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健相談について、開催方法や場所を見直ししながら実施しているが、参加者の地域が限定されている 引き続き、開催方法や場所等を見直ししながら、取り組みを推進する 	⑤

取り組み	成果	課題	分野
精神障害者地域生活支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して暮らすことができるよう、関係機関と連携して精神障害者地域生活支援検討会を実施(年6回程度)し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を図った 精神障害者地域生活研修会(年1回)を開催し、管内住民の理解促進や関係機関の連携促進を図った 精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して暮らすことができるよう、管内の自立支援会議と連携を図った 	<ul style="list-style-type: none"> 市町の取り組みが、圏域でどのように連携し、課題解決に至るかの検討が必要である 支援者が孤立しない支援体制の構築に向けた検討が必要である 	⑤
ひきこもり対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもり状態にある本人や家族が適切な医療や社会資源につながるよう、家族会(ひきこもり家族のつどい)を実施(年6回)した 精神保健相談(毎月、精神科医による面接相談)及び精神保健福祉相談(随時、保健所保健師による面接・電話相談)の実施による相談体制の充実を図った 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、取り組みを行う必要がある 	⑤
依存症対策	<ul style="list-style-type: none"> アルコール関連問題啓発週間を中心にポスター掲示等を実施し、普及啓発が推進できた 管内大学生を対象とした出前講義を実施することにより、アルコール関連問題に関する普及啓発を図ることができた 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、普及啓発等の取り組みを行う必要がある 	⑤

取り組み	成果	課題	分野
感染症対策 感染症発生動向調査事業	<ul style="list-style-type: none"> 管内住民や関係機関に対し、感染症の発生予防のため、感染症の情報収集や情報提供を行い、感染症の発生予防及びまん延防止を充実を図った 感染症に対する相談対応等により、感染症の発生予防及びまん延防止を推進した 啓発資材の貸出、ポスター掲示や管内大学への健康教育を実施し、正しい知識の普及啓発が推進できた 机上演習等の実施による庁内連携体制の強化を推進した 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症に関する情報提供や相談対応、普及啓発活動等について、管内の感染症発生動向を分析し、分析結果を踏まえた取り組みを行う必要がある 	⑨
エイズ対策・性感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> 匿名・無料によるHIV検査及び梅毒検査の実施（月2回程度）や電話・面接相談を実施し、検査・相談体制の充実を図った ポスター掲示や管内大学への健康教育を実施し、正しい知識の普及啓発を図った 	<ul style="list-style-type: none"> 管内のエイズ・性感染症の発生動向を分析し、分析結果を踏まえた取り組みを行う必要がある 	⑩
食育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 広島県食育推進計画に基づき、6月の「食育月間」及び10月19日の「ひろしま食育の日」を含む週（広島食育ウィーク）において普及啓発を行う等、食育の推進を図った 「食育推進広島中央圏域連絡会議」において、圏域の「食」に関わる多様な機関によるネットワークを活用し、誰もが自然に健康になれる食環境整備の推進並びに地域特性に応じた食育の推進に関する協議を行い、連携体制の強化を図った 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き取り組みを実施する 	③

取り組み	成果	課題	分野
結核対策 結核対策特別促進事業 補助金交付事業	<ul style="list-style-type: none"> 結核患者に対する DOTS の実施や管理検診、接触者に対する接触者健診の実施により、結核の早期発見、早期治療によるまん延防止を推進できた 患者を中心とした支援となるよう、医療機関や高齢者施設、薬局等との連携体制を推進した 外国人患者が言語等の問題により、受診の遅れや治療中断につながらないように、外国人労働者就業事業者や留学生支援団体等関係機関と連携を推進した 結核定期健康診断に要する費用の補助金交付により、結核の早期発見・早期治療によるまん延を防止できた 高齢者施設職員等を対象とした結核・感染症対策研修会の開催(年2回程度)し、結核の現状や最新の知見を情報提供することで、結核・感染症の早期発見・早期治療を推進し、まん延防止を図った 管内の通いの場を対象とした結核健康教育を開催し、結核の現状や最新の知見を情報提供することで、結核・感染症の早期発見・早期治療を推進し、まん延防止を図った ポスター掲示や管内大学への健康教育を実施し、正しい知識の普及啓発を図った 	<ul style="list-style-type: none"> 管内の結核の発生動向を分析し、分析結果を踏まえた取り組みを行う必要がある 	⑨⑩

取り組み	成果	課題	分野
栄養改善対策	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養改善事業を推進するために、健康づくり従事者を対象とした研修会、食生活改善推進員等関係団体の支援等、人材育成及び健康づくり支援を図った ・加工食品の栄養成分表示に関して、消費者の意識啓発を図るため、リーフレットの作成、配布、健康教育等を実施した ・フレイル予防教材（たんぱく質を多く含む食品カード）を市町に提供し、高齢者の健康及びフレイル予防の啓発を支援した 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き取り組みを実施する 	③⑨
地域包括ケアシステムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムについてのヒアリングを行い、進捗状況について把握したことで、連携・支援体制の強化を推進した ・広島県伴走支援事業により、課題や今後の取り組みについての協議を行い、地域包括ケアシステムの推進を図った 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き取り組みを実施する 	⑨
広島中央地域保健対策協議会			
広島中央地域保健対策協議会 健康ひろしま21 推進部会を開催し、圏域の健康寿命の延伸を図るために、健康ひろしま21 計画の進行管理（課題解決に向けた計画の進捗状況把握、推進方策検討、実施、評価、見直し）を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各機関の取り組み状況・課題等を情報共有し、圏域の健康づくり推進のための協議を行うことで、健康ひろしま21 計画の推進を図ることができた ・栄養、食生活に関する圏域の具体的な推進方策に基づき、栄養成分表示を活用した健康教育（減塩）や野菜・果物ポスターの製作（栄養バランスに配慮した食生活）を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き取り組みを実施する 	①② ③④ ⑤⑥ ⑦⑧ ⑨
受動喫煙防止対策 ・受動喫煙防止・禁煙を目的とした普及啓発物品（ポケットティッシュ）の作成・配布による普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・管内市町、地区医師会、地区薬剤師会、地区歯科衛生連絡協議会、食品衛生協会、企業、大学等へ6000部配布し、住民へ広く普及啓発を行った ・配布先では、保健指導に活用するなど、効果的な普及啓発についても依頼した 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後より住民に広く普及啓発し、住民の行動変容につなげるよう啓発方法を検討する必要がある 	⑥

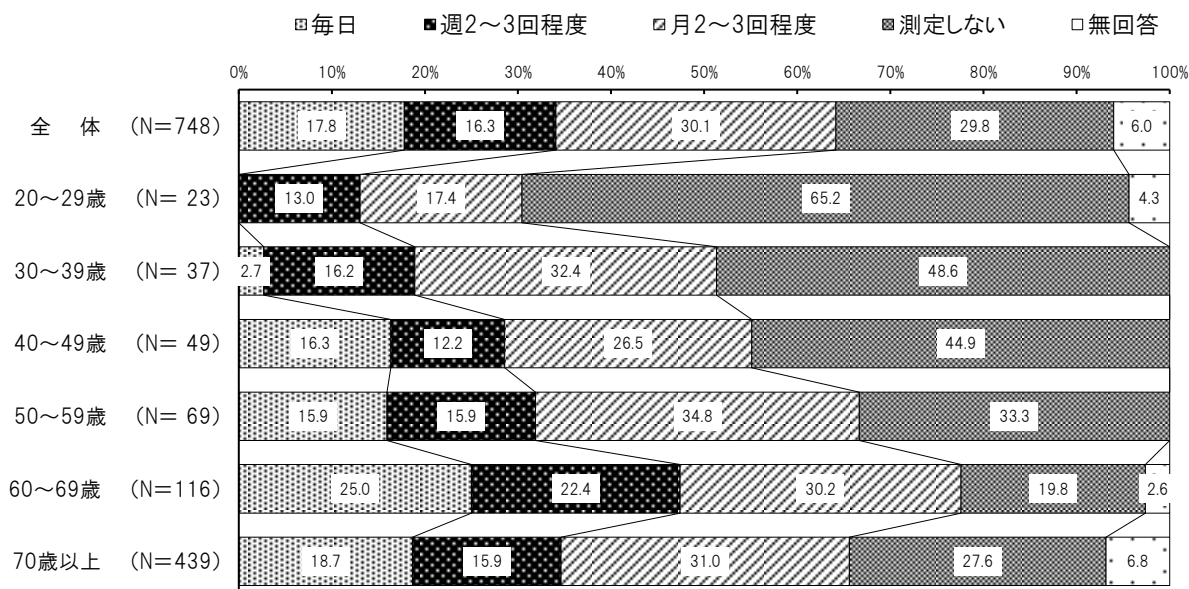
取り組み	成果	課題	分野
<p>がん予防対策</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診受診勧奨を目的とした普及啓発物品(クリアファイル)の作成・配布による普及啓発。 	<ul style="list-style-type: none"> 管内市町、地区医師会、地区薬剤師会、地区歯科衛生連絡協議会、食品衛生協会、企業、大学等へ6000部配布し、住民へ広く普及啓発を行った 配布先では、保健指導に活用するなど、効果的な普及啓発についても依頼した 	<ul style="list-style-type: none"> 今後より住民に広く普及啓発し、住民の行動変容につながるよう啓発方法を検討する必要がある 	②
<p>広島中央地域うつ・自殺対策協議会による、うつ・自殺対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と管内のうつ・自殺の現状を共有し、うつ・自殺防止について協議した(うつ医療連携検討会・年2回) 管内のうつ・自殺対策における医療連携の促進や再企図を防止するため、広島中央地域うつ・自殺対策医療連携研修会を開催した(年2回程度) 自殺対策関連の全国規模の専門研修へ関係者の派遣し、人材の育成を図った。 自殺再企図を防止するため、関係機関と連携した相談事業(いのちとこころの相談事業・随時)を実施した 自殺対策普及啓発に関する普及啓発資材を作成し、資材を活用して正しい知識の普及啓発が推進した 	<ul style="list-style-type: none"> 当圏域における20歳未満の自殺者の割合が、全国平均より高い傾向にあることから、医療機関や教育機関等関係者と連携した取り組みを行う必要がある 引き続き、関係者と連携して、うつ・自殺対策における課題解決の方策の検討が必要である いのちとこころの相談事業について、積極的な周知を図り、関係機関と連携して活用を促進する必要がある 	⑤
<p>広島中央地域感染症対策協議会による感染症対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と管内の感染症の発生状況を共有し、感染症の発生予防及びまん延防止について協議(感染症対策協議会・年2回)した。 感染症予防に関する研修会(年1回程度)を開催し、正しい知識の普及啓発を推進した 新型インフルエンザ等実地訓練を実施(年1回)し、新興感染症が発生した場合に、管内関係機関が連携して必要な医療を提供できる体制構築を推進するとともに、人材の育成を図った 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の広域的な医療連携体制を整備のため、同圏域の感染症発生動向を分析・共有し、課題解決の方策を検討する必要がある 関係機関と連携し、感染症危機に備え、平時から、関係者間のネットワーク強化を推進する必要がある 	⑨ ⑩ ⑪

取り組み	成果	課題	分野
広島中央地域地域保健対策協議会 地域包括ケアシステム推進部会	・各機関の取り組み状況・課題等を情報共有し、圏域の地域包括ケアシステム推進のための協議を行った（2回/年）	・引き続き取り組みを実施する	⑨
生涯学習課			
食を通じたまちづくり事業	・小学生に対する生涯学習機会の提供を行い、食の事業者や高校生と小学生がつながることができた	・参加する小学生が固定化されてきている ・事業費が高額であるため持続可能な形を検討していかなければいけない	③
地域経営課			
体験型修学旅行民泊体験における地産地消の推進	・来島した生徒に対して地元食材を使った食事の提供することで地産地消の推進が図られた	・さらなる地産地消の意識醸成	③
大崎上島地域の海辺を守る会による藻場の維持、回復に係る活動	・藻場の維持、回復活動を通じて、小、中、高校生が海の生態系について知るきっかけとなっている	・継続的な取り組みが必要となる	③
大崎内浦漁協によるアサリの潮干狩りの実施	・体験を通じた地産地消の推進につながっている	・継続的な取り組みが必要となる	③

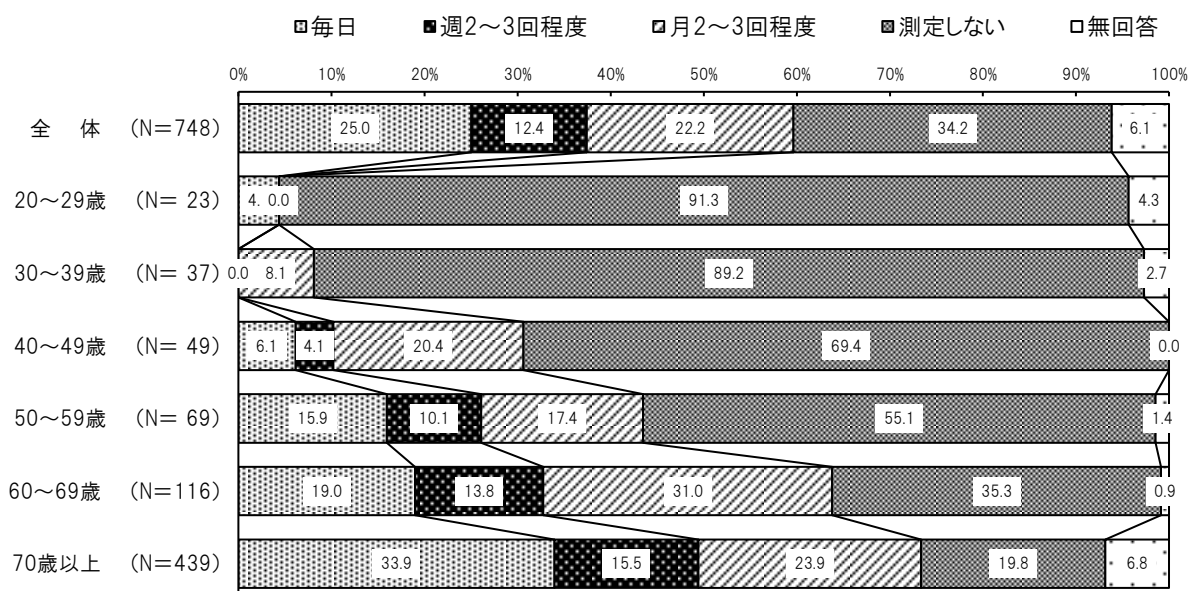
(3) 健康に関する住民意識調査からの課題

健康状態では、体重測定、血圧測定で、いずれも年代が下がるにつれて「毎日する」割合が低くなる傾向にあります。

問11① 体重測定をしているか〔%〕



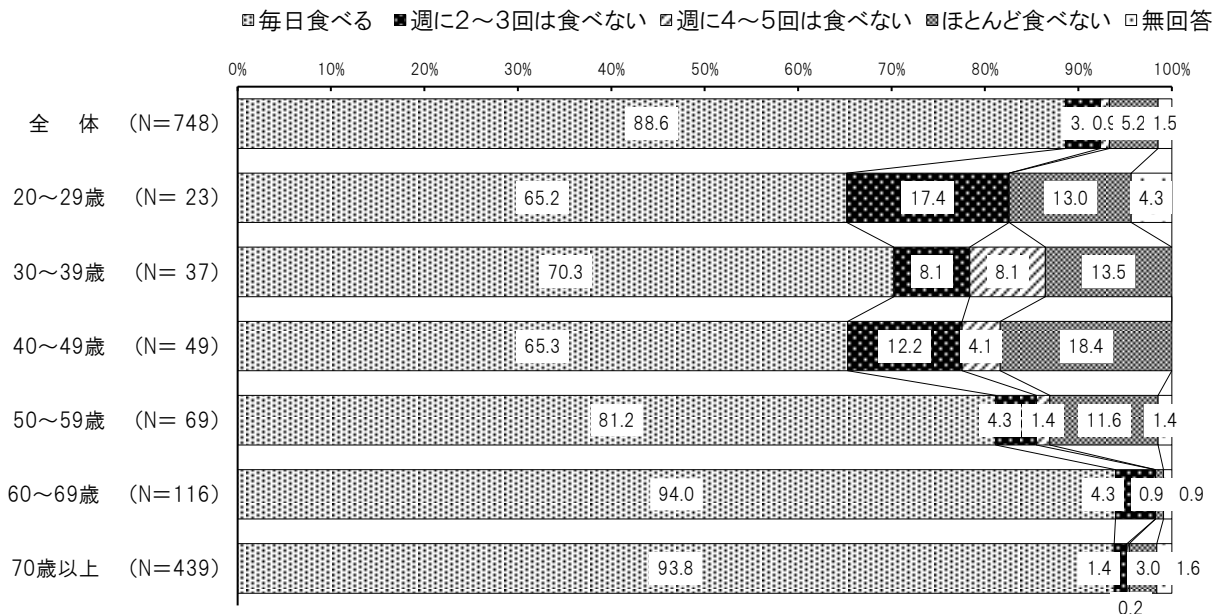
問11② 血圧測定をしているか〔%〕



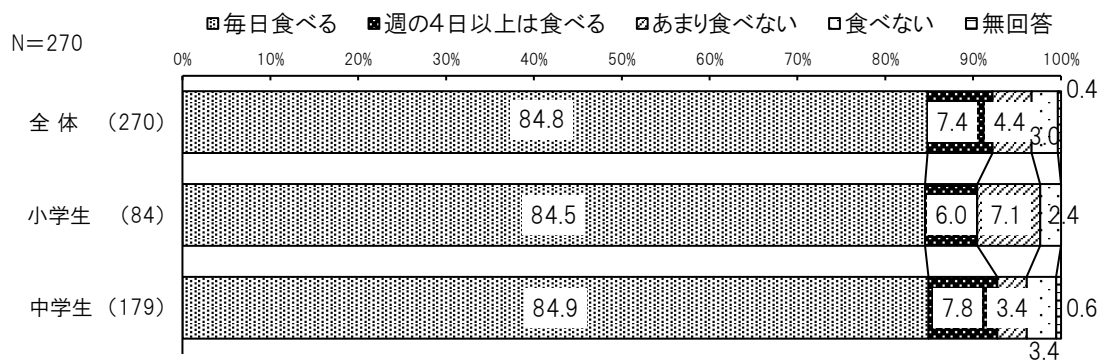
食生活では朝食の摂取状況で「毎日食べる」が 88.6%となっています。しかし「ほとんど食べない」は 5.2%であり、このうち 20 歳代～50 歳代ではそれぞれ 10%を超え、欠食率の高さがうかがえます。

小中学生では、朝食の摂取状況で「毎日食べる」が 84.8%となっています。食べない理由として、「朝は食欲がない、食べたくない」、「食べない習慣になっている」、「起きるのがおそくて食べる時間がない」が多く回答されました。

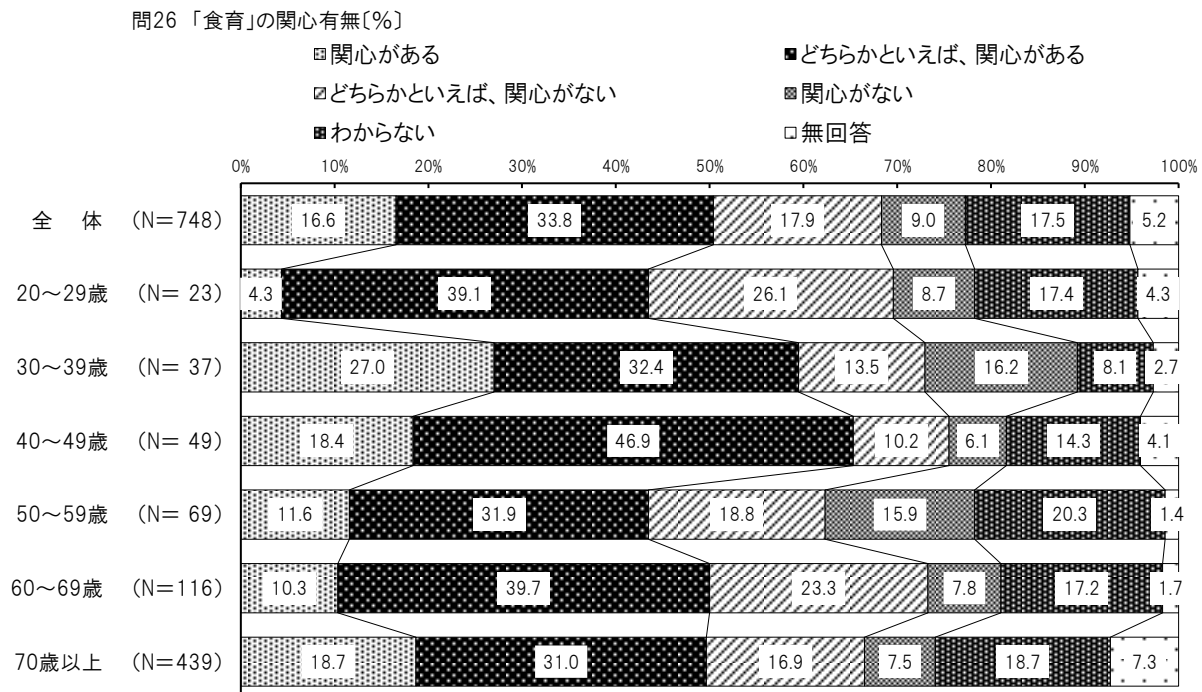
問17 朝食の頻度[%]



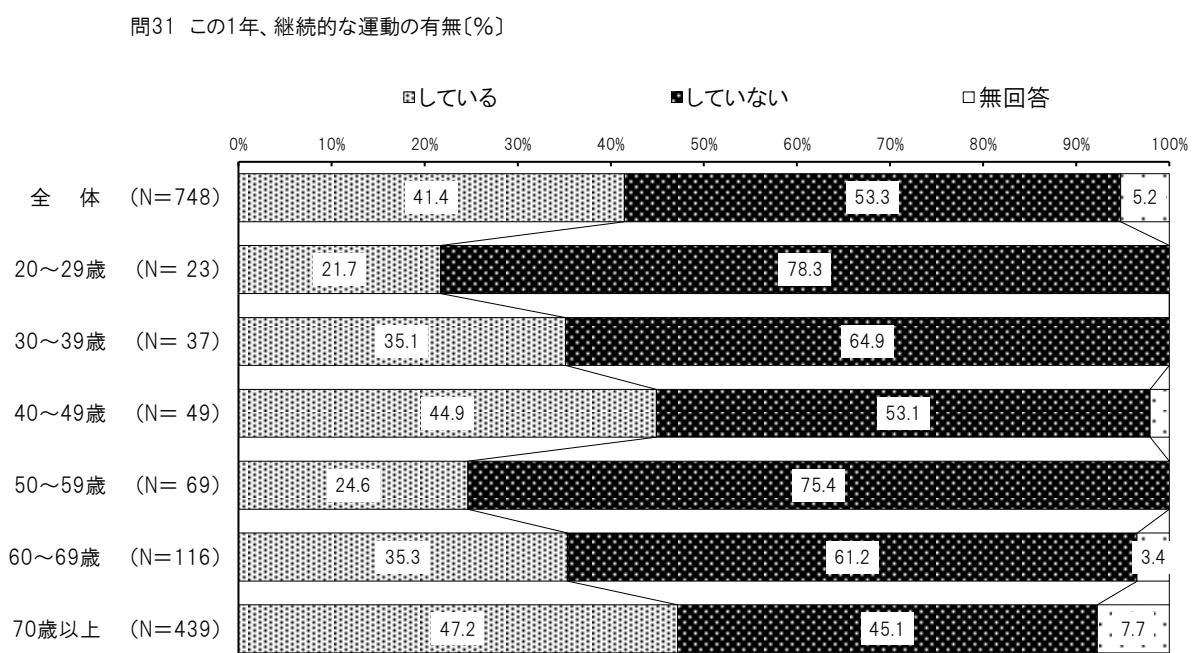
問14 朝食を毎日食べているか[%]



食育に関心をもっている人の割合は 50.4%です。関心がある理由として「生活習慣病有病者が増加しているから」、「食生活の乱れが問題になっているから」、「こどもの発育のために必要だから」が多いです。「関心がない」層も各年代に一定数おり、生涯を通した食育の必要性を訴えていく必要があります。

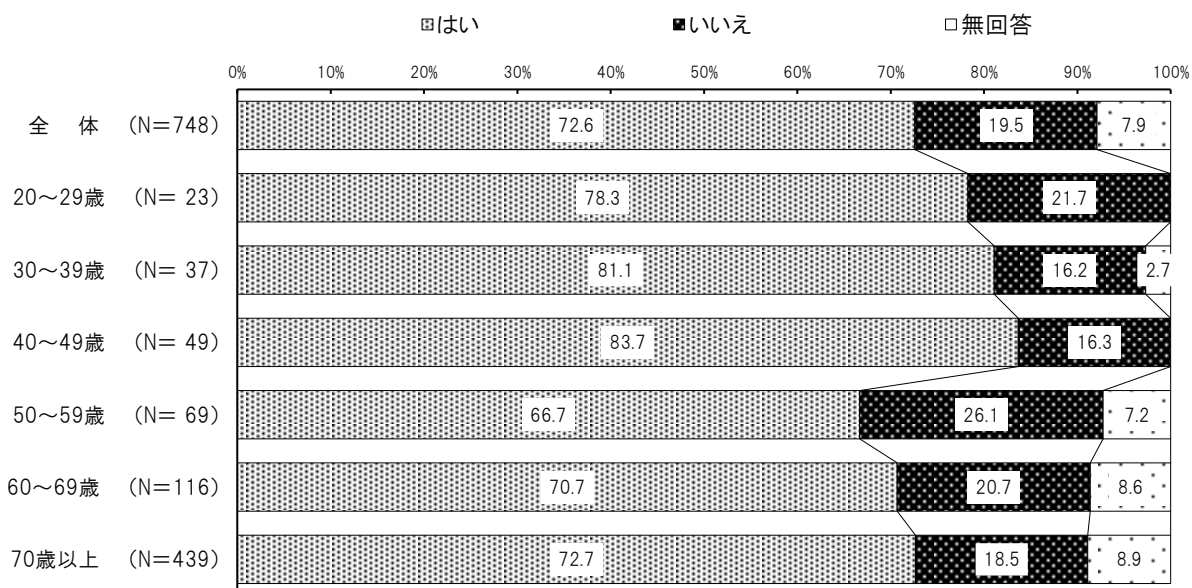


身体活動では、運動習慣者の割合は全体では 41.4%ですが、20 歳代、50 歳代の割合がともに 20%台と低いです。前回調査（令和 2 年度）と比較すると、30、40、60、70 歳代以上で習慣がある人の割合は増えており、特に 40 歳代は 18.3 ポイント上昇しました。



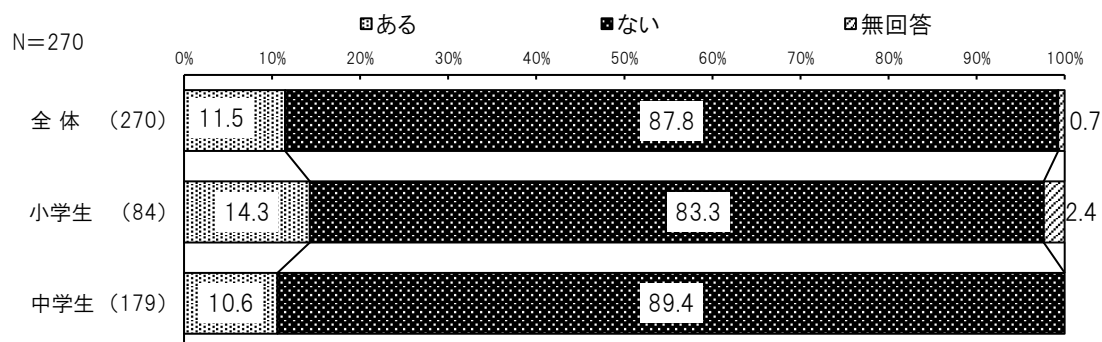
こころの健康では、悩みや不安を感じた時に相談できる人が「いる」割合は 72.6%である一方で、「いない」割合が 19.5%であり、公的機関で相談できる仕組みを周知する必要があります。

問48 悩みや不安を感じた時の相談者有無〔%〕



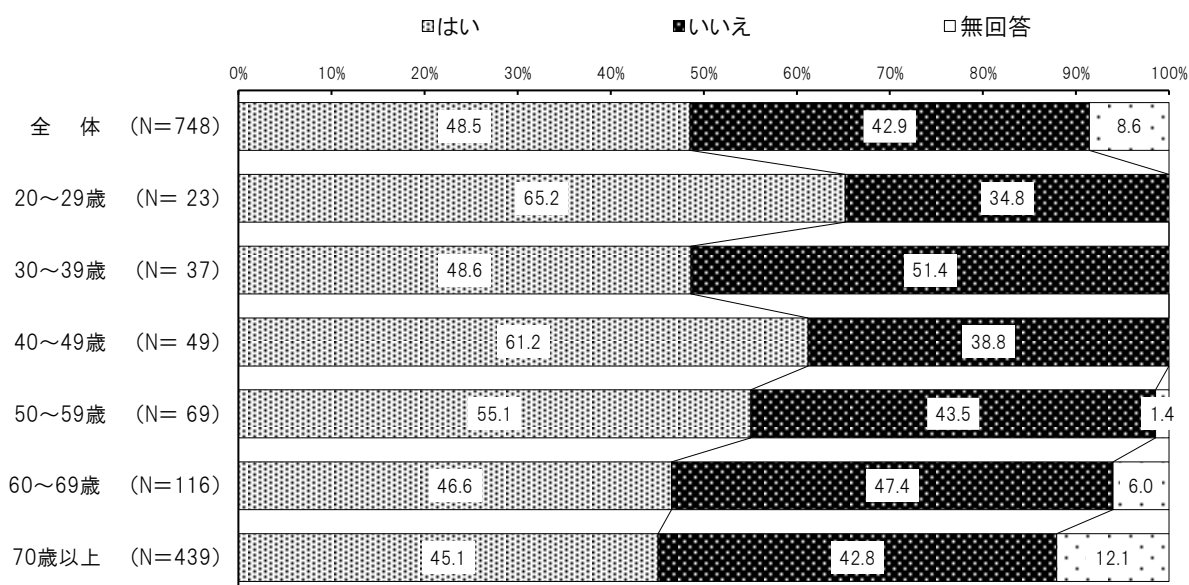
小中学生において「飲酒しようと思ったことがある」割合は 11.6%です。「大人にお酒をすすめられた」割合は 11.1%であり、周囲の大人の声掛けが影響していることがうかがえます。

問25 今まで飲酒してみようと思ったことがあるか〔%〕



地域活動に参加している高齢者（70 歳以上）の割合は 45.1%です。年代が上がるにつれて参加している割合は低くなる傾向にあり、壮年期からの継続した参加を促す必要があります。

問28③ 地域活動に参加している〔%〕



健康増進施策で力を入れてほしい事業として、「認知症に関すること」が32.1%と最も多く、次いで「特にない」「生活習慣予防、改善のために効果の出る運動について学習できる健康づくり教室や啓発に関すること」、「介護予防に関すること」、「心の健康に関すること」と続いています。

30 歳代で「親子食育教室や、子どもの料理教室など」が37.8%、「母親学級や離乳食講習会などの母子保健に関する事業」が24.3%、40 歳代で「学校と連携した小・中学生への喫煙防止対策などに関する事業」が20.4%と多くなっています。

Q76 健康増進施策で、力を入れてほしい事業は何ですか。（○はいくつでも）

複数回答		n	%
全体		(748)	
1	生活習慣病予防、改善のための食生活、料理に関する健康づくり教室や啓発に関すること	148	19.8
2	生活習慣病予防、改善のために効果の出る運動について学習できる健康づくり教室や啓発に関すること	189	25.3
3	親子食育教室や、子どもの料理教室など	54	7.2
4	心の健康に関すること	151	20.2
5	がんに関する講演会やシンポジウム	96	12.8
6	禁煙教室などのタバコ・アルコールに関すること	33	4.4
7	歯の健康づくりに関する事業	86	11.5
8	生活習慣病予防を目的に、料理を主とした大人対象の食育に関すること	89	11.9
9	介護予防に関すること	169	22.6
10	認知症に関すること	240	32.1
11	男性の料理教室	47	6.3
12	母親学級や離乳食講習会などの母子保健に関する事業	29	3.9
13	健康福祉まつりや栄養展などの普及啓発に関する事業	34	4.5
14	学校と連携した小・中学生への喫煙防止対策などに関する事業	37	4.9
15	食品衛生講習会などの食品に関する事業	51	6.8
16	性感染症やその他感染症に関する事業	38	5.1
17	がん患者の会	17	2.3
18	特にない	206	27.5
19	その他（力を入れてほしい健康増進施策）	15	2.0
無回答		78	10.4

(4) 目標達成状況・成果・課題

【第Ⅱ期健康増進計画・食育推進計画最終評価における目標値の評価区分について】

健康日本21（第三次）の5段階評価区分で評価しました。

- A 目標値に達した
- B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある
- C 変わらない
- D 悪化している
- E 評価困難

①生活習慣病・循環器疾患・糖尿病

成果と課題

うす味バランス食や適度な運動習慣の普及をはじめとする健康づくりのポピュレーションアプローチ活動、健診の受診やかかりつけ医を持つことへの呼びかけによる異常の早期発見・早期対応への取り組み、ハイリスク者への健康講座やかかりつけ医との連携による個別アプローチによる疾病の重症化予防に取り組んできました。これにより、脳血管疾患、虚血性心疾患の発症者、糖尿病の合併症者が減少しています。

しかし、後期高齢者医療加入者の高血圧症、脂質異常症は増加傾向にあるため引き続き疾病の重症化予防の取り組みが必要です。また、特定健診の結果、高血圧、脂質異常、メタボリックシンドロームのすべてで男性が女性より高い傾向にあるため、特に男性のメタボリックシンドローム対策が必要です。

糖尿病性腎症については、全体的に患者数が急増しています。反面、糖尿病性腎症による透析への移行は過去5年で1名であり急激に腎臓が悪化しているとは言えません。健診項目に腎機能が追加されたことに伴い、早期に腎症の医療管理が開始されていることが考えられます。これらの腎症の重症化を防ぐため、かかりつけ医と連携した食事指導や生活指導に取り組んでいるところですが、今後もこの取り組みを継続強化し透析への移行を防ぐ必要があります。

また、セルフケアを中心とした1次予防においても、夜遅い食事をする人や毎日飲酒者の減少等改善傾向は見られましたが目標には達しておらず、また、家庭での体重測定や血圧測定を実施している人の割合は低下傾向にあることから引き続き取り組みが必要です。

目標値

指標	最終目標値 (令和7年度)	最終現状値 (令和6年度)	評価	出典等
(1)健康寿命の延伸（日常生活動作が自立している期間の平均） ①男性 ②女性	健康寿命の延伸 ①82歳 ②85歳	(令和3年) ①79.73歳 ②83.26歳	①D ②C	健康寿命の算定方法の指針により介護保険情報から「日常生活動作が自立している期間の平均」を算定

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
循環器 (2) 高血圧の人の減少 1. 特定健診での収縮期血圧 140mmHg以上の人の割合 ①男性 ②女性	①20.0% ②15.0%	①25.5% ②23.3%	①C ②D	集団特定・後期高 齢者健診結果（健 康予防係集計）
2. 高血圧の患者数 （患者千人対） ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者	①400人以下 ②650人以下	①490人 ②747人	①B ②D	KDB「医療費分 析(1)細小分類」
(3) 脂質異常症の減少 1. 特定健診でのLDLコレステ ロール160mg/dl以上の人の 割合 ①男性 ②女性	①8.0% ②8.0%	①5.6% ②4.3%	①A ②A	集団特定・後期高 齢者健診結果（健 康予防係集計）
2. 脂質異常症患者の減少 （患者千人対） ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者	①400人以下 ②500人以下	①588人 ②692人	①C ②D	KDB「医療費分 析(1)細小分類」
(4) メタボリックシンドローム 該当者及び予備群の減少 ①該当者 ②予備群	男性 ①20%以下 ②10%以下 女性 ①5%以下 ②5%以下	男性 ①30.4% ②27.0% 女性 ①8.8% ②4.7%	男性 ①D ②D 女性 ①B ②A	KDB「地域の全 体像の把握」
(5) 特定健診受診率・特定保健 指導実施率の向上 ①受診率 ②指導率	①60.0% ②45.0%	①32% ②23%	①D ②B	特定健診・特定保 健指導実施結果報 告
(6) 糖尿病合併症の減少 1. 糖尿病性腎症による年間新 規透析導入患者数の減少	新規手帳取得者 0人	身体障害者手帳1 級（腎臓・糖尿 病による）新規 手帳取得者 (令和2～6年度) 1人	A	福祉係集計
2. 糖尿病性63人 （腎症） ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者 （網膜症） ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者 （神経障害） ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者	①20人以下 ②70人以下 ①8人以下 ②10人以下 ①12人以下 ②60人以下	(令和7年5月) ①80人 ②248人 ①8人 ②8人 ①11人 ②61人	①D ②D ①A ②A ①A ②A	KDB「厚生労働 省様式 3 - 2 糖尿 病のレセプト分 析」

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
(7) 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 HbA1c (NGSP値) 8.4% 以上の人の割合の減少 ①男性 ②女性 HbA1c (NGSP値) 6.5% 以上の人の割合の減少 ①男性 ②女性	①②ともに0%に近づく ①②ともに2.0%以下	①0% ②0% ①7.8% ②2.7%	①A ②A ①D ②B	集団特定・後期高齢者健診結果
(8) 人工透析 74歳以下の糖尿病による人工透析の新規移行	1人 (増やさない)	0人	A	福祉係より「身体障害者手帳申請者数より」
(9) 脳血管疾患の発症者 ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者 ③64歳以下の発症	①120人以下 ②490人以下 ③0人	(令和7年5月) ①73人 ②449人 ③20人	①A ②A ③C	KDB「厚生労働省様式3-6 脳血管疾患のレセプト分析」
(10) 虚血性心疾患の発症者 ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者 ③64歳以下の発症	①140人以下 ②380人以下 ③0人	(令和7年5月) ①57人 ②327人 ③13人	①A ②A ③B	KDB「厚生労働省様式3-5 虚血性心疾患のレセプト分析」
(11) COPDの認知度向上 「よく知っている」割合の増加	35.0%	8.7%	D	健康に関する住民意識調査
(12) 生活習慣病を予防する生活習慣を実践する人の増加 ①就寝前の夕食 ②毎日飲酒 ③運動習慣なし ④毎日体重測定をする人 ⑤毎日血圧測定をする人(50歳以上) ⑥適正体重が分かる人 ⑦メタボ改善しようと思う人(40歳以上) ⑧食塩摂取目標量が分かる人	①10%以下 ②15%以下 ③30%以下 ④50%以上 ⑤40%以上 ⑥80%以上 ⑦40%以上 ⑧50%	①未把握 ②18.2% ③53.3% ④17.8% ⑤29.3% (N=621) ⑥70.1% ⑦26.3% (N=668) ⑧40.5% (N=748)	①E ②B ③B ④D ⑤D ⑥B ⑦B ⑧B	KDB、健康に関する住民意識調査

②がん

成果と課題

本町のがん検診体制は、春・秋の集団検診と、医療機関での個別検診があり、全戸配布での案内周知を行っています。がん検診未受診者には個別受診勧奨、再勧奨を実施、また広報誌での「がん」に関する情報提供やポスター掲示による普及啓発等を通して、がん検診受診率向上に向けた取り組みを行っています。その結果として、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診は、目標値には達していないものの受診率が向上、乳がん検診はほぼ横ばいの結果であり、広島県内でも上位に位置する受診率となっています。

一方で、肺がん検診の受検者は減少傾向であり、受診率が低い状況にあります。要因のひとつとして、肺がん検診に必要な二重読影体制の整備が困難であり、個別検診の実施が出来ていないことが考えられます。本町におけるがん死亡においても、肺がんでの死亡数が多い状況があるため、受診勧奨はもちろん、受診体制の調整や整備を引き続き行っていく必要があります。

また精密検査受診率は 87.7%と全数受診となっておらず、5 がんの内訳としては、大腸がんの精密検査で未受診者がいる現状があります。がんでないことの確認、またがんやその他疾患の早期発見・治療のためには、精密検査まで正しく受診する必要があるため、精密検査になった場合の対応や受診の大切さを周知していく必要があります。

がん対策全体として、町で把握できるがん検診の受診状況は一部のため、職域や人間ドック等での受診状況は不明であり、町全体の受診状況は把握できません。町民全体の受診機会の有無や状況についての把握を進めていくことで、受診すべき方がきちんと受診できるよう、体制を整えていきます。また引き続き、受診率の向上を目指し、早期発見・治療、がん死亡の減少を目指すべく、受診勧奨や情報提供、普及啓発を実施していきます。

目標値

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
(1) 特定健診受診率の向上 受診率	60.0%	32%	D	特定健診・特定保健指導実施報告、第 2 次長期総合計画
(2) がん検診受診率の向上 ①胃がん検診：男性 女性 ②肺がん検診：男性 女性 ③大腸がん検診：男性 女性 ④子宮頸がん検診 ⑤乳がん検診	①男性：35% 女性：40% ②男性：35% 女性：40% ③男性：35% 女性：45% ④40% ⑤50%	①男性：12.4% 女性：15.5% ②男性：3.1% 女性：6.5% ③男性：6.9% 女性：15.0% ④18.4% ⑤22.7%	①B ②D ③B ④B ⑤D	地域保健事業報告より算定、第 2 次長期総合計画
(3) がん精密検査受診率の 向上	100%	87.7%	B	健康福祉課
(4) 74歳以下の死亡割合の 減少 ①男性 ②女性	①10%以下 ②5%以下	(令和4年) ①24.7% ②5.5%	①D ②B	人口動態統計統計表 11「死亡者、性、年齢、保健医療圏、保健所、市町村別」

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
(5) 74 歳以下の要介護状態の発症率の減少	8%以下	1.4%	A	介護保険事業状況報告と町の人口データ集計より算出

③食生活・食育

成果と課題

マイカロリー普及講座、減塩普及講座や減塩普及キャンペーン、広報をはじめとする保健事業等や地区組織（食生活改善推進員協議会）育成による地区での講習会（健康バンザ〜イッキング講座）の取り組みにより、適正エネルギー量が分かる人の増加、若い女性のやせの割合が減少、女性の肥満者の割合が改善傾向にあります。また、適正な食塩摂取量を知っている人の割合が増加しています。しかし、栄養バランスを考えた食事を意識している人の割合の低下、野菜の摂取量増加や朝食の欠食率の低下、栄養成分表示の活用にはつながっていない傾向があり、エネルギーの過不足や食塩の過剰摂取につながりやすいことが伺われます。食育に関心をもっている人の割合が低下していることもあり、引き続き、関係機関等と連携しながら「栄養バランスのとれた食事の実践」を継続していく必要があります。

目標値

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
(1) 適正体重を維持している人の増加 1. 肥満（BMI25以上）、やせ（BMI18.5未満）の減少 ① 20～60歳代男性の肥満者割合 ② 40～60歳代女性の肥満者割合 ③ 20 歳代女性のやせの割合 2. 適正体重が分かる人の増加	① 26.0%以下 ② 19.0%以下 ③ 20.0%以下 80%	① 39.3% ② 23.2% ③ 20.0% 70.1%	① D ② B ③ A B	健康に関する住民意識調査
(2) 適切な量と質の食事をとる人の増加 ① 適正エネルギー量が分かる人の増加 ② 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合の増加 ③ 野菜摂取量の増加（野菜を1日5皿食べる）	① 50.0% ② 60.0% ③ 40.0%	① 29.8% ② 45.3% ③ 27.3%	① B ② D ③ D	健康に関する住民意識調査

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
(3)食塩をとりすぎの人を減少 ①自分の適正な食塩摂取量を知っている人 ②減塩の工夫をしている人	①50.0% ②60.0%	①40.5% ②49.3%	①B ②D	健康に関する住民意識調査
(4)栄養成分表示を活用している人の割合 ①成人 （買い物時、栄養成分表示を見ている人の割合） ②小・中学生 （弁当やお菓子に表示されている栄養成分表示を見たことがある人の割合）	①目標値なし ②目標値なし	①24.5% ②73.0%	①C ②B	健康に関する住民意識調査
(5)家族と一緒に食べる割合の増加（夕食はほとんど毎日一緒に食べる） ①こども ②成人	①70.0% ②70.0%	①「寮生」含まない38.9% 「寮生」含む77.8% ②66.7%	①B ②D	健康に関する住民意識調査
(6)よく味わって食べる等の食べ方に関心のある人の割合の増加	65.0%以上	未把握	E	健康に関する住民意識調査
(7)ゆっくりよく噛んで食事をする人の割合	目標値なし	53.3%	E	健康に関する住民意識調査
(8)栄養バランスのとれた食事に関心をもっているこどもの割合の増加	70.0%以上	67.4%	B	健康に関する住民意識調査
(9)食育に関心をもっている人の割合の増加	70.0%以上	50.4%	D	健康に関する住民意識調査
(10)朝食の欠食率の減少（「毎日食べる」以外の割合） ①小学生・中学生 ②20歳代男性 ③30歳代男性 ④20歳代女性	①0%に近づける ②～④15.0%以下に減少	①小学生15.5% 中学生14.6% ②37.5% ③31.8% ④14.3%	①小D 中B ②D ③D ④A	健康に関する住民意識調査
(11)学校給食における地場産物の使用割合の増加	現状維持	未把握	E	学校給食における地場産物等の使用状況調査⇒大崎上島町では実施していない
(12)食育に関心をもっている人の割合の増加	70.0%以上	50.4%	D	健康に関する住民意識調査
(13)大崎上島町の特産物・郷土料理を知っている人の割合（小・中学生）	目標値なし	74.1%	D	健康に関する住民意識調査

④身体活動・運動

成果と課題

運動普及活動やエンジョイ健康セミナーをはじめとする保健事業の取り組みや、いきいき百歳体操の取り組みにより、健康づくりや疾病予防、介護予防のために適度な運動が必要であることは広く認知されるようになりました。これにより、成人の運動習慣や 1 日の歩数は改善傾向にあります。

しかし、運動習慣のない人の割合は半数以上でまだ目標には遠く、自分にとっての適度な運動を理解している人の割合はすべての年代において低迷していることから、今後は安全に運動を継続するための取り組みや体制整備が必要です。

また、週 3 回以上の運動やスポーツをしているこどもの割合が約半数と低く、悪化傾向にあるため、こどものころから運動に親しむ環境づくりに取り組む必要があります。

目標値

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
(1)日常生活における歩数の増加（平均歩行時間1時間以上の人の増加） ①20～64歳 ②65 歳以上	①男性76.0% 女性78.0% ②男性71.0% 女性 67.0%	①男性72.9% 女性74.7% ②男性74.3% 女性 72.9%	①B B ②A A	歩行時間 1 時間を 歩数 6,000 歩に換 算（健康に関する 住民意識調査）
(2)運動習慣者の割合の増加 ①20～64歳 ②65 歳以上	①男性40.0% 女性32.0% ②男性55.0% 女性 46.0%	①男性36.1% 女性28.8% ②男性41.1% 女性 49.6%	①B B ②B A	健康に関する住民 意識調査
(3)自分にあった運動の理解者の増加 ①20～64歳 ②65歳以上	①男性49.0% 女性45.0% ②男性60.0% 女性 51.0%	①男性33.6% 女性27.0% ②男性31.9% 女性 34.0%	①D D ②D D	健康に関する住民 意識調査
(4)運動やスポーツを習慣的にしているこどもの割合の増加（週3回以上）	増加傾向	小学生52.4% 中学生 48.6%	D D	健康に関する住民 意識調査
(5)ロコモティブ・シンドロームの認知度の増加	40.0%	18.1%	B	健康に関する住民 意識調査
(6)生活習慣病を予防する生活習慣を実践する人の増加 ①運動習慣なし	①30%以下	①53.3%	①B	KDB、健康に関 する住民意識調査

⑤休養・こころの健康

成果と課題

悩みや不安を感じたり、相談できる人がいない人の割合が増加しています。また、大崎上島町の自殺死亡率（人口 10 万人当たりの自殺者数）は、43.43 と全国・広島県と比較し高い状態にあります。精神科医などによるこころの健康相談を継続実施し、早期に専門職へ相談できる場の確保に努めていく必要があります。

目標値

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
(1)睡眠による休養を十分とれていない人の割合の減少	20.0%以下	21.4%	B	健康に関する住民意識調査
(2)自殺者、自殺死亡率の減少（人口 10 万人当たりの自殺者数）	0.0	43.43	D	厚生労働省 人口動態統計
(3)自分にあったストレス解消法がない人の減少	30.0%以下	33.6%	C	健康に関する住民意識調査
(4)ゲートキーパーという言葉と意味を知る人の増加	20.0%以上	20.3%	A	健康に関する住民意識調査
(5)悩みや不安を感じた時、相談できる人がいない人の減少	15.0%以下	19.5%	D	健康に関する住民意識調査

⑥たばこ

成果と課題

妊婦及びその配偶者の喫煙率は胎児への影響も啓発されかなり改善されました。しかし、全体として、喫煙についての取り組みが薄く現状把握ができていません。第Ⅲ期は、成人の喫煙の動向や組織としての禁煙対策についての調査を進め禁煙環境の整備に向けた取り組みが必要です。

目標値

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
(1)成人の喫煙率の減少（喫煙をやめたい人がやめる）	減少傾向	未把握	E	健康に関するアンケート
(2)未成年者の喫煙をなくす（喫煙経験） ①小学生 ②中学生	①②ともに 0.0%	①②未把握	E	健康に関する住民意識調査
(3)妊娠中の喫煙をなくす	0.0%	0.0%	A	妊娠届時アンケート（妊娠期間中は不明）
(4)妊娠中の配偶者喫煙の減少	30.0%以下	11.2%	A	妊娠届時アンケート（妊娠期間中は不明）

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
(5) 妊婦の配偶者が分煙する人の増加	100.0%	未把握	E	妊娠届時間き取り
(6) 受動喫煙（家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関）の機会を有する人の割合の減少	減少傾向	未把握	E	保健衛生課

⑦飲酒

成果と課題

「毎日、飲酒している人の割合」や「多量飲酒者の割合」は改善傾向にあります。アルコール関連問題啓発週間では、町の広報で啓発を実施しており、「毎日、飲酒している人の割合」や「多量飲酒者の割合」は改善傾向にありますが、未成年者が飲酒をしようと思ったことがある人の割合は増加しています。未成年者に対して飲酒についての普及啓発が必要です。

目標値

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
(1) 未成年者の飲酒をなくす ①全体 ②小学生 ③中学生	①～③0.0%	飲酒をしようと思ったことがある人の割合 ①11.5% ②14.3% ③10.6%	①D ②D ③B	健康に関する住民意識調査
(2) 妊娠中の飲酒をなくす	0.0%	0.0%	A	妊娠届時間診
(3) 毎日、飲酒している人の割合の減少 ①男性 ②女性	①32.0%以下 ②7.0%以下	①34.6% ②5.2% (男性N=329) (女性N=401)	①B ②A	健康に関する住民意識調査
(4) 多量飲酒者の割合の減少 ①男性（1日3合以上） ②女性（1日2合以上）	①7.0%以下 ②2.0%以下	①6.1% ②2.2% (男性N=329) (女性N=401)	①A ②B	健康に関する住民意識調査
(5) アルコールで治療している人の減少	20人	未把握	E	医療費データ（国保加入者）

⑧歯・口腔の健康

成果と課題

8020 運動の推進を図り、妊娠期から高齢期の各対象に対して、歯と口腔の健康づくりを推進してきました。乳幼児期から学童期に対して、ブラッシング指導やフッ化物を利用したフッ素塗布事業、フッ素洗口事業を進めてきていることにより、12 歳児のう蝕のない者の割合は目標値に達しています。しかし、3 歳児健診歯科検診は、1 人が複数のう蝕があること等から 3 歳児のう蝕のないこどもの割合は目標値に達していません。保護者への啓発の機会を継続していく必要があります。

20 歳代から 30 歳代、40 歳代の妊婦歯科健診受診率は低いことや歯周疾患検診の受診率も高くないこと等、若年者への働きかけが必要です。

8020 運動達成者は、年次ごとに変動があるものの、達成者は増加しており、妊娠期から高齢期を通じた歯と口腔の健康づくりの取り組みが必要です。

目標値

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
(1)80 歳で 20 歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加	20.0%	15.96%	B	表彰者数
(2)進行した歯周炎を有する人の割合の減少 ①40歳代 ②50 歳代	①②ともに現状以下	①未把握 ②未把握	①E ②E	健康に関する住民意識調査、歯科健診
(3)3 歳児でう蝕のない人の割合の増加	95.0%以上	70.3%	D	乳幼児健診
(4)12 歳児でう蝕のない人の割合の増加	78.0%以上	(令和5年度) 92.6%	A	中学校歯科健診結果
(5)12 歳児で歯肉炎がある人の割合の減少	10.2%	(令和5年度) 25.9%	D	中学校歯科健診結果
(6)過去 1 年間に歯科健診を受診した人の割合の増加 (20 歳以上)	60%以上	53.1%	B	健康に関する住民意識調査

⑨高齢期の健康・フレイル

成果と課題

これまでの健康増進支援や、令和５年度からは、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を開始し、壮年期からの高齢者の切れ目のない健康管理の実施と保健・医療・介護サービスが統合的に提供できる仕組みづくりに取り組んできました。その成果もあり、介護保険サービス利用者・健康上の問題で日常生活に何か影響がある高齢者は減少し、地域活動をしている高齢者が増加しました。元気な高齢者が増えてきています。

それらを踏まえ、健康寿命の延伸につながる、疾病の重症化を防止すること、フレイル予防のためには、今後の課題として、引き続き、適正な体脂肪などの生活習慣病療養・予防等や、適正な筋肉量などのフレイル予防に関する知識取得者と、行動実践の数値が改善するよう、取り組みが必要と考えます。また、高齢期になってから、予防の取り組みを行っていくのではなく、こどもの時から、将来の健康を見据え、関係機関とも協働し、胎児期から始まる各ライフサイクル別に取り組む事項の確認や、意識化が必要と考えます。

目標値

指標	最終目標値 (令和７年度)	最終現状値 (令和６年度)	評価	出典等
(1)介護保険サービス利用者の増加の抑制	(令和５年度) 864人 (要介護認定)	582人	A	介護保険事業状況報告、最終目標値は第８期介護保険事業計画より
(2)健康上の問題で日常生活に何か影響がある高齢者の減少	(70歳以上) 30.0%	(70歳以上) 29.2%	A	健康に関する住民意識調査
(3)何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加	(70歳以上) 30.0%	(70歳以上) 45.1%	A	健康に関する住民意識調査
(4)65歳以上の高齢者のうち介護保険の要支援、要介護を受けた人の割合	(令和５年度) 25.9%以下	22.3%	A	介護保険事業状況報告、最終目標値は第８期介護保険事業計画より
(5)自分の体脂肪率が適正か知っている割合	調査なし	33.7%	E	健康に関する住民意識調査
(6)自分の筋肉量が適正か知っている割合	調査なし	16.6%	E	健康に関する住民意識調査
(7)フレイルについて知っている割合	調査なし	17.1%	E	健康に関する住民意識調査
(8)口腔フレイルについて知っている割合	調査なし	7.2%	E	健康に関する住民意識調査
(9)口腔機能（咀嚼力・舌口唇の力・嚥下機能等）を含む歯科健診・検査を受けたことがある割合	調査なし	12.0%	E	健康に関する住民意識調査

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
(10)フレイル予防のために取り組んでいること	調査なし	(70 歳以上) ①百歳体操への参加 26.9% ②自宅筋肉トレーニング 17.5% ③毎日たんぱく摂取 35.1% ④人との交流 28.7% ⑤地域活動参加 19.8%	E	健康に関する住民意識調査

⑩感染症対策

成果と課題

新型コロナウイルス感染症の対応や住民への基本的な感染対策の啓発を通じて、手洗いやうがい、マスクの着用等は意識と行動が結びついていると考えられます。コロナ禍において、感染対策物品を備蓄する等の体制整備や対応を行いました。また豊田郡医師会や西部東保健所、町内医療機関の協力により、感染状況の情報提供が町として出来、継続出来ています。今後も基本的な感染対策や感染予防の普及啓発及び感染状況等について情報提供が必要で、新興感染症への対策や対応が迅速にできるよう、平時からの取り組みが必要です。

目標値

指標	最終目標値 (令和 7 年度)	最終現状値 (令和 6 年度)	評価	出典等
(1)手洗いうがいを実践している人の割合の増加	50.0%以上	87.7%	A	健康に関する住民意識調査
(2)こまめに換気している人の割合の増加	50.0%以上	62.8%	A	健康に関する住民意識調査
(3)密閉・密集・密接を避ける人の割合の増加	40.0%以上	調査なし	E	健康に関する住民意識調査
(4)マスクを着用する人の割合の増加	50.0%以上	85.6%	A	健康に関する住民意識調査

⑪こどもの健康

成果と課題

大崎上島町では、少子化が高い水準で進む中、幅広く子育て支援事業を推進しており、子育て支援手当などの町単独事業の継続実施や、小学校の放課後子ども教室、「大崎上島学」など学びの島づくりのための施策などを総合的・計画的に推進してきました。また、「第 3 期大崎上島町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、大崎上島町のこどもの健やかな成長と子育てに地域が関り子育て環境の充実に取り組んでいる状況です。

こどもの健康課題について情報を整理出来ていない現状があります。妊娠期からの健全な生活習慣作りから、家庭や学校、地域等で連携しこどもの健康を支えていくことが必要です。

3. 基本的な方向

(1) 計画のめざすもの

住民の誰もが、生涯にわたって自分らしく生きる基盤となるのが心身の健康です。一人ひとりが自分の健康を自分自身で維持すること、そして、家族や地域の人、友人などと互いに支えあいながら地域社会で豊かに暮らすことは生活の質に大きく影響します。

第Ⅰ・Ⅱ期計画においてもキーワードとして基本理念に盛り込んだ「いきいき」には、“生きる、行き来する、育（育つ）”という意味が込められています。「病気があっても治療しながらふつうに暮らす／病気が進まないで元気に暮らす」という前向きな姿が望ましく、「いきいき」は生活の質の向上にも関連しています。

一人ひとりの健康づくりへの取り組みと、それを支えていく様々な機関・団体とが連携し、地域ぐるみで健康づくりを推進していくため、本計画の基本理念を「いきいきと暮らし、元気・やる気 おおさきかみじま」とします。

「元気島おおさきかみじま 21」の基本理念

いきいきと暮らし、元気・やる気 おおさきかみじま

(2) 取り組み方針

①大崎上島町の健康課題

住民の健康状況や健康に関する住民意識調査結果、健康づくり地域会議、第Ⅱ期計画の評価等から、住民の健康課題を整理します。

<生活習慣病の予防や改善に向けた主体的な取り組みが必要>

高血圧やメタボリックシンドローム、糖尿病などの生活習慣病は、動脈硬化や心疾患、脳卒中などの重大な病気を引き起こす要因となります。高血圧の人は減少傾向にありますが、特に女性や後期高齢者での減少幅が限定的となっています。また、メタボリックシンドロームの該当者や予備群が男性で増加しており、生活習慣の改善が重要です。町内の関係機関では健診の推進や食生活改善に向けた取り組みを展開していますが、住民の主体的な行動を促す工夫が求められます。

<単身世帯が増加し、健康づくりを地域で広げることが必要>

大崎上島町では、少子化・高齢化が高い水準で推移しており、令和 7 年の高齢化率は 45.3%※と、県内で 3 番目に高くなっています。また、単身世帯も増加しており、単身世帯と 2 人世帯を合わせると約 8 割にのぼります。従来からの家族を中心とした食事や生活習慣の改善に加え、単身での暮らしや、地域や職場、団体における健康増進への取り組みを進めていくことが重要となります。地域においても人口減少と高齢化が進行し、地域・団体活動への参加者減少、特に若い世代の参加が課題となっています。移住者や通勤・通学者を含め、地域において、あいさつや声掛けなどを通して、世代を越えたゆるやかなつながりを広げていくことが望まれます。

<大崎上島町の特性を活かし、こどもの頃からの生活習慣が重要>

こどものう蝕や歯肉炎が見られ、幼児期・学童の時期から、健康増進につながる生活を習慣づけることは、その後のライフステージへの影響も大きく重要です。運動やスポーツをしているこどもも減少しています。また、食育への関心の広がりも課題であり、バランスの良い食事や郷土の農林水産物、郷土料理といった地域資源を活かした食事を日常生活へ取り込んでいくことが望まれます。

<働き盛り世代の健康づくりへの関心向上が課題>

働き盛りの世代は、忙しさから健康への関心が低く、食への理解や家族との食事の機会が減少し、運動やスポーツへの理解が低くなっています。さらに、悩みや不安を感じたときに相談できず、ストレスを抱え、こころの健康に影響することも懸念されます。

<高齢者への支援を継続し、フレイル予防・高齢期の健康について理解浸透が重要>

男性の健康寿命は伸び悩んでいるものの、保健事業と介護予防の一体的事業などにより、介護保険サービスや介護支援を受ける高齢者は減少し、地域活動に参加する元気な高齢者が増加しています。今後は更に、フレイル予防への理解と実践を推進するとともに、高齢期をいきいきと心豊かに過ごせるよう、高齢期を迎えるまでの健康づくりも重要です。

※【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和 7 年 1 月 1 日現在)」

②取り組み方針

住民の健康課題を踏まえ、以下の4つの方針に基づき、計画を推進します。

方針 1 主体的な健康づくりによる発症予防、重症化予防を推進します

死亡原因の上位を占めるがん死亡を減少させるためには、がんの早期発見・早期治療が不可欠です。早期発見のための受診しやすいがん検診の体制整備と確実な精密検査の受診を促進します。

高血圧や脂質異常症、糖尿病といった生活習慣病は、脳血管疾患や虚血性心疾患などの重大な疾病の原因となります。特定健診・後期高齢者健診の受診または確実な治療継続により生活習慣病の発症及び重症化を防ぐため、住民一人ひとりが生活習慣病予防の意識を高め、主体的にセルフケアができる取り組みを進めます。

方針 2 生涯にわたる生活習慣の確立と改善を推進します

健康を支える食生活・身体活動・運動、休養・こころの健康、歯・口腔の健康は、幼少期からの基本的な生活習慣が重要です。人生100年時代を迎えた現代、ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの視点から、生涯にわたって心身の健康を維持するために早いうちから基本的な生活習慣を確立することが重要です。家庭や職場、教育機関、地域コミュニティなど多様な場面において生活習慣を改善する機会を提供し、個人の行動変容を支援します。

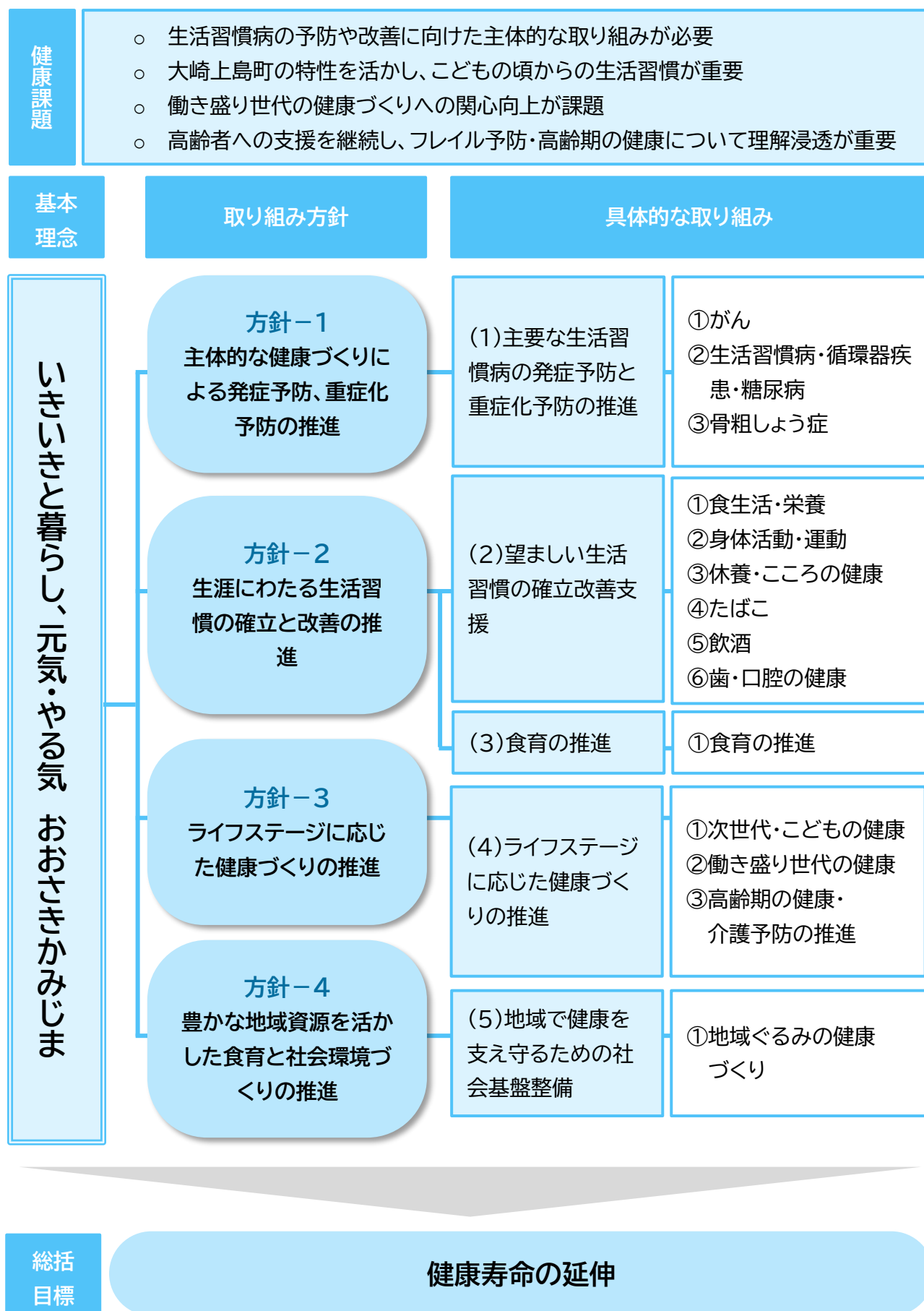
方針 3 ライフステージに応じた健康づくりを推進します

健康づくりにおいては、乳幼児期及び学童期から思春期、青年期・壮年期、そして高齢期と、各ライフステージに直面する課題が異なり、それに応じて重点的に取り組むことが必要です。親や家族の生活習慣がこどもに与える影響も大きいので、各ライフステージにおいて学び、知識と理解を深め実践へと結びつくよう支援します。また、「やせ」や骨粗しょう症の予防等、女性特有の健康課題へも取り組んでいきます。

方針 4 豊かな地域資源を活かした食育と社会環境づくりを推進します

健康づくりを実践するためには、きっかけとなる機会、継続できるための場や仲間、仕組みが重要です。仕事が忙しく健康管理が行き届かない働き盛り世代に対しては、職場における健康経営の導入・実践を広げていくことも重要です。また、健康づくりへの意識を高めると同時に、知らず知らずのうちに自然に健康になれる環境づくりも重視されており、健やかな地域社会を目指すSDGsの視点を取り入れながら、本計画を推進します。大崎上島町の豊かな農林水産物や郷土料理を活かした食育の推進や、地域コミュニティでの活動、多様な人が行き交いつつ顔の見えるつながりのある関係を活かし、健康を増進する社会環境づくりをめざします。

(3) 施策の体系



第2章 具体的な取り組み及び目標

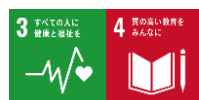
1. 総括目標「健康寿命の延伸」

総括目標を「健康寿命の延伸」とし、こどもの頃から生活習慣病予防に取り組み、すべての町民が健康に暮らすための環境づくりを推進します。この総括目標を達成するための評価指標として、目標値を設定します。

指標	現状値（令和7年度）	目標値（令和17年度）	出典等
健康寿命の延伸 （日常生活に制限のない期間の平均） ①男性 ②女性	(令和3年) ①79.73 ②83.26	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の延伸 ①81歳 ②85歳	健康寿命の算定方法の指針により介護保険情報から「日常生活動作が自立している期間の平均」を算定

2. 具体的な取り組み及び目標

(1) 主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防



■取り組みの方向

特定健診の受診率目標は6割ですが、実態は約3割であり、病気の発見が遅れるなどのリスクが残ります。しかし町がこれまで取り組んできた重症化予防の取り組みにより、罹患率が減少している疾患もあります。

関係機関・団体とも連携をはかり、各種健（検）診の受診率向上のための仕組みを作る、呼びかけを行うなど受診勧奨、健康づくり、疾病予防の啓発活動を引き続き重点的に行っていきます。また、広島県が進める「オール広島・骨活プロジェクト」と連携し、骨粗しょう症対策を進めます。

■重点目標

- 1 がん死亡が減少する
- 2 脳血管疾患、虚血性心疾患の発症及び人工透析への移行が減少する
- 3 かかりつけ医と連携し生活習慣病の発症・重症化予防のためのセルフケアをする人が増加する
- 4 利用しやすい健（検）診の環境を整備し、健（検）診受診率が向上する

①がん

事業・取り組み		内容	実施主体・担当課等
がん検診等	集団検診	・胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、アスベスト検診、肝がん等	健康福祉課 検診機関（広島県保健医療推進機構）
	個別検診	・胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん	
	精度管理	・がん検診の指針・がん検診チェックリスト・最低限明記すべき要件に基づき、仕様書の修正・確認を行う ・がん検診終了後、チェックリストによる確認を行い、次年度に向けた修正を行う。 ・各健診期間ごとの検診状況（精検率・精検結果状況・陽性的中度など）をまとめる	医療機関
がん検診受診率向上対策	個別受診勧奨	・がん検診未受診者に対し、受診勧奨（胃・肺・大腸・子宮頸・乳）、再勧奨（胃・乳）を実施	健康福祉課
	要精密検査結果の把握	・精密検査結果が町にタイムリーに通知され、対象者に早期介入できるよう、通知時に町への精密検査結果返信様式・封筒を同封	
	要精密検査者受診勧奨	・家庭訪問による受診勧奨 ・精密検査未受診者への個別通知・連絡がない方への電話連絡	健康福祉課
がん予防	がん予防講演会	がんに関する専門医による講演	健康福祉課
	がん予防の普及啓発	広報による呼びかけ、普及啓発キャンペーンの実施、ポスター掲示	健康福祉課
	教材による普及啓発	個別受診勧奨時の教材の配布	健康福祉課等

■目標

指標	現状値（令和7年度）	目標値（令和17年度）	出典等
(1)がん検診受診率の向上	(令和6年度)		地域保健事業報告より算定、第2次長期総合計画
①胃がん検診：男性	①男性：12.4%	①25%	
女性	女性：15.5%		
②肺がん検診：男性	②男性：3.1%	②20%	
女性	女性：6.5%		
③大腸がん検診：男性	③男性：6.9%	③20%	
女性	女性：15.0%		
④子宮頸がん検診	④18.4%	④25%	
⑤乳がん検診	⑤22.7%	⑤30%	
(2)がん精密検査受診率の向上	87.7%	100%	健康福祉課

②生活習慣病・循環器疾患・糖尿病

事業・取り組み	内容	実施主体・担当課等
健康診査	特定健診・後期高齢者健診・早期の健診・医療保険未加入者（生活保護世帯）健診・済生丸巡回診療	健康福祉課
早期受診勧奨	健診結果で受診勧奨値だった者に健診結果返却時に早期受診勧奨通知、受診の確認と再勧奨、再勧奨後の未受診者には保健師による状況確認	健康福祉課
健康相談	定例健康相談・人権対策健康相談・生野島健康相談・各地区健康相談・随時相談・電話相談	健康福祉課
健康講座・講演会	生活習慣病講演会・がん講演会・運動講演会・エンジョイ健康セミナー・各種健康講座・食生活改善推進員中央研修会	健康福祉課
セルフケア普及啓発	減塩キャンペーン、家庭血圧推進事業、町広報への生活習慣病予防・健康増進の記事掲載・ポスター掲示	健康福祉課
かかりつけ医連携	かかりつけ医からの診療情報提供と生活の指示による個別指導	健康福祉課
糖尿病性腎症重症化予防	専門機関への委託で実施 糖尿病治療中のコントロール不良者への専門職による個別指導、治療中断者への受診勧奨	健康福祉課

■目標

指標	現状値（令和7年度）	目標値（令和17年度）	出典等
(1) 特定健診受診率の向上	32%	60%（データヘルス計画の目標値）	特定健診・特定保健指導実施報告
(2) 健診有所見者の減少 1. 特定健診での収縮期血圧140mmHg以上の人の割合 ①男性 ②女性	(令和6年度) ①25.5% ②23.3%	①20.0% ②20.0%	集団特定・後期高齢者健診結果（健康予防係集計）
2. 特定健診でのLDLコレステロール160mg/dℓ以上の人の割合 ①男性 ②女性	①5.6% ②4.3%	①3% ②3%	集団特定・後期高齢者健診結果（健康予防係集計）
3. 特定健診での血糖コントロール不良者の減少 1) HbA1c（NGSP値）8.4%以上の人の割合の減少 ①男性 ②女性 2) HbA1c（NGSP値）6.5%以上の人の割合の減少 ①男性 ②女性	(令和6年度) 1) ①②ともに0% 2) ①7.8% ②2.7%	1) ①②0%を維持 2) ①②2%以下	集団特定・後期高齢者健診結果

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(3)生活習慣病患者割合の減少 1.高血圧の患者割合の減少 ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者	(令和6年度) ①44.2% ②80.3%	①40.0%以下 ②76.0%以下	KDB「介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）」より算出
2.脂質異常症の患者割合の減少 ①国民健康保険 ②後期高齢者医療	(令和6年度) ①53.8% ②75.0%	①50.0%以下 ②68.0%以下	KDB「介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）」より算出
3.糖尿病の患者割合の減少 ①国民健康保険 ②後期高齢者医療	(令和6年度) ①37.9% ②60.0%	①30.0%以下 ②50.0%以下	KDB「介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）」より算出
(4)生活習慣病による合併症患者の減少 1.脳血管疾患の患者数の減少 ①国民健康保険 ②後期高齢者医療 ③64歳以下の発症	①73人 ②449人 ③20人	①50 人以下 ②400 人以下 ③10 人未満	KDB「厚生労働省様式 3-6 脳血管疾患のレセプト分析」
2.虚血性心疾患の患者数の減少 ①国民健康保険 ②後期高齢者医療 ③64歳以下の発症	①57人 ②327人 ③13人	①40 人以下 ②300 人以下 ③10 人未満	KDB「厚生労働省様式 3-5 虚血性心疾患のレセプト分析」
3.糖尿病性腎症患者の減少 ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者 4.糖尿病性網膜症患者の減少 ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者 5.糖尿病性神経障害患者の減少 ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者	(令和7年5月) ①80人 ②248人 ①8人 ②8人 ①11人 ②61人	①50 人 ②220 人 ①5 人 ②7 人 ①8 人 ②50 人	KDB「厚生労働省様式 3-2 糖尿病のレセプト分析」
(5)5年間の新規人工透析移行者数(KDB) ①糖尿病性腎症以外 a)国民健康保険 b)後期高齢者医療 ②糖尿病性腎症 a)国民健康保険 b)後期高齢者医療	(令和2～6年度) ① a)1人 b)1人 ② a)1人 b)人	(令和 7～11 年度) ① a)0 人 b)1 人 ② a)0 人 b)1 人	新規人工透析患者数等集計データ（国保連合会提供）

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(6) 健康の保持増進のためにセルフケアをしている人の増加 ①家庭血圧測定の実施 ②体重測定の実施 ③運動習慣のある人 ④適切な質と量の食事をとる人の割合 ⑤食塩をとりすぎている人の減少	①29.3% ②17.8% ③(2)②身体活動・運動参照 ④(3)①食生活・栄養の項参照 ⑤(3)①食生活・栄養の項参照	①40% ②50% ③(2)①身体活動・運動参照 ④(3)①食生活・栄養の項参照 ⑤(3)①食生活・栄養の項参照	健康に関する住民意識調査

③骨粗しょう症

事業・取り組み	内容	実施主体・担当課等
骨粗しょう症検診	20 歳以上の女性を対象に、骨密度検診(超音波法)を実施	健康福祉課 検診機関
筋骨アップ事業	一般住民を対象に、身体測定（身長・体重）、体組成測定（体脂肪量・筋肉量）、骨密度測定、下腿周囲長、体力測定（握力・椅子立ち上がりテスト、TUG）、質問票及び生活状況聞き取り調査、結果フィードバックを実施	健康福祉課

■重点目標

1 骨折する人が減少する
2 骨粗しょう症検診の受診率が向上する
3 若年からの骨粗しょう症対策を推進し、発症・重症化予防につなげる

■目標

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1) 骨粗しょう症検診受診率	(令和 6 年度) 4.8%	10%	健康福祉課(集団検診で計算)
(2) 骨折の患者割合 ①国民健康保険 ②後期高齢者医療	(令和 6 年度累計) ①7.2% ②24.2%	①6.0% ②23.0%	KDB「介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）」より算出
(3) 骨粗しょう症の患者割合 ①国民健康保険 ②後期高齢者医療	(令和 6 年度累計) ①16.2% ②42.7%	①15.0%以下 ②40.0%以下	KDB「介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）」より算出
(4) 介護認定者の筋・骨格疾患の有病率	64.9%	60%以下	KDB「地域の全体像の把握」

(2) 望ましい生活習慣の確立改善



■取り組みの方向

食生活・栄養に関しては、エネルギーの過不足や食塩の過剰摂取につながりやすいことがうかがえるため、関係機関と連携しながら「栄養バランスのとれた食事の実践」ができる人の割合を増やす活動を引き続き行います。

運動普及活動等の取り組みにより、成人の運動習慣は改善傾向にありますが、こどものころから継続した運動習慣を身につけるために、関係機関とともに取り組んでいく必要があります。

こころの健康に関しては、相談できる人がいない人の割合が増えているため、周囲から孤立しないよう地域で見守る仕組みを作るとともに、専門職や公的機関による相談の場を広く周知する必要があります。

たばこや飲酒に関しては、未成年への啓発を強め、将来依存しないための正しい知識を知ることが大切です。

歯・口腔の健康に関しては、定期健診受診勧奨を行い、早期発見・早期治療・早期予防の啓発を引き続き行っていきます。

①食生活・栄養

事業・取り組み	内容	実施主体・担当課等
地区組織の育成事業 食生活改善推進員 中央研修会	活動に必要な知識や技術を高め、地域への普及を図るための研修実施 栄養、健康学習、栄養実習等	健康福祉課
地区組織の育成事業 食生活改善推進員 養成講座（不定期）	食生活改善推進員事業の充実を図るため、新会員を募集し、活動に必要な知識や技術を高めるための講座の実施	健康福祉課
在宅栄養士研修会	委嘱している在宅栄養士と共通認識を図り、業務に必要な専門知識を深める	健康福祉課

■重点目標

1	1日の食塩摂取量が減少する
2	1日の野菜摂取量が増加する
3	毎日の朝食を食べる町民の割合が増加する
4	主食・主菜・副菜の揃った食事をする町民の割合が増加する

■目標

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)適正体重を維持している人の割合の増加 1.肥満(BMI25以上)、やせ(BMI18.5未満)の減少 ①20～60歳代男性の肥満者割合 ②40～60歳代女性の肥満者割合 ③20 歳代女性のやせの割合 2.適正体重が分かる人の割合の増加	①39.3% ②23.2% ③20.0% 70.1%	①30%以下 ②20%以下 ③15%以下 80%	健康に関する住民意識調査
(2)適切な量と質の食事をとる人の割合の増加 ①適正エネルギー量が分かる人の割合の増加 ②主食・主菜・副菜を組みあわせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合の増加 ③野菜摂取量の増加（野菜を1日5皿食べる）	①29.8% ②45.3% ③27.3%	①50% ②50% ③40%	健康に関する住民意識調査
(3)食塩をとりすぎの人の割合の減少 ①自分の適正な食塩摂取量を知っている人の割合 ②減塩の工夫をしている人の割合	①40.5% ②49.3%	①50% ②60%	健康に関する住民意識調査
(4)栄養成分表示を活用している人の割合 ①成人（買い物の時、栄養成分表示を見ている人の割合） ②小・中学生（弁当やお菓子に表示されている栄養成分表示を見たことがある人の割合）	①24.5% ②小学生 59.5% 中学生 78.8%	①35% ②小学生 65% 中学生 85%	健康に関する住民意識調査
(5)家族と一緒に食べる割合の増加（夕食はほとんど毎日一緒に食べる） ①こども	①「寮生」含まない38.9% 「寮生」含む77.8%	①「寮生」含まない 50%	健康に関する住民意識調査

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
②成人	②66.7%	②70%	
(6) ゆっくりよく噛んで食事をする人の割合	53.3%	60%	健康に関する住民意識調査
(7) 栄養バランスのとれた食事に関心をもっているこどもの割合の増加	67.4%	75%	健康に関する住民意識調査
(8) 食育に関心をもっている人の割合の増加	50.4%	60%	健康に関する住民意識調査
(9) 朝食の欠食率の減少（「毎日食べる」以外の割合）			健康に関する住民意識調査
①小学生・中学生	①小学生15.5% 中学生14.6%	①0%に近づける	
②20歳代男性	②37.5%	②～③20%以下	
③30歳代男性	③31.8%		
④20歳代女性	④14.3%	④0%に近づける	

②身体活動・運動

事業・取り組み	内容	実施主体・担当課等
エンジョイ健康セミナー	健康運動指導士による運動を中心とした複合型プログラム	健康福祉課
運動に関する講演会	健康運動指導士による生活習慣病予防のための講演会	健康福祉課
いきいき百歳体操支援	いきいき百歳体操での体力測定・個別支援・おもりの調整アドバイス等	健康福祉課
個別指導	健康運動指導士による個別運動指導	健康福祉課
普及啓発活動	健康相談、健康講座での適度な運動の啓発	健康福祉課

■重点目標

1 運動習慣がある人が増加する
2 自分に合った運動を安全に継続する人が増加する
3 運動に親しむこどもが増加する

■目標

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1) 日常生活における歩数の増加（平均歩行時間1時間以上の人の増加）			歩行時間 1 時間を歩数 6,000 歩に換算（健康に関する住民意識調査）
①20～64歳	①男性72.9% 女性74.7%	全 80%	
②65 歳以上	②男性74.3% 女性 72.9%		

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(2)運動習慣者の割合の増加 ①20～64歳 ②65 歳以上	①男性36.1% 女性28.8% ②男性41.1% 女性 49.6%	①男性 40% 女性 30% ②男性 50% 女性 60%	健康に関する住 民意識調査
(3)自分にあった運動の 理解者の増加 ①20～64歳 ②65歳以上	①男性33.6% 女性27.0% ②男性31.9% 女性 34.0%	①男性 45% 女性 40% ②男性 40% 女性 45%	健康に関する住 民意識調査
(4)運動やスポーツを習 慣的にしていること もの割合の増加（週 3 回以上）	小学生52.4% 中学生 48.6%	小学生 60% 中学生 60%	健康に関する住 民意識調査

③休養・こころの健康

事業・取り組み	内容	実施主体・担当課等
家庭訪問	在宅生活支援、継続治療への支援、社会復帰促進支援	健康福祉課
相談事業	保健師による精神保健福祉相談や専門職（精神科医、精神保健福祉士、酒害相談員）によるこころの健康相談を実施	健康福祉課
ゲートキーパー研修会	ゲートキーパー（悩んでいる人に気づき、話を聞き、必要な関係機関へつなぎ、見守る）養成のための研修会	健康福祉課
ケース検討会	担当しているケースについて、関係者と今後の対応や支援について検討	健康福祉課
家族の会	精神保健に関する課題を抱える当事者の家族や精神疾患等がある人の家族が抱える不安や心配等を共有し、孤独感や悩みの軽減につなげる。また、各専門家から正しい知識や制度及びサービス等を知る場	健康福祉課

■重点目標

1 自殺死亡率の減少。自殺者を 0 にする 2 睡眠、休養について啓発の機会を設けたり情報提供する 3 相談機関や相談窓口を周知する 4 ストレス解消方法について知る 5 青年期・壮年期（20・30・40・50 歳代）のメンタルヘルスが向上する
--

■目標

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)睡眠による休養を十分とれていない人の割合の減少	21.4%	20.0%	健康に関する住民意識調査
(2)自殺者、自殺死亡率の減少（人口 10 万人当たりの自殺者数）	(令和6年) 43.43	0.0	厚生労働省 人口動態統計
(3)自分にあったストレス解消法がない人の減少	33.6%	30.0%以下	健康に関する住民意識調査
(4)ゲートキーパーという言葉と意味を知る人の増加	20.3%	25%以上	健康に関する住民意識調査
(5)悩みや不安を感じた時、相談できる人がいない人の減少	19.5%	15.0%以下	健康に関する住民意識調査

④たばこ

事業・取り組み	内容	実施主体・担当課等
妊婦禁煙リーフレット配布	妊娠届け出時喫煙状況調査と胎児への喫煙の影響のリーフレット配布	健康福祉課
ポスター掲示	公共の場所へ禁煙に関するポスター掲示	健康福祉課
町内の喫煙者の現状調査	中間評価のアンケート時に喫煙状況調査の実施	健康福祉課
町内施設の禁煙状況	公共施設・医療機関・店舗・飲食店の禁煙状況調査	健康福祉課

■重点目標

1 喫煙者が減少する
2 公共の場所の敷地内全面禁煙をはじめとする禁煙場所が拡大する
3 若年者（10・20・30 歳代）へ喫煙の影響等を啓発し認知度を上げる

■目標

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)成人の喫煙率の減少（喫煙をやめた人がやめる）	未把握	男性 15%以下 女性 3%以下	健康に関するアンケート
(2)妊娠中の喫煙をなくす	0.0%	0%	妊娠届時・産後アンケート
(3)妊娠中の配偶者喫煙の減少	11.2%	0%	妊娠届時・産後アンケート
(4)妊婦の配偶者が分煙する人の増加	未把握	100%	妊娠届時・産後アンケート

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(5) 禁煙施設の増加 ① 公共施設・行政機関の敷地内禁煙 ② 医療機関の敷地内禁煙 ③ 店舗内禁煙 ④ 飲食店禁煙	未把握	① 100% ② 95% ③ 95% ④ 70%	健康福祉課調査

⑤ 飲酒

事業・取り組み	内容	実施主体・担当課等
お酒と暮らしの基礎研修	アルコール関連問題について正しい知識と理解を深め、地域での支援や対応についての研修	健康福祉課
母子健康手帳交付時の啓発	母子健康手帳の交付時に、妊婦・女性と飲酒についてのリーフレット配布	健康福祉課
芸南断酒会 大崎上島支部例会	芸南断酒例会の開催支援（月 1 回）	健康福祉課

■ 重点目標

1 毎日飲酒者が減少する
2 多量飲酒者が減少する
3 アルコール関連問題・アルコール依存症のリスクの啓発を行う
4 20 歳未満の飲酒者をなくす

■ 目標

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1) 未成年者の飲酒をなくす ① 全体 ② 小学生 ③ 中学生	飲酒をしようと思ったことがある人の割合 ① 11.5% ② 14.3% ③ 10.6%	0.0%	健康に関する住民意識調査
(2) 妊娠中の飲酒をなくす	0.0%	0.0%	妊娠届時間診
(3) 毎日、飲酒している人の割合の減少 ① 男性 ② 女性	① 34.6% ② 5.2% (男性 N=329) (女性 N=401)	① 32.0%以下 ② 5.0%以下	健康に関する住民意識調査
(4) 多量飲酒者の割合の減少 ① 男性（1 日 3 合以上） ② 女性（1 日 2 合以上）	① 6.1% ② 2.2% (男性 N=329) (女性 N=401)	① 6.0%以下 ② 2.0%以下	健康に関する住民意識調査

⑥歯・口腔の健康

事業・取り組み	内容	実施主体・担当課等
フッ素塗布	歯科健診・フッ素塗布	歯科医師・歯科衛生士・健康福祉課
フッ素洗口支援	フッ素洗口がスムーズに行えるよう支援する (説明会・資料提供・歯科医師によるフッ素洗口管理指導等)	実施施設スタッフ 歯科医師 健康福祉課
歯科健康教室	医師及び歯科衛生士による健康教育・ブラッシング指導	歯科医師・歯科衛生士 豊田竹原歯科衛生連絡協議会 健康福祉課
歯周疾患検診	問診・歯周疾患検診・口腔衛生指導・結果説明 節目年齢(20歳・30歳・40歳・50歳・60歳・70歳)に実施	健康福祉課・町内協力 歯科医療機関
妊婦歯科健診	歯科健診	健康福祉課・町内協力 歯科医療機関
8020 訪問	残存歯数確認	健康福祉課・在宅歯科 衛生士
8020 推薦	歯科医療機関による 8020 達成者の発見と推薦	健康福祉課・
8020 表彰	8020 達成者表彰	健康福祉課

■重点目標

1 8020 達成者が増加する
2 歯周病を有する者が減少する
3 歯科検診の受診者が増加する
4 こどものう歯が減少する

■目標

指標	現状値(令和7年度)	目標値(令和17年度)	出典等
(1)80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加	(令和6年度) 15.96%	30%	表彰者数
(2)進行した歯周炎を有する人の割合の減少 ①40歳代 ②50歳代	①未把握 ②未把握	①20%以下 ②30%以下	健康に関する住 民意識調査、歯 科健診
(3)3歳児でう蝕のない人の割合の増加	70.3%	85%以上	乳幼児健診
(4)12歳児でう蝕のない人の割合の増加	(令和5年度) 92.6%	95%以上	中学校歯科健診 結果
(5)12歳児で歯肉炎がある人の割合の減少	(令和5年度) 25.9%	10%以下	中学校歯科健診 結果
(6)過去1年間に歯科健診を受診した人の割合の増加(20歳以上)	53.1%	60%以上	健康に関する住 民意識調査

(3) 食育の推進



■取り組みの方向

20～60 歳代の男性の肥満者割合が増加しており、自分の適正体重が分かる人の割合は減少しています。3 食の食事をバランスよく食べる、小鉢 5 皿分（目安量）の野菜を摂取する、食塩のとり過ぎに気をつけるなど、うす味バランス食の定着を促します。

また食育に関心をもつ割合は約半数であり、年代に関係なく身体をつくる毎日の食事の重要性を発信していきます。

■重点目標

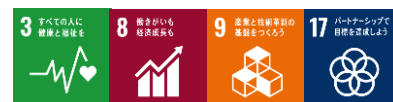
1 食育に関心がある人の割合が増加する
2 地域の食文化や郷土料理を継承する

事業・取り組み		内容	実施主体・担当課等
食育普及	減塩普及推進事業	減塩の重要性の認識とうす味バランス食の定着化のための普及啓発活動	健康福祉課
	食育の日普及啓発事業	食育月間、ひろしま食育の日、食育ウィークの期間に食育活動や減塩等に関するポスター展示、資料の配布	健康福祉課
乳幼児相談		乳幼児期における栄養相談 月齢別の離乳食の紹介及び試食	健康福祉課
1 歳 6 か月児 3 歳児健康診査		幼児期における栄養相談 年齢別の適量おやつの紹介及び試食	健康福祉課
食育講座		乳幼児の保護者を対象に減塩や野菜摂取等に関するレシピ集配布やバランス食の情報提供	健康福祉課
子どものための料理教室		小学生を対象に旬な食材を使った調理実習や栄養の学習	健康福祉課

■目標

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1) 食育に関心をもっている人の割合の増加	50.4%	60%	健康に関する住民意識調査
(2) 大崎上島町の特産物・郷土料理を知っている人の割合（小・中学生）	74.1%	80%	健康に関する住民意識調査

(4) ライフステージに応じた健康づくりの推進



■取り組みの方向

大崎上島町でも全国の例にもれず、少子高齢化が進んでいます。こどもや若い世代で身についた生活習慣が高齢期の健康の礎となるため、規則正しい生活や、健康診断等の受診を推奨することで生涯にわたり健康な体づくりを支援していきます。

64 歳以下の脳血管疾患や虚血性心疾患の発症が減少しないことから、青年期・壮年期からの生活習慣病の発症予防・重症化予防を強化する必要があります。地域保健に留まらず、職域と連携した取り組みを進めていきます。また若年層からの取り組みが重要な骨粗しょう症対策を強化します。

自殺死亡率が高いことは町の課題であり、忙しい中でも心身の健康に気遣えるよう、自発的な健康づくりや職場のメンタルヘルスの啓発に努めます。こころの健康相談を実施し、早期に専門職や専門機関につながるよう、相談の場を確保します。また、町内の事業所との連携を図りながら、取り組みを進めていきます。

またこれまでの健康増進支援により、心身ともに元気な高齢者が増えています。引き続きフレイル予防を中心とした講座の開催や支援を行うとともに、地域ぐるみでの健康づくりを意識した取り組みを行っていきます。

①次世代・こどもの健康

事業・取り組み		内容	実施主体・担当課等
乳幼児対策	一般健康診査	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児聴覚検査 医療機関委託 ・乳児健康診査 医療機関委託 ・一般健康診査受診券助成 ・乳児健康診査通院助成 ・定期健康診査の通院費用の助成 ・1 歳 6 ヶ月児・3 歳児健康診査 問診・身体計測・検尿・内科診察・歯科診察（児・保護者）・保健相談・歯科相談・栄養相談・おやつ試食 	健康福祉課
	精密健康診査	<ul style="list-style-type: none"> ・心理判定員による精密健診（精神）・発達相談 	健康福祉課
	相談	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児相談 問診・身体計測・保健相談・栄養相談・離乳食試食・歯科相談 ・育児相談 身体計測・個別相談 ・のびのび相談会 社会福祉士による相談会 	健康福祉課
	訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問 （新生児全数訪問・乳児・幼児・幼児継続訪問） 	健康福祉課
	教育	<ul style="list-style-type: none"> ・しまとも倶楽部 保護者同士の交流 子育てイベントの情報発信 乳幼児の遊び方 	健康福祉課

事業・取り組み	内容	実施主体・担当課等
子どもの料理教室	小学生を対象に旬な食材を使った調理実習や栄養の学習	健康福祉課
食育講座	乳幼児の保護者を対象に減塩や野菜摂取等に関するレシピ集配布やバランス食の情報提供	健康福祉課

■重点目標

1 早寝早起き朝ごはん（寝不足で朝起きるのがつらい又は昼間集中できないことがほとんどない小学生・中学生が増加する）
2 昼に歯磨きをする中学生が増加する

■目標(再掲)

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)大崎上島町の特産物・郷土料理を知っている人の割合（小・中学生）	74.1%	80%	健康に関する住民意識調査
(2)栄養成分表示を活用している人の割合 ①小学生 ②中学生 （弁当やお菓子に表示されている栄養成分表示を見たことがある人の割合）	①59.5% ②78.8%	①65% ②85%	健康に関する住民意識調査
(3)家族と一緒に食べる割合の増加（夕食はほとんど毎日一緒に食べる） こども	「寮生」含まない38.9% 「寮生」含む 77.8%	朝食 54.5% 夕食 82%	健康に関する住民意識調査
(4)栄養バランスのとれた食事に関心をもっているこどもの割合の増加	67.4%	70%	健康に関する住民意識調査
(5)朝食の欠食率の減少（「毎日食べる」以外の割合） 小学生・中学生	小学生 15.5% 中学生 14.6%	8.6%	健康に関する住民意識調査
(6)運動やスポーツを習慣的にしているこどもの割合の増加（週3回以上）	小学生 52.4% 中学生 48.6%	小学生 60% 中学生 60%	健康に関する住民意識調査
(7)未成年者の飲酒をなくす ①全体 ②小学生 ③中学生	飲酒をしようと思ったことがある人の割合 ①11.5% ②14.3% ③10.6%	0%	健康に関する住民意識調査
(8)未成年者の喫煙をなくす（喫煙経験） ①小学生 ②中学生	①②未把握	0%	健康に関する住民意識調査

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(9)3 歳児でう蝕のない人の割合の増加	70.3%	85%	乳幼児健診
(10)12 歳児でう蝕のない人の割合の増加	(令和5年度) 92.6%	95%	中学校歯科健診結果
(11)12 歳児で歯肉炎がある人の割合の減少	(令和5年度) 25.9%	10%	中学校歯科健診結果

②働き盛り世代の健康

事業・取り組み	内容	実施主体・担当課等
各種健（検）診の実施	早期の健康診査・特定健診・がん検診・骨粗しょう症健診・肝炎検診の推進 食育連携	健康福祉課
普及啓発活動・健康講座	生活習慣病予防、骨粗しょう予防のセルフケア推進の普及、健康相談、健康講座の実施	健康福祉課
相談事業	保健師による精神保健福祉相談や専門職（精神科医、精神保健福祉士、酒害相談員）によるこころの健康相談の実施	健康福祉課
歯周疾患検診	問診・歯周疾患検診・口腔衛生指導・結果説明。節目年齢（20 歳・30 歳・40 歳・50 歳・60 歳）に実施	健康福祉課・町内協力歯科医療機関

■重点目標

1 自殺死亡率の減少。自殺者・有職者の死亡を 0 にする
2 64 歳以下の脳血管疾患、虚血性心疾患が減少する
3 健康の保持増進のためのセルフケアをしている青年期・壮年期の人が増加する
4 若年からの骨粗しょう症対策を推進し、骨粗しょう症の発症・重症化を防ぐ
5 歯周疾患検診受診者が増加し、進行した歯肉炎を有する人が減少する

■目標(再掲)

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)自殺者、自殺死亡率の減少（人口 10 万人当たりの自殺者数）	(令和6年) 43.43	0.0	厚生労働省 人口動態統計
(2)64 歳以下の脳血管疾患の発症の減少	(令和7年5月) 20人	10 人未満	KDB「厚生労働省様式 3-6 脳血管疾患のレセプト分析」
(3)64 歳以下の虚血性心疾患の発症の減少	(令和7年5月) 20人	10 人未満	KDB「厚生労働省様式 3-5 虚血性心疾患のレセプト分析」

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(4)健康の保持増進のためにセルフケアをしている人の増加（20歳～59歳） ①血圧測定を毎日実施している人の割合 ②体重測定を毎日実施している人の割合 ③運動習慣のある人の割合 ④減塩の工夫をしている人の割合 ⑤主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合	①8.4% ②11.2% ③32.0% ④33.7% ⑤36.5%	①30% ②30% ③50% ④50% ⑤50%	健康に関する住民意識調査
(5)骨粗しょう症検診受診率	(令和 6 年度) 4.8%	10%	健康福祉課(集団検診で計算)
(6)進行した歯周炎を有する人の割合の減少 ①40歳代 ②50 歳代	①未把握 ②未把握	①20%以下 ②30%以下	健康に関する住民意識調査、歯科健診

③高齢期の健康・介護予防の推進

事業・取り組み	内容	実施主体・担当課等
課題分析・事業企画	KDB システム、健診データ、通いの場の支援による計測データ・支援対象者等の分析など	健康福祉課
口腔フレイル・フレイル予防の啓発	通いの場における健康教育（栄養・歯科・運動）、フレイル予防に関する教室、高齢期以前の方への啓発	健康福祉課
相談	通いの場の支援による個別相談（栄養・歯科・運動）	健康福祉課
訪問	通いの場の支援による計測データやKDBデータ等の調査・分析による支援対象者への訪問	健康福祉課
関係機関との連携	リハビリ専門職、地域包括支援センター、診療情報提供書等による医療機関との情報連携、支援のつなぎ	健康福祉課
糖尿病以外の生活習慣病の重症化予防	後期高齢者検診で対象となった者に受診勧奨、重症化予防のための相談対応	健康福祉課
口腔ケアの推進	口腔機能検査を取り入れた、在宅療養者・後期高齢者等への歯科検診、受診結果による医療受診勧奨	健康福祉課

■重点目標

1 フレイル予防のために取り組んでいる人が増加する
2 フレイル・口腔フレイルについて知っている人が増加する
3 BMI や筋肉量が基準の範囲である人が増加する

■目標

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)65 歳以上の高齢者のうち介護保険の要支援、要介護を受けた人の割合	(令和6年度末) 22.3%	29.4%以下	介護保険事業状況報告
(2)BMI が基準の範囲(20.1～24.9)の者の割合 (70 歳以上)	52.5%	80%	ポピュレーションアプローチ通いの場の支援から
(3)筋肉量が基準の範囲の者の割合 (70 歳以上) ①男性(7.0 kg/m ² 以上) ②女性(5.7 kg/m ² 以上)	①男性 73.9% ②女性 87.1%	①男性 90% ②女性 95%	ポピュレーションアプローチ通いの場の支援から
(4)フレイル予防には筋肉を衰えさせないことが大事だと知っている・聞いたことがある割合	45.3%	90%	健康に関する住民意識調査
(5)口腔フレイルについて知っている・少し知っている・聞いたことがある割合	35.8%	90%	健康に関する住民意識調査
(6)口腔機能(咀嚼力・舌口唇の力・嚥下機能等)を含む歯科健診・検査を受けたことがある割合	12.0%	60%	健康に関する住民意識調査
(7)フレイル予防のために取り組んでいること(70 歳以上)	①百歳体操への参加 26.9% ②自宅筋肉トレーニング 17.5% ③毎日たんぱく摂取 35.1% ④人との交流 28.7% ⑤地域活動参加 19.8% ⑥パタカラ体操 未把握 ⑦歯科の定期受診 未把握	①百歳体操への参加 50% ②自宅筋肉トレーニング 70% ③朝・昼・夜毎食たんぱく摂取 70% ④人との交流 50% ⑤地域活動参加 40% ⑥パタカラ体操 50% ⑦歯科の定期受診 50% ※③⑥⑦は中間評価で調査する	健康に関する住民意識調査

(5) 地域で健康を支え守るための社会環境整備



■取り組みの方向

人口減少や人々のライフスタイルの変化等により、地域内でのかかわりを持てずに孤立するケースがあります。自分と地域のつながりが強い方だと感じている人の割合は約 4 割ですが、年代によりばらつきがあります。有事の際に助け合える体制づくりや、趣味・関心などを通してゆるやかに地域と繋がるための場づくりを進めていく必要があります。

■重点目標

- 1 住民に最も身近な連絡区単位でのつながりの強化や意識を醸成する
- 2 孤独・孤立防止・孤独死を防止する

①地域ぐるみの健康づくり

■目標

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)自分と地域のつながりが強い方だと思う住民の割合の増加	39.2%	50%	健康に関する住民意識調査
(2)健康や医療サービスに関するボランティア活動をしている住民の割合の増加	5.6%	10%	健康に関する住民意識調査

(6) 地域ぐるみ・関係機関、団体の取り組み

機関名	取り組み内容
豊田郡医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診の推奨 ・よってみんな屋での講演 ・血液データに応じて栄養指導 ・慢性疾患の患者さんに食生活、栄養指導をすべての人に実施 ・日常生活リズムのコントロールと適度の運動を指導 ・学校医として受動喫煙と受動喫煙の危険を説く ・「1日3食、腹8分目、ひと口30回噛む、1日30品目、6つの色の食事、運動」のすすめ ・「ひとりぼっちになるな、するな」運動の啓蒙
竹原豊田歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦歯科健診の実施協力 ・歯周疾患検診の実施協力 ・80歳及び85歳の歯科健診の実施協力 ・フッ素塗布歯科健診実施協力及びフッ素洗口管理指導
連合区長会 (連絡区・地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域サロンを継続して開催 ・いきいき百歳体操を継続して実施 ・いきいき百歳体操で歯・口腔の体操(かみかみ体操等)を継続して実施 ・地域で特産物を使った料理や郷土料理を作り会食する場の設定 ・地域で運動(ボッチャ・モルック、グランドゴルフ等)する機会を作り実施 ・地域集会所や敷地内は禁煙 ・家庭内や地域の祭り・行事等の際に、こどもにお酒を勧めない ・地域の民生委員や高齢者巡回相談員等が区長と連携を図り、要支援者の把握や孤立や孤独死を防止 ・地域住民がお互いに声掛けや見守り
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉センター入口へ自動血圧計を設置 ・ふれあいサロンの会食時に、食生活推進員の協力のもと調理実習を実施 ・週1回運動の機会として、健康体操教室やストレッチ教室を開催 ・在宅介護者家族会(定例会)の開催を支援 ・リフレッシュ交流会を企画実施 ・外出支援サービスを実施することによる歯科受診支援 ・ふれあいサロンの世話人やかみじまネットの協力員等、ボランティア活動を促進している ・ふれあいサロン、よってみんな屋の参加者への見守りと声掛け
地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・通所C(短期集中性格機能向上リハビリ教室)の支援と呼びかけ ・ふれあいサロンやいきいき百歳体操など集まりの場への参加声かけ ・いきいき百歳体操の各地区での健康講座の実施支援 ・民生委員や高齢者巡回相談員との情報共有と連携、相談対応
生活サポートセンターIらんど	<ul style="list-style-type: none"> ・通所事業所、グループホーム利用者健康診断を年1回実施 ・町主催の糖尿病講座へ当事者とともに参加(糖尿病既往の方) ・2カ月に1回の日曜日、管理栄養士作成のレシピで料理教室を開催 ・活動支援センターにて、毎月低コストで調理実習実施 ・障害者スポーツ大会に当事者、職員で参加 ・運動指導士による体操教室を月1回開催 ・精神障害者 家族の集いを毎月開催し、日ごろの悩みや状況の共有、研修会を実施 ・地域のボランティアによる音楽活動、お茶教室の開催

機関名	取り組み内容
小中 PTA 連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・体育朝会（東小）：週 1 回程度実施 ・就寝時間を守る（小学低・中学年 21 時、高学年 21 時半） ・生活頑張り習慣（東小）：朝ご飯のバランスをチェックし、学校に報告 ・東野スポーツフェスティバルの実施
大崎上島幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して栽培・収穫・クッキング（夏野菜・米・里芋等） ・「大崎上島学」：地域の農業・産業見学・体験活動 ・食育についての啓発活動（給食参観日・たよりの発行） ・他団体との交流：町食育推進委員による食育学習会（保護者への啓発・親子クッキング） ・運動遊び年間指導計画（36 基本動作）に基づいた運動遊びの継続 ・運動能力テストの実施 ・睡眠時間（午睡を含む）のアンケート調査、分析 ・保護者への啓発 ・親子虫歯予防教室の実施 ・歯科検診の実施 ・歯磨きの取り組み（朝、昼、夜） ・フッ素洗口（希望者）
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断（ドック）の受診（県費職員は必須、町費職員は推奨） ・全学年体力テストの実施 ・体育的行事の実施（運動会、持久走大会、縄跳び大会、水泳記録会、高学年陸上記録会等） ・毎月「生活リズムチェック」の実施 ・児童への保健指導（全体・個別） ・体育科（保健）でたばこ・飲酒の害（特に若年者での）について学習 ・公衆衛生推進協議会の委員さんによる出前授業の実施 ・歯科検診の実施 ・歯科衛生士による歯磨き指導 ・フッ素洗口 ・夏休みラジオ体操の推奨 ・休憩時間の外遊びの推奨
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科における指導（生活習慣病予防） ・特別活動における指導（歯周病と体の病気、生活習慣との関係について） ・自作弁当の取り組み ・学校栄養教諭による食育指導 ・1 学年対象「食育出前講座」の実施、地域の特産物を知り販売（2 年：修学旅行における商人体験学習） ・体力測定（1 学期） ・薬物乱用防止教室の実施 ・歯科検診の実施 ・保健体育科における指導（歯と口腔の健康と生活習慣病予防） ・特別活動における指導（歯周病と体の病気、生活習慣との関係について） ・歯科衛生士による講話（歯周病や歯肉炎、全身疾患との関わり）や、歯の染め出し体験 ・思春期ふれあい体験 ・1 学年を対象とした福祉体験学習や車いす体験 ・ハイパーQU(※)やヒューマン等生徒アンケートの活用、スクールカウンセラーの活用 <p>(※)生徒の学校生活における満足度や意欲、学級集団の状況等を質問紙によって測定するもの</p>

機関名	取り組み内容
広島商船高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動単位で食育講習を依頼 ・学生主体のスポーツ大会において、教職員チームを結成して参加 ・クラスや寮以外のサードプレイスとして課外活動への参加を促進
学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒、保護者に対する生活習慣に関する啓発 ・食育啓発活動（家庭科・特別活動）の実施 ・児童生徒の体力テストの実施 ・運動部活動への加入推進 ・教職員へのストレスチェックの実施 ・学校施設・敷地内での禁煙 ・児童生徒に対する喫煙・アルコールの体への影響等についての学習 ・幼小中における歯科検診 ・保健指導による虫歯予防 ・食育啓発活動（家庭科・特別活動）の実施
食生活改善推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域（40 か所以上）でバランス食の普及啓発 ・乳製品を使った講習会（適量摂取や地域の野菜等の活用推進） ・幼稚園、中学校、高校、商船での食育出前講座 ・夏休みに小学生を対象に子ども料理教室 ・老人クラブ会員を対象に低栄養予防についてのミニ講座 ・地域の方たちと一緒に各地区でいきいき百歳体操の実施 ・ふれあいサロンで高齢期の健康、食生活について普及啓発 ・健康診査の受診推奨
公衆衛生推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・がんのキャンペーンを年に2回スーパー2店の前で実施 ・食品ロスの問題について、講習会を実施 ・歯周病について講師を招き研修会を開催 ・町民を対象にフレイル予防としてウォーキングを月1回実施
豊田・竹原歯科衛生士会	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児相談会（歯科指導） ・1歳半、3歳児健診（歯科検診と歯科指導） ・フッ素塗布（歯科検診とフッ素塗布） ・虫歯予防教室：大崎上島幼稚園、認定こども園ひかりえん、各小学校1年生 ・歯周病・虫歯予防教室：各小学校4年生、大崎上島中学校1年生 ・訪問歯科検診（在宅医療）：歯科検診、口腔指導、口腔ケア ・8020 歯科検診（80歳、85歳）：歯科検診、口腔機能検査、口腔指導
商工会	<ul style="list-style-type: none"> ・職場検診の受診推奨 ・おと姫カード会主催で、グランドゴルフ大会を開催 ・職員の有給休暇の取得奨励（目標：年間10日取得） ・敷地内での禁煙対策
老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・料理教室の実施 ・高齢者スポーツ大会 ・グランドゴルフ大会 ・夏休みラジオ体操 ・指導者講習会 ・高齢者の発表会 ・戦没者慰霊塔清掃 ・野外研修旅行（日帰り） ・週1回長寿会
町民（高齢期ワーキング）	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生と夏休み中ラジオ体操参加 ・年1～2回体力測定の結果と指導を個別に受ける ・毎週いきいき百歳体操を実施

機関名	取り組み内容
町民(子育て・成人期 ワーキング)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を意識して生活／血圧測定 ・アプリを活用して歩数・運動時間を記録 ・食事作りに関わる取り組み ・受動喫煙防止の取り組み
西部東保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・ベジフルチャレンジカード(ひろしま食育・健康づくり実行委員会事業)の配布 ・ひろしま食育の日、食育月間、健康増進普及月間、食生活改善普及運動等、強化月間を活用した普及啓発 ・栄養成分表示を活用した健康教育 ・精神科医による精神保健相談の実施(毎月1回) ・保健師による精神保健福祉相談の実施(電話、面接により随時) ・精神障害者地域生活支援検討会(年6回) ・精神障害者地域生活研修会(年1回) ・管内大学に対する健康教育 ・自殺予防週間及び自殺予防月間におけるポスター掲示による普及啓発 ・世界禁煙デー、禁煙週間に合わせたポスター掲示、資料配布 ・アルコール関連問題啓発週間のポスター掲示 ・結核対策特別促進事業(高齢者施設職員等を対象とした結核・感染症対策研修会の開催(年2回)、管内市町自主グループに対する結核健康教育を開催等) ・ひきこもり家族のつどいの実施(年6回)
生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島町体育協会球技大会 ・体力テスト(20～79歳) ・大崎上島駅伝大会 ・わいわいスポーツクラブ開設 ・わがまちスポーツ(ボッチャ)の推進
地域経営課	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型修学旅行民泊体験における地産地消の推進 ・大崎上島地域の海辺を守る会による藻場の維持、回復に係る活動 ・大崎内浦漁協によるアサリ潮干狩りの実施

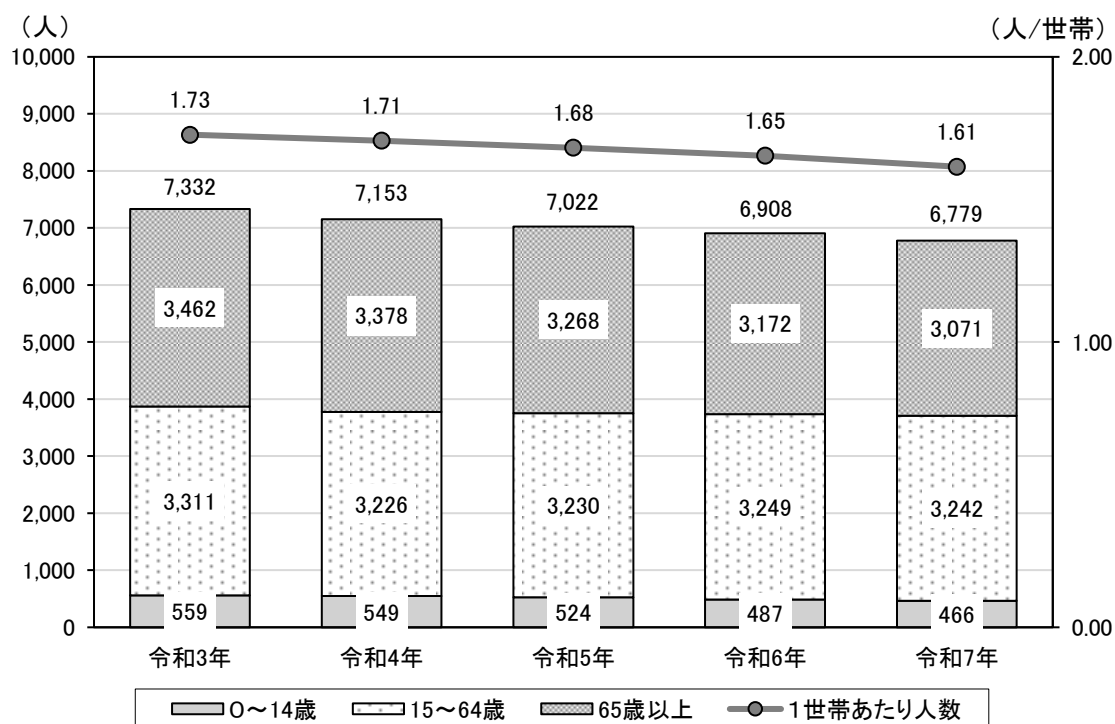
資料編

1. 大崎上島町の健康状況

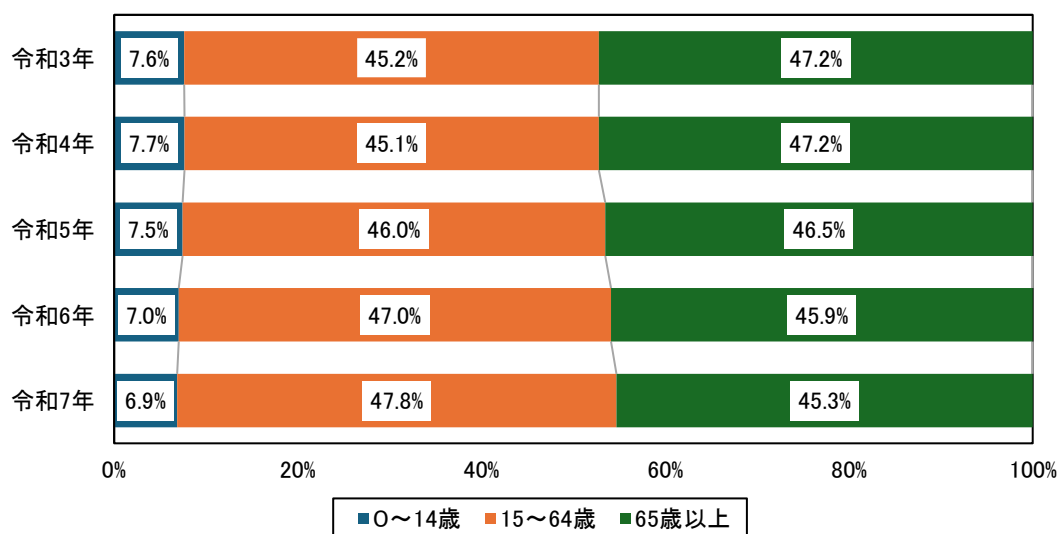
(1) 人口・世帯

①人口及び世帯数の動向

■人口・世帯の推移(各年1月1日現在)



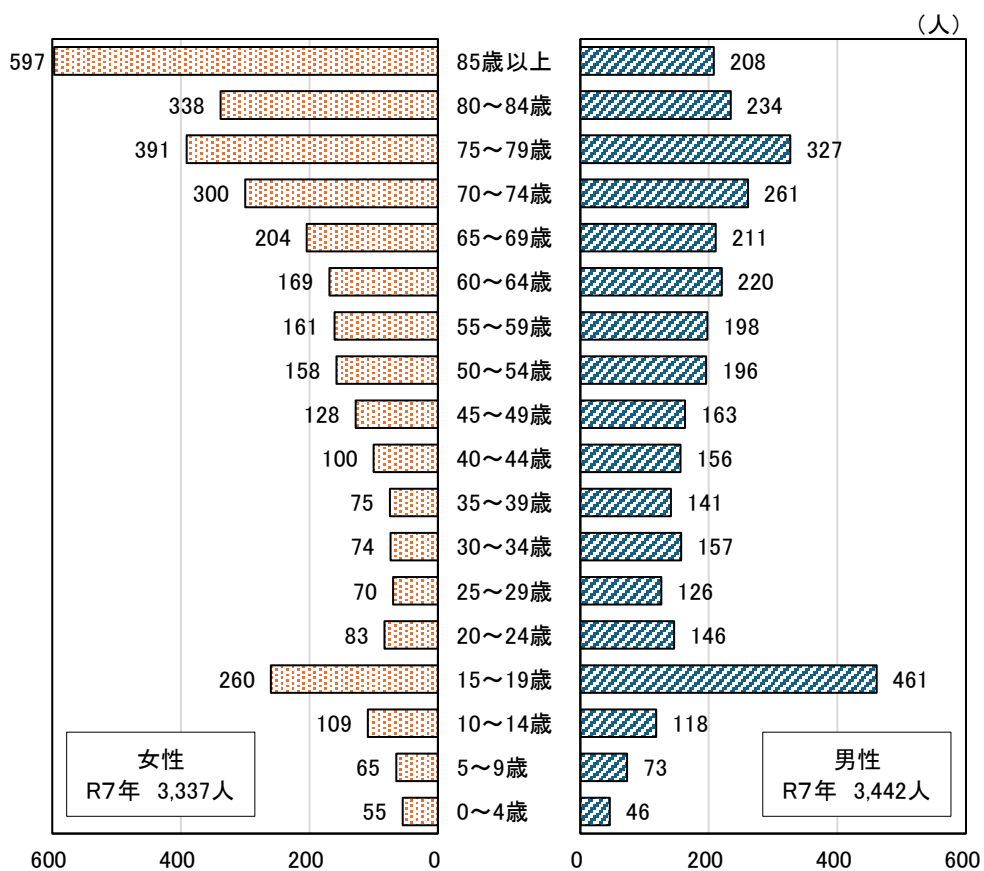
■年齢別人口構成比率の推移



出典:住民基本台帳

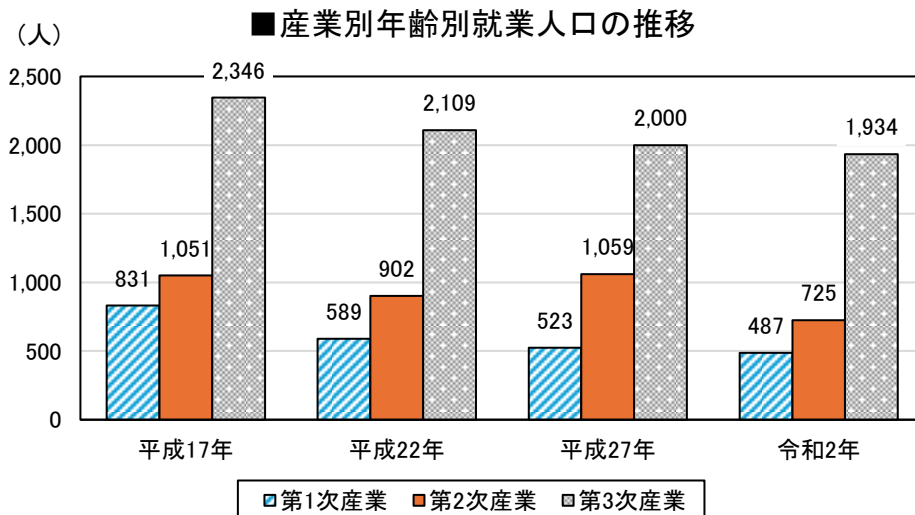
②人口分布

■人口分布(令和7年1月1日現在)



出典:住民基本台帳

③産業別就業人口

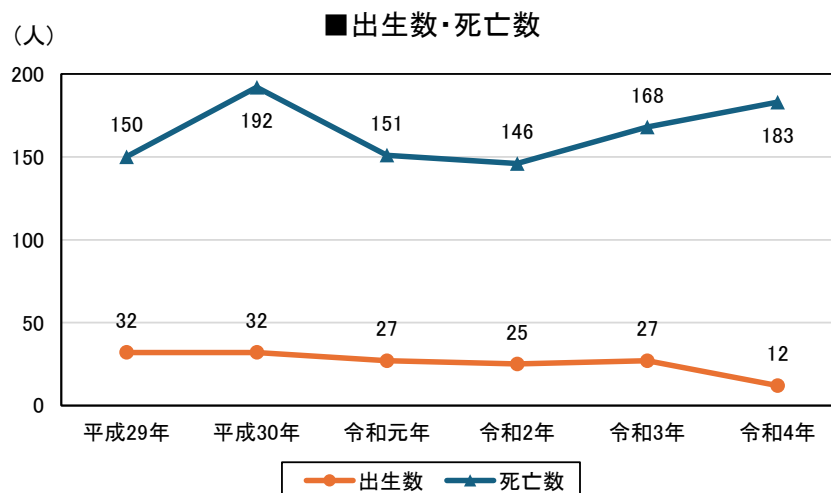


■産業大分類別、年齢別就業人数(令和2年)

産業大分類		15～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65 歳以上
産業 第一次	A_農業, 林業	22	25	34	41	27	302
	01_うち農業	22	24	33	41	27	301
	B_漁業	3	6	7	7	2	11
産業 第二次	C_鉱業, 採石業, 砂利採取業	0	0	0	0	－	0
	D_建設業	14	26	44	70	27	63
	E_製造業	94	71	93	94	48	81
第三次産業	F_電気・ガス・熱供給・水道業	13	15	23	17	3	2
	G_情報通信業	1	0	1	1	－	2
	H_運輸業, 郵便業	9	15	44	42	20	41
	I_卸売業, 小売業	34	25	58	70	28	120
	J_金融業, 保険業	5	4	9	5	4	1
	K_不動産業, 物品賃貸業	1	1	0	3	1	4
	L_学術研究, 専門・技術サービス業	12	13	15	13	4	11
	M_宿泊業, 飲食サービス業	15	15	28	38	23	49
	N_生活関連サービス業, 娯楽業	9	5	13	8	5	32
	O_教育, 学習支援業	31	39	34	43	27	29
	P_医療, 福祉	43	63	74	94	51	60
	Q_複合サービス事業	13	10	22	18	7	7
	R_サービス業(他に分類されないもの)	7	28	29	38	18	48
	S_公務(他に分類されるものを除く)	21	26	30	39	18	37
	T_分類不能の産業	2	0	1	1	0	2
総数		349	387	559	642	313	902

出典: 国勢調査

④自然動態



出典：広島県人口動態統計

⑤妊娠届出数の推移

■妊娠届出数

(人)	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
妊娠届出数	34	23	30	25	16	16	19

出典：地域保健・健康増進事業報告

■妊婦・産婦健診結果で要経過観察、要治療、要精密となった理由

令和 5 年度	令和 6 年度
高血圧	産後うつの疑い
浮腫	尿糖
貧血	切迫早産
尿蛋白	高血圧
	細菌性膣炎

出典：健康情報システム 健康つばさくんより抽出

(2) 平均寿命・健康寿命

■平均寿命・健康寿命

(年)	令和 2 年		令和 3 年			
	平均寿命		健康寿命 (日常生活動作が自立している 期間の平均)(参考)		不健康な期間の平均 (日常生活動作が自立していない 期間の平均)(参考)	
	男	女	男	女	男	女
広島県	82.0	88.2	80.40	84.81	1.42	3.10
大崎上島町	81.8	87.9	79.73	83.26	1.41	3.30

出典：平均寿命は、厚生労働省「令和 2 年市区町村別生命表」、
健康寿命、不健康な期間の平均は、広島県健康福祉局健康づくり推進課
「市町の健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)の算定結果について(通知)」

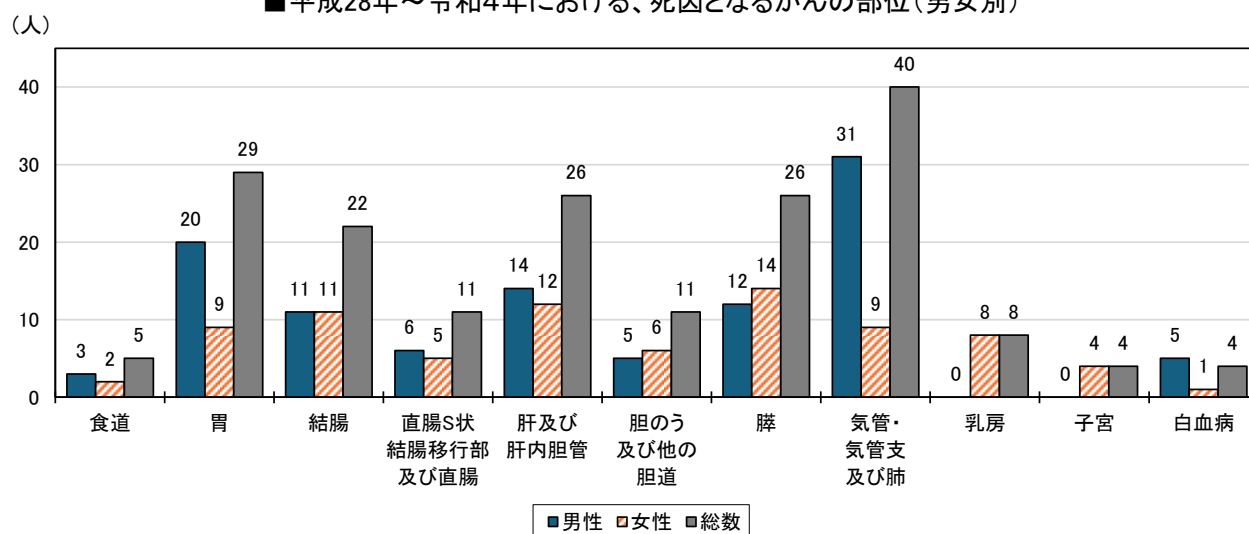
(3) 主要死因

■主な死因別死亡件数の推移

	令和2年	令和3年	令和4年
悪性新生物	32件 (21.9%)	41件 (24.4%)	41件 (22.4%)
心疾患	33件 (22.6%)	28件 (16.7%)	33件 (18.0%)
肺炎	5件 (3.4%)	7件 (4.2%)	0件 (0.0%)
脳血管疾患	21件 (14.4%)	11件 (6.5%)	12件 (6.6%)
不慮の事故	4件 (2.7%)	3件 (1.8%)	4件 (2.2%)
自殺	2件 (1.4%)	5件 (3.0%)	1件 (0.5%)
糖尿病	2件 (1.4%)	3件 (1.8%)	0件 (0.0%)
老衰	12件 (8.2%)	15件 (8.9%)	25件 (13.7%)
肝疾患	1件 (0.7%)	3件 (1.8%)	1件 (0.5%)
腎不全	4件 (2.7%)	7件 (4.2%)	1件 (0.5%)
その他	26件 (17.8%)	39件 (23.2%)	50件 (27.3%)
全数	146件 (100.0%)	168件 (100.0%)	183件 (100.0%)

()は死亡総数に占める割合 出典: 広島県人口動態統計

■平成28年～令和4年における、死因となるがんの部位(男女別)



出典: 広島県人口動態統計

(4) 特定健診・特定保健指導

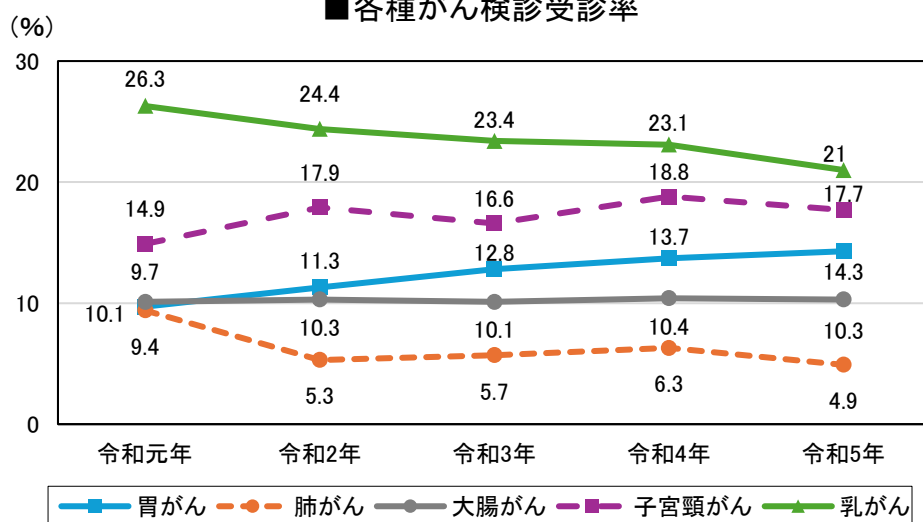
①がん検診

■がん検診受診者数

(人)	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
胃がん	279	168	160	150	124
肺がん	566	378	370	443	374
大腸がん	606	569	548	538	583
子宮頸がん	268	253	234	244	229
乳がん	270	218	221	228	163

出典：地域保健・健康増進事業報告

■各種がん検診受診率

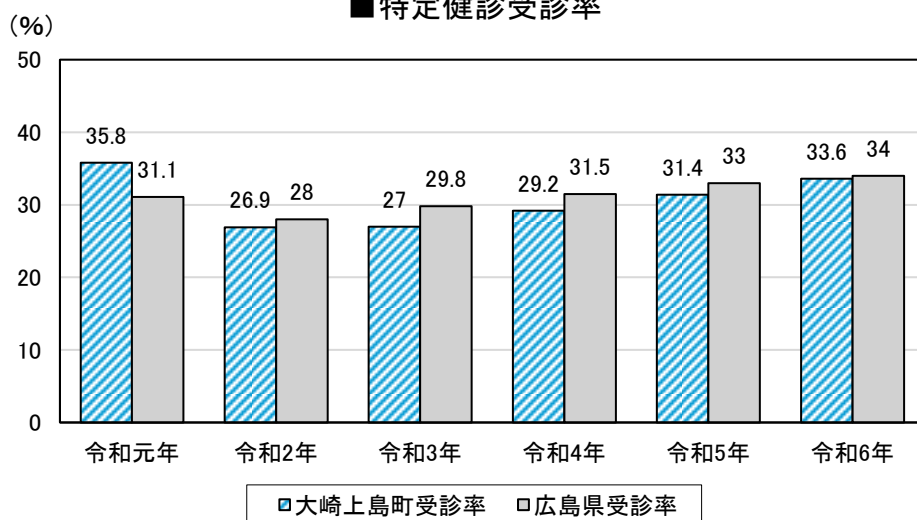


※算定対象 胃がん：50～69 歳、肺がん・大腸がん：40～69 歳、子宮頸がん：20～69 歳、乳がん：40～69 歳

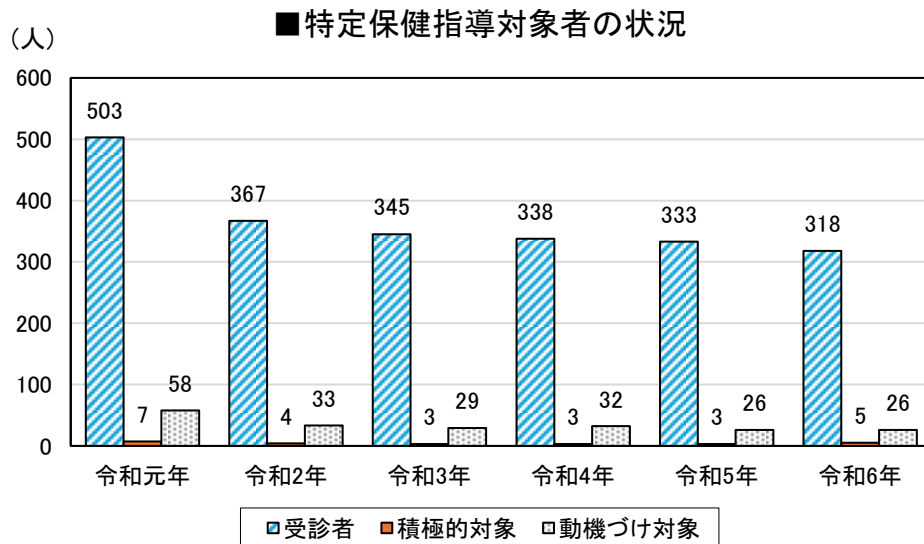
出典：地域保健・健康増進事業報告

②特定健診・特定保健指導

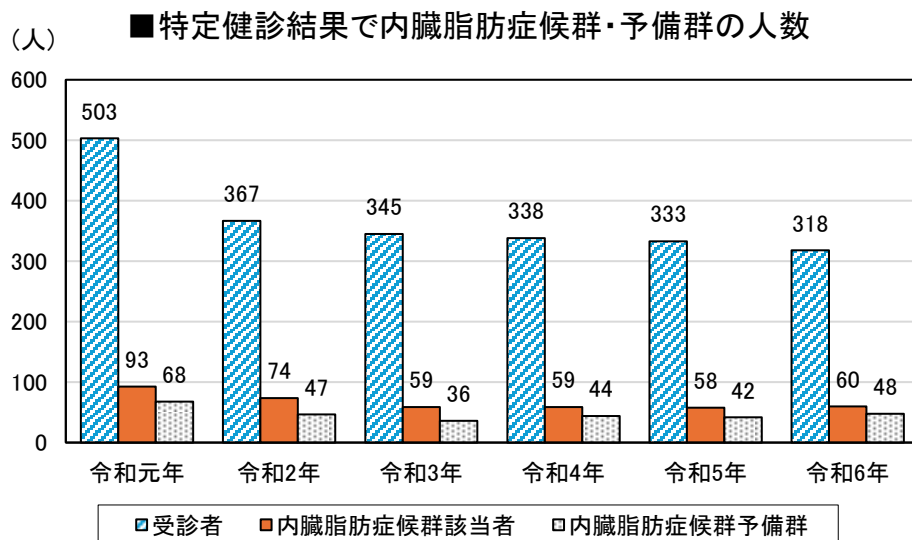
■特定健診受診率



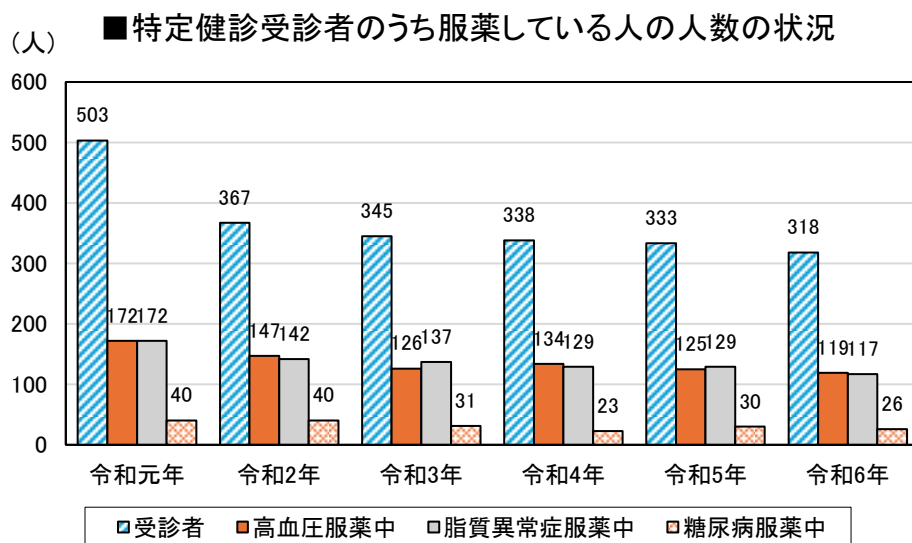
出典：厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」



出典：特定健診・特定保健指導実施報告



出典：特定健診・特定保健指導実施報告



出典：特定健診・特定保健指導実施報告

(5) 国保医療費・生活習慣病有病者

①医療費

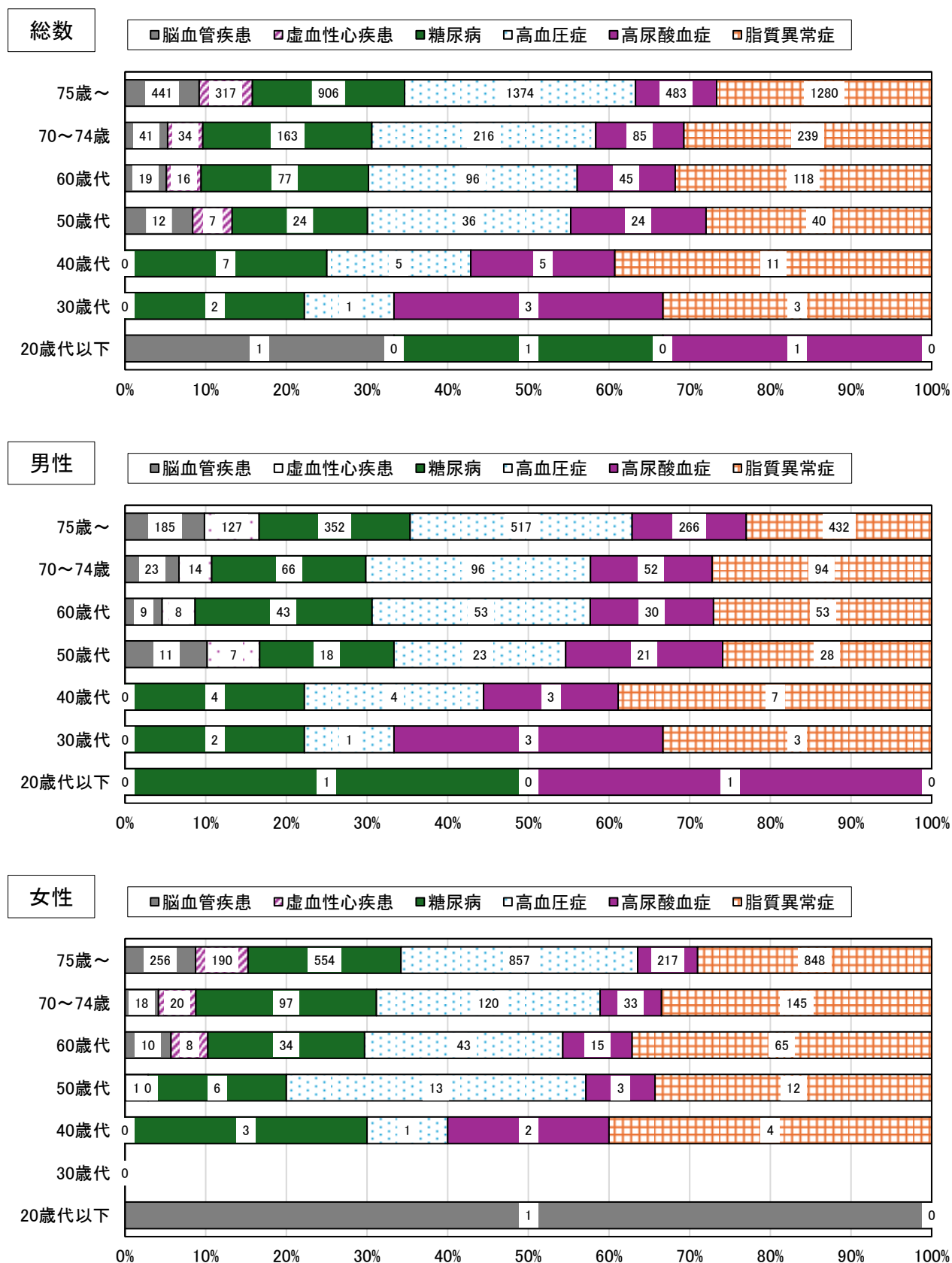
■医療費の状況

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
入院診療費	352,511,090	332,055,280	234,788,930
入院外診療費	236,427,120	221,762,990	189,134,670
歯科診療費	44,799,820	45,437,990	51,482,340
調剤費	204,088,200	179,510,000	168,038,190
食事・生活費	17,639,675	18,565,991	14,613,482
訪問介護	2,547,810	2,631,500	2,467,265
合計	858,013,715	799,963,751	660,524,877
1 人当たり医療費	594,604	564,149	540,528

出典：国民健康保険事業年報

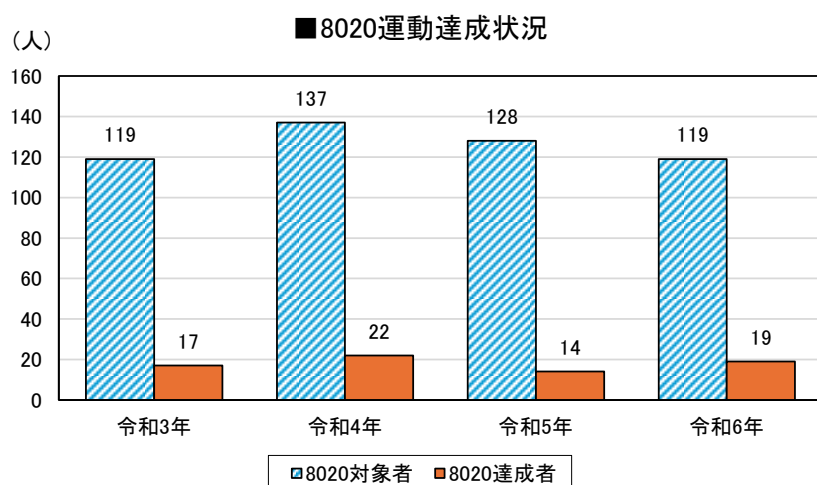
②生活習慣病有病者数

■年齢別生活習慣病の疾病数(令和7年5月診療分)

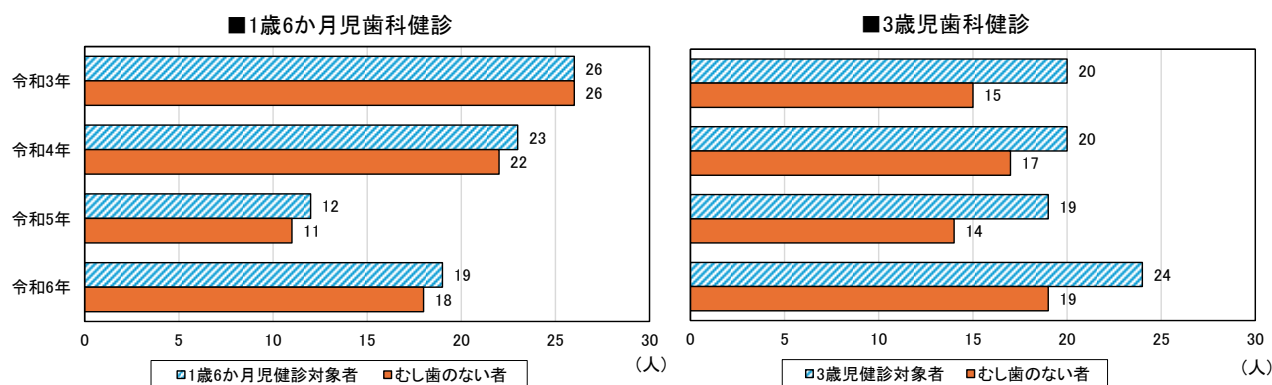


出典: 国保分析システム

(6) 歯と口腔



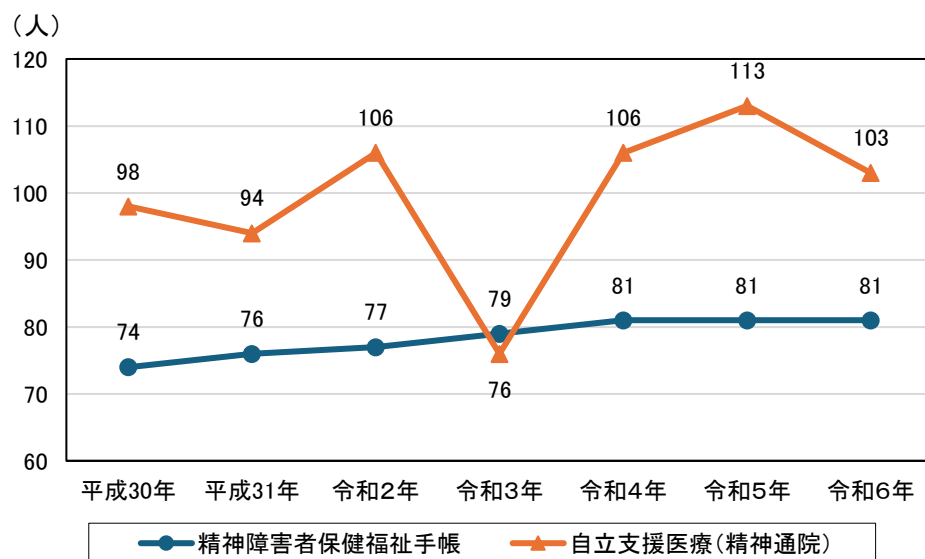
出典: 歯科保健事業実績



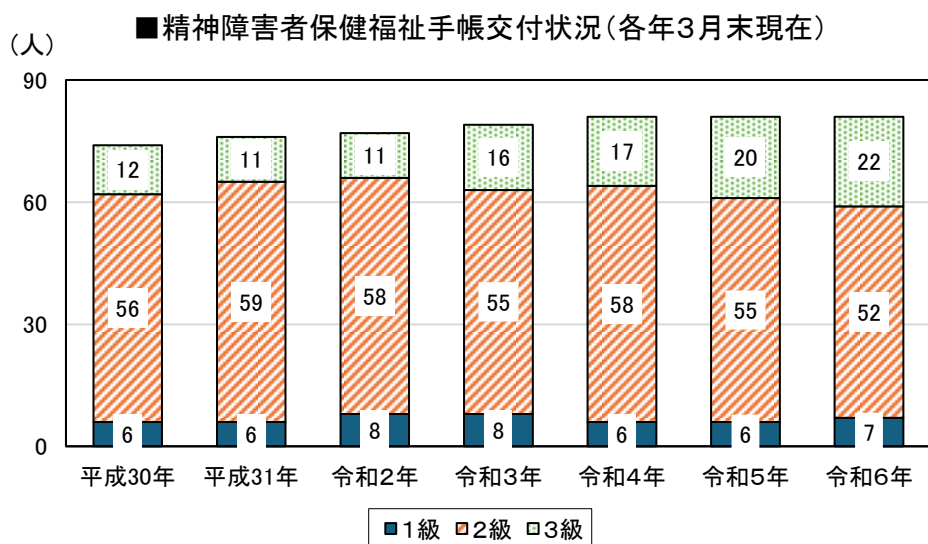
出典: 歯科保健事業実績

(7) 精神保健・自殺死亡率

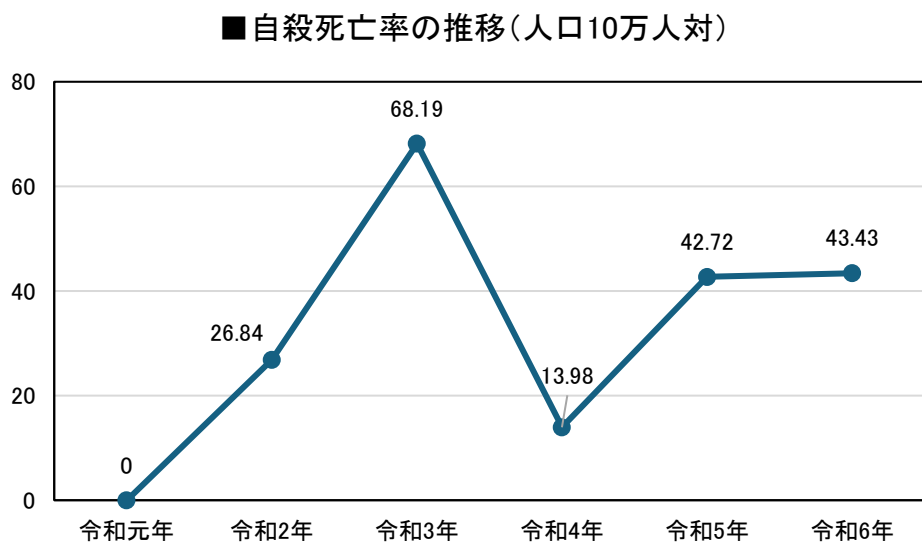
■精神障害者保健福祉手帳交付・自立支援医療(精神通院)受給(各年3月末現在)



出典: 広島県西部東保健所事業概要



出典: 広島県西部東保健所事業概要



出典: 厚生労働省 自殺統計 地域における自殺の基礎資料

(8) 介護保険

①介護保険の要支援・要介護認定者数

■要支援・要介護認定者数(第1号被保険者)の推移(各年3月末現在)

(人)	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
要支援1	87	68	69	78
要支援2	78	88	86	98
要介護1	147	139	146	138
要介護2	103	112	111	107
要介護3	121	105	120	123
要介護4	84	84	72	70
要介護5	117	97	76	72
合計	737	693	680	686
認定率	21.9%	21.3%	21.6%	22.4%

出典:介護保険制度の実施状況

■介護保険サービス利用者(第2号被保険者含む)の推移(各年4月利用分)

(人)	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
居宅サービス利用者数	332	335	334	356
施設サービス利用者数	185	183	168	166
地域密着型サービス利用者数	74	73	79	78
利用者合計	591	591	581	600
利用率	79.2%	84.1%	84.4%	86.2%

出典:介護保険制度の実施状況

(9) 後期高齢者医療費・受療状況

■後期高齢者医療の状況

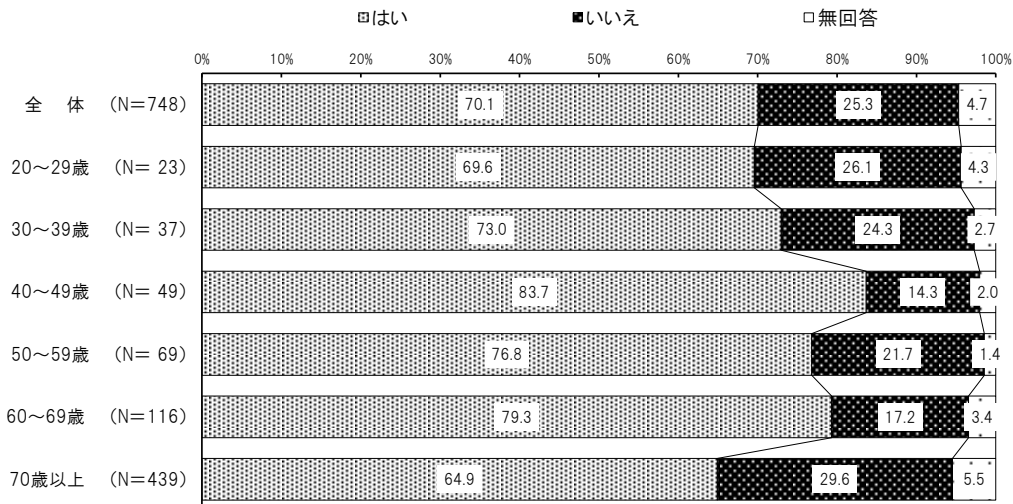
(円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院診療費	1,111,332,010	1,281,545,129	1,180,512,900
入院外診療費	562,402,820	551,848,310	545,683,370
歯科診療費	75,324,200	85,182,240	82,625,900
調剤費	395,008,970	378,645,450	369,164,670
食事・生活費(医科)	65,126,549	72,415,991	72,839,931
食事・生活費(歯科)	0	120,503	0
訪問介護	13,228,670	18,713,460	23,913,915
合計	2,222,423,219	2,388,471,083	2,274,740,686
1人当たり医療費	1,035,612	1,112,469	1,064,954

出典:広島県後期高齢者医療事業年報

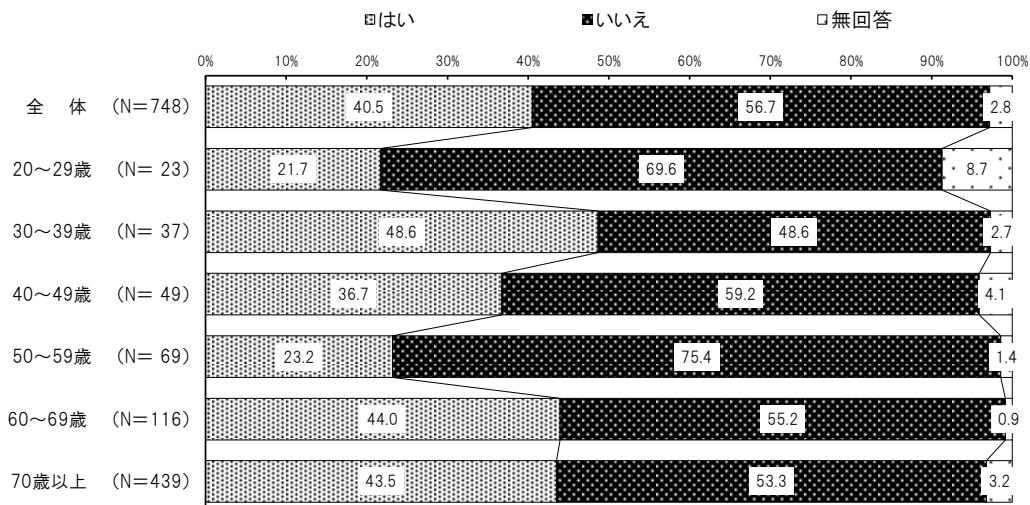
2. 健康に関する住民意識調査のまとめ

(1) 主要な生活習慣病予防と食育の推進

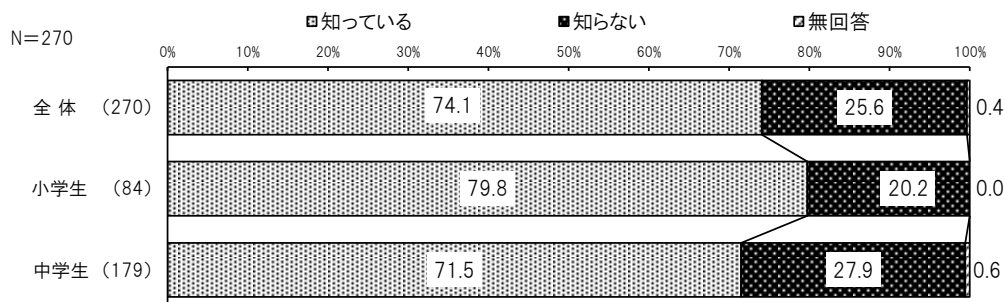
問16-1 自分の適正体重の認知〔%〕



問23① 自分の食塩摂取目標量を知っている〔%〕

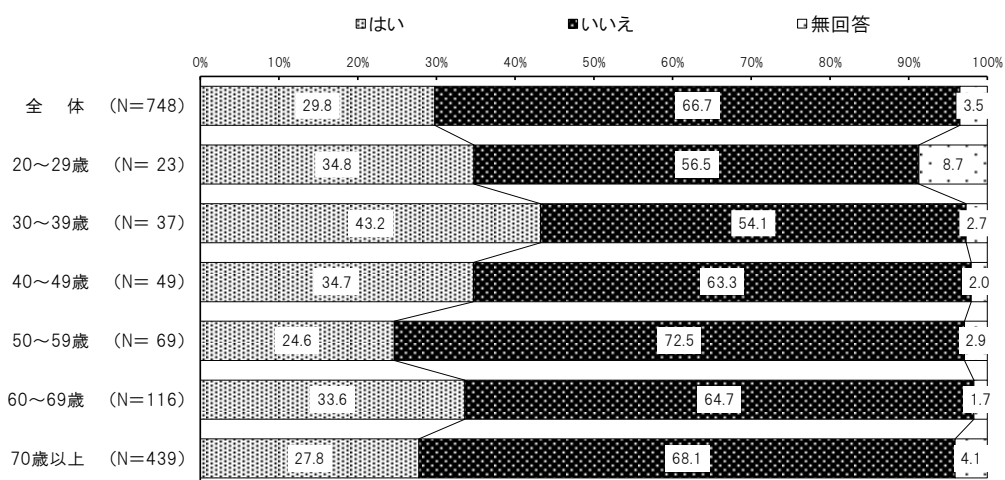


問23 大崎上島町の特産物・郷土料理の認知〔%〕

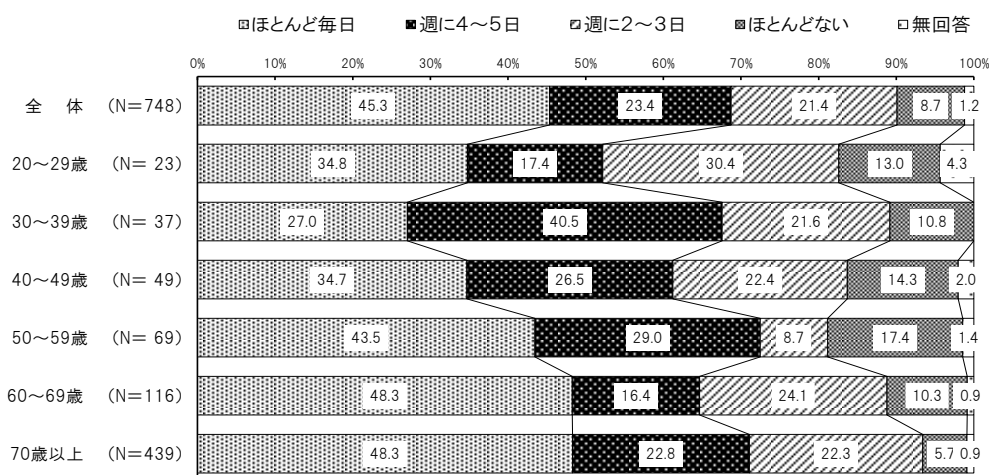


(2) 栄養・食生活・食育

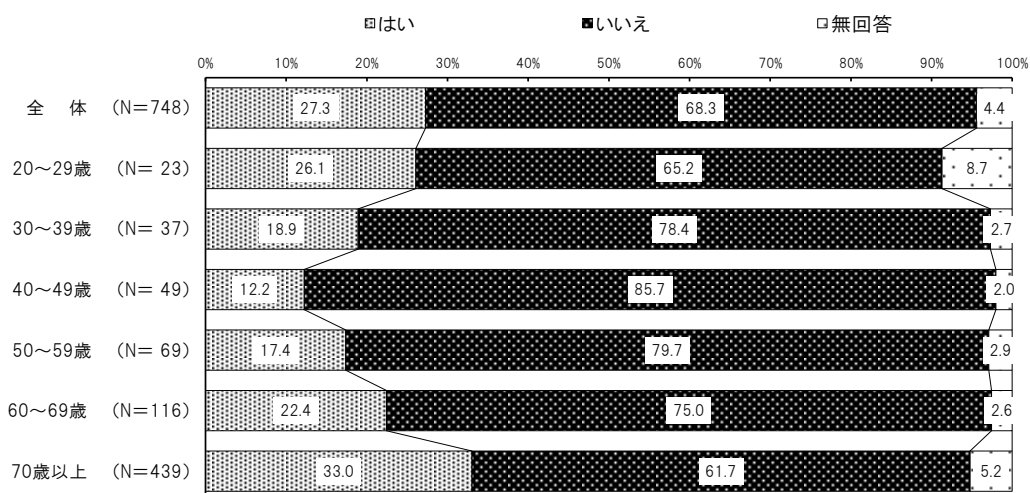
問22⑦ 自分にあった食事量や食事のカロリーを知っている[%]



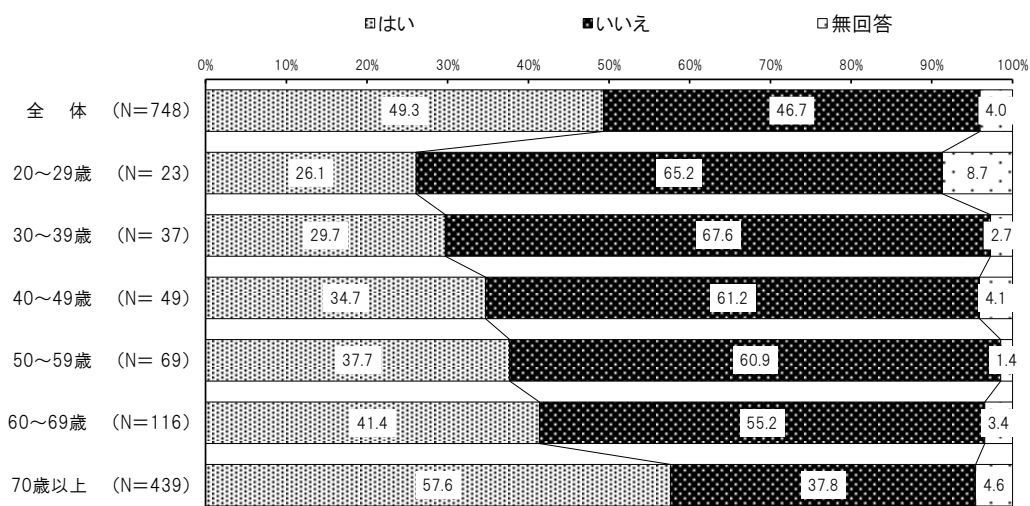
問21 1日に2回以上、主食、主菜、副菜をそろえる頻度[%]



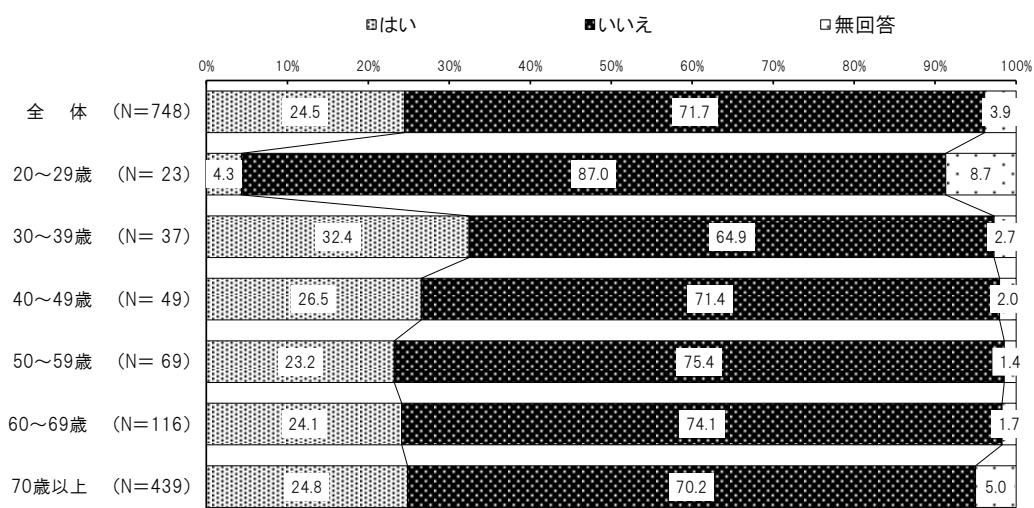
問22⑤ 野菜を1日5皿位食べる[%]



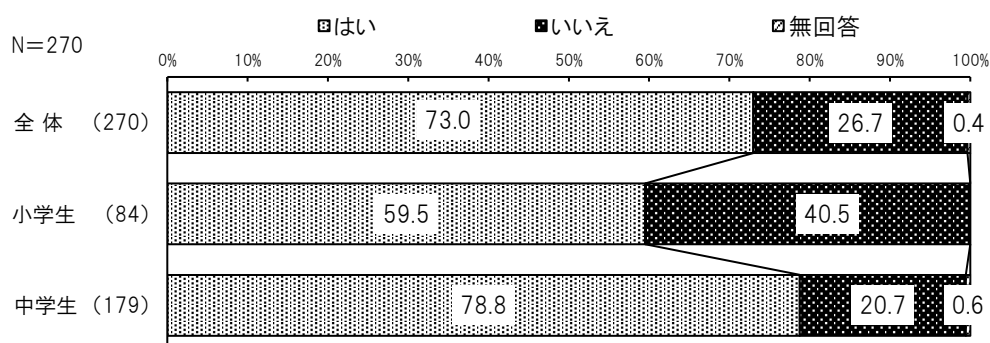
問23③ 減塩の工夫をしている[%]



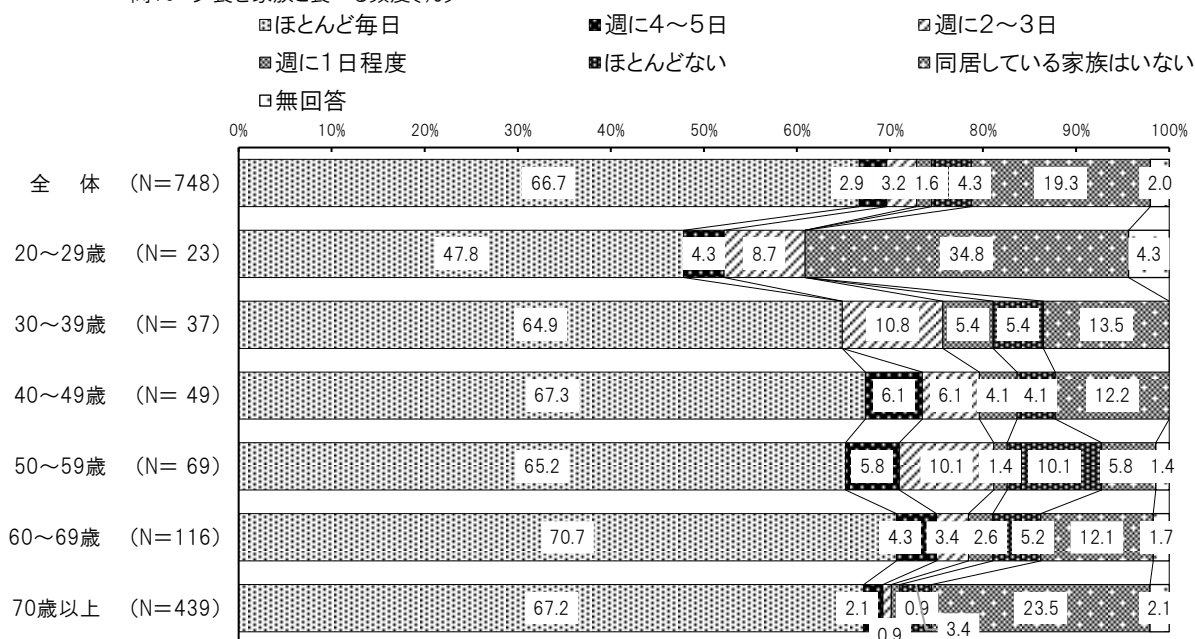
問23② 買い物の時、栄養成分表示を見る[%]



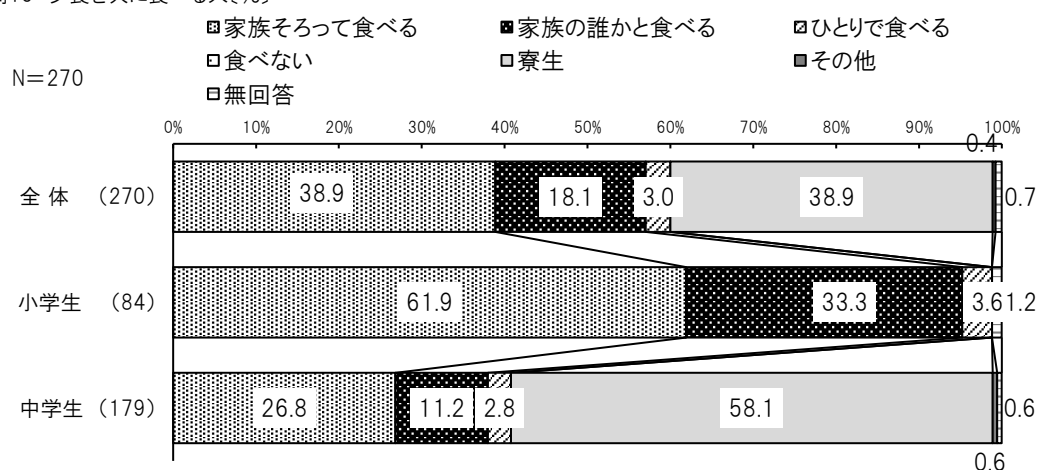
問20 ②弁当や菓子に表示の栄養成分表示を見たことがある[%]



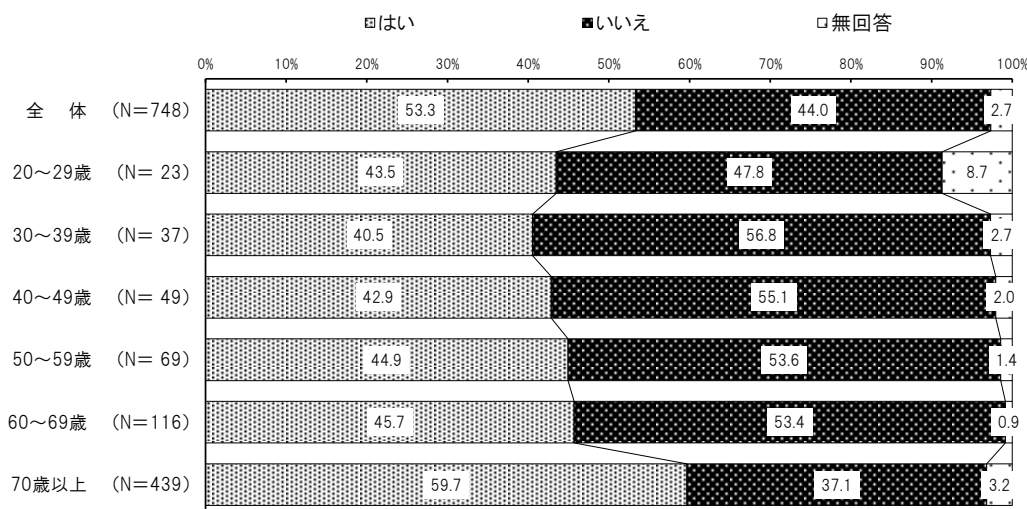
問19 タ食を家族と食べる頻度[%]



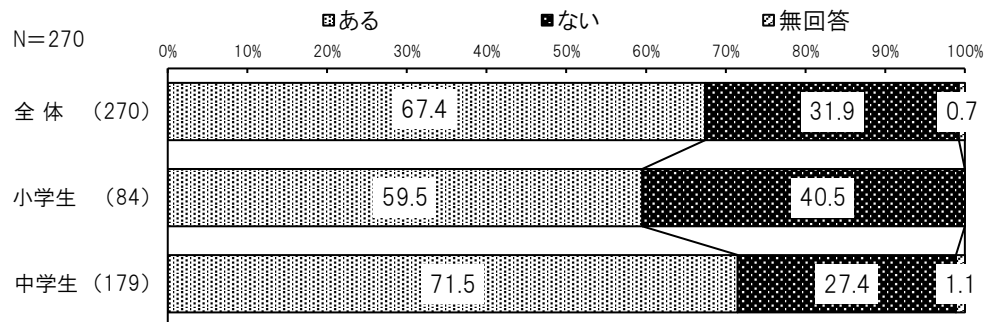
問15 タ食を共に食べる人[%]



問22⑨ ゆっくりよく噛んで食事をしている[%]

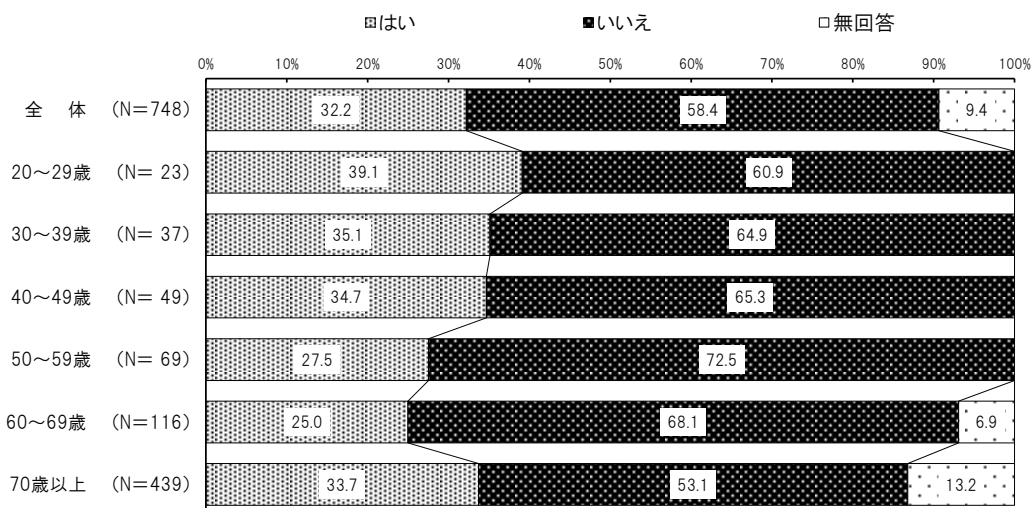


問21 バランスのよい食事や体によい食べ物についての関心〔%〕

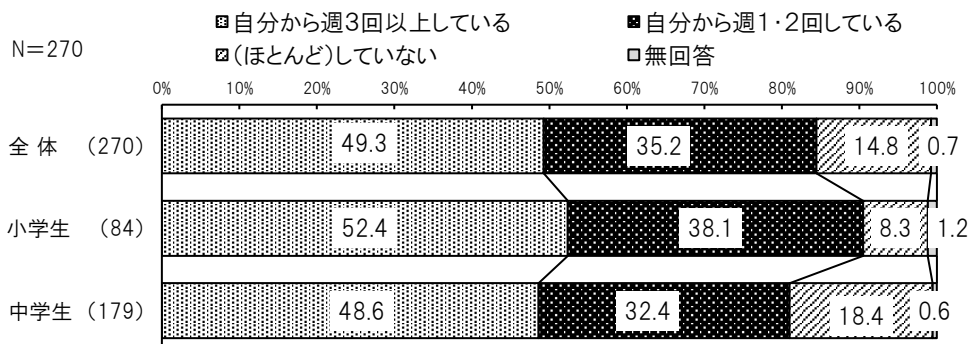


(3) 身体活動・運動

問32① 自分にあつた運動の種類や強度がわかる〔%〕

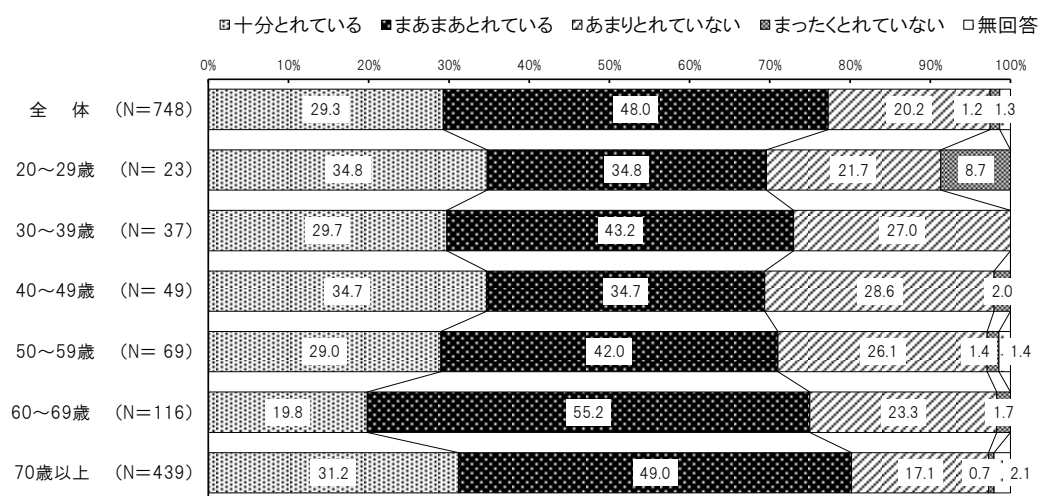


問33 日頃から個人的に運動などを行っているか〔%〕

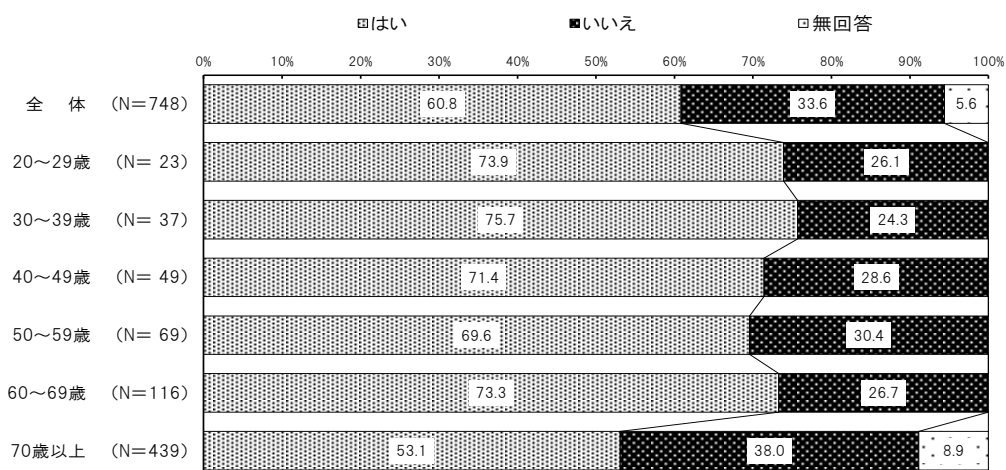


(4) 休養・こころの健康

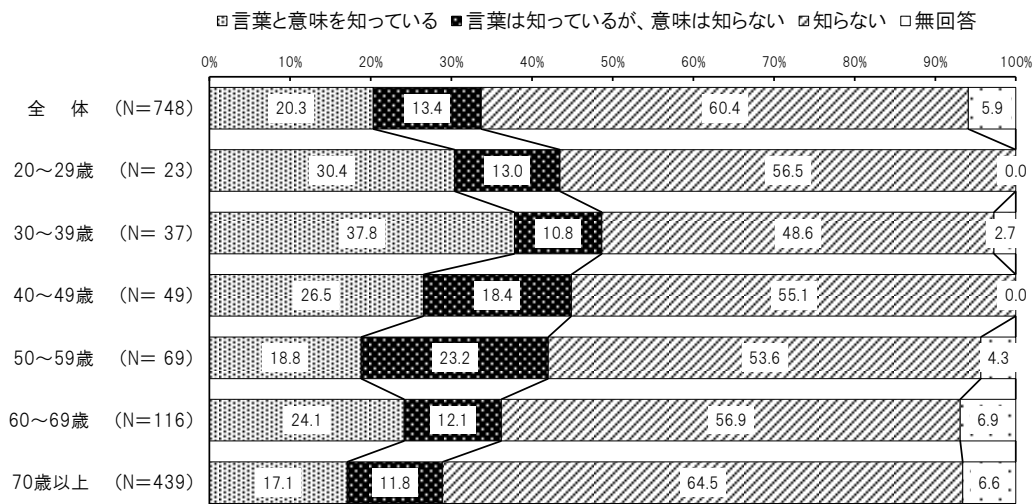
問43 ここ1ヶ月、睡眠で休養が十分とれているか[%]



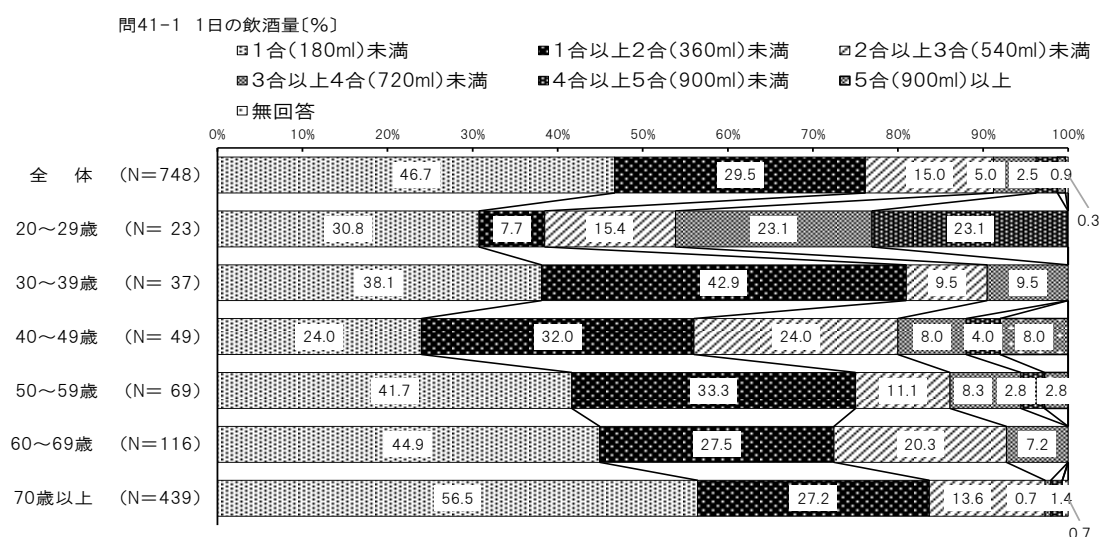
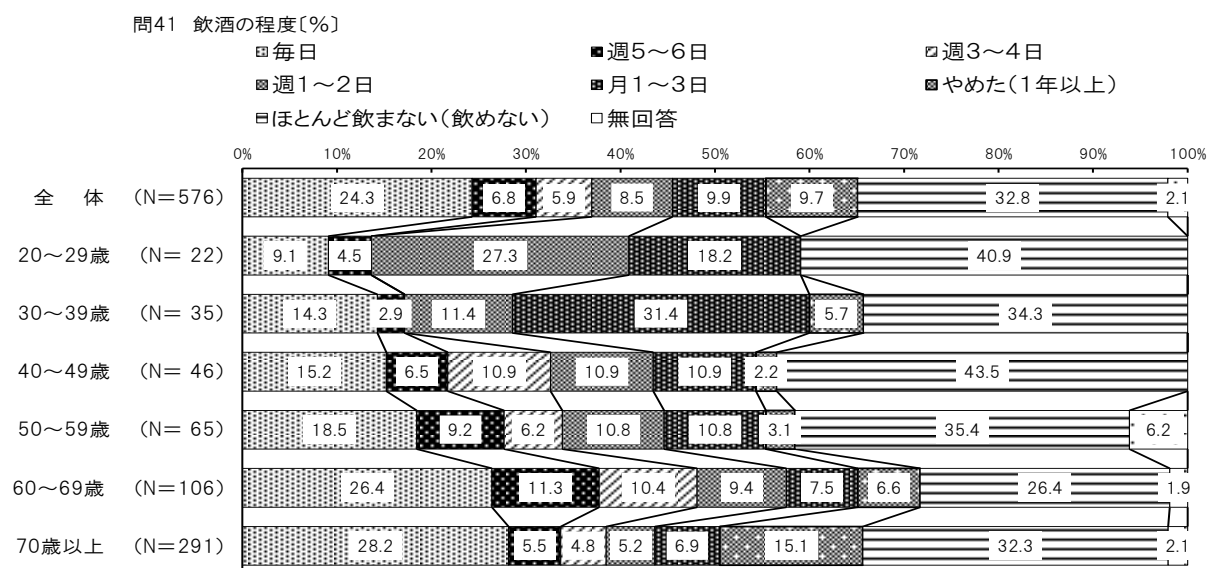
問45⑥ 自分にあつたストレス解消法がある[%]



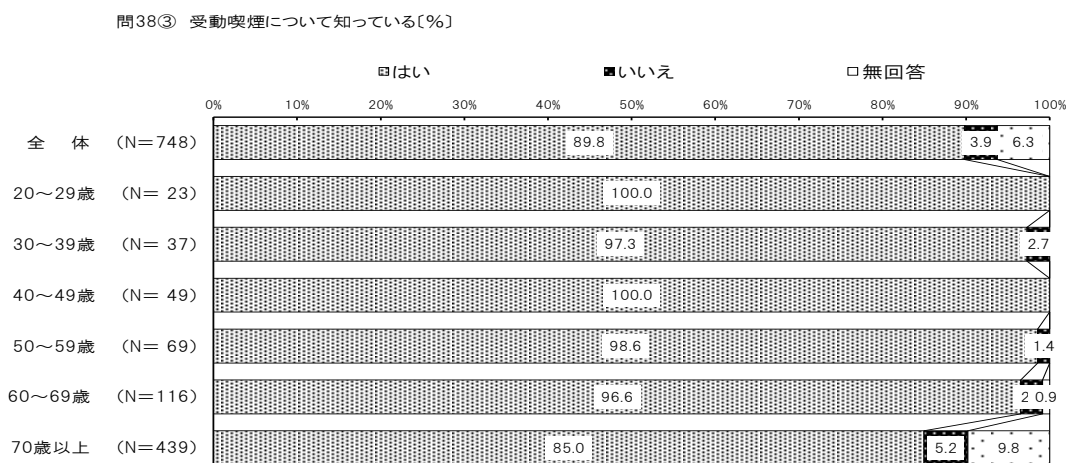
問51 「ゲートキーパー」認知[%]



(5) 飲酒

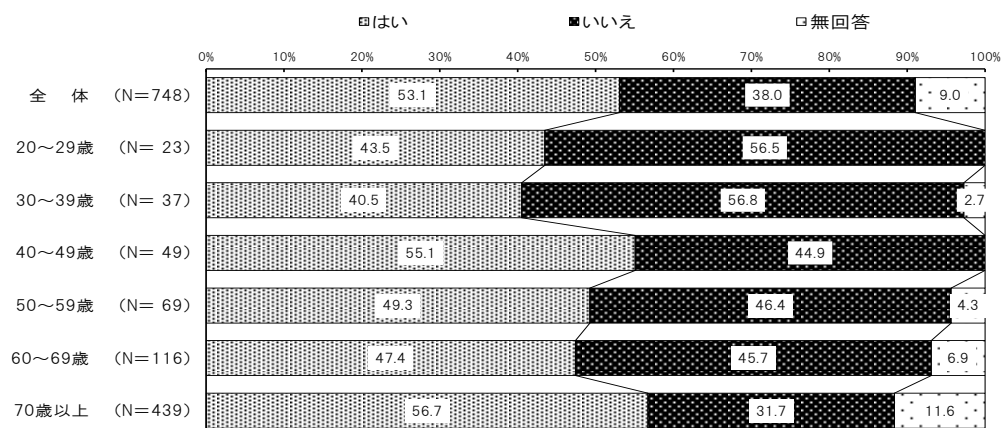


(6) たばこ



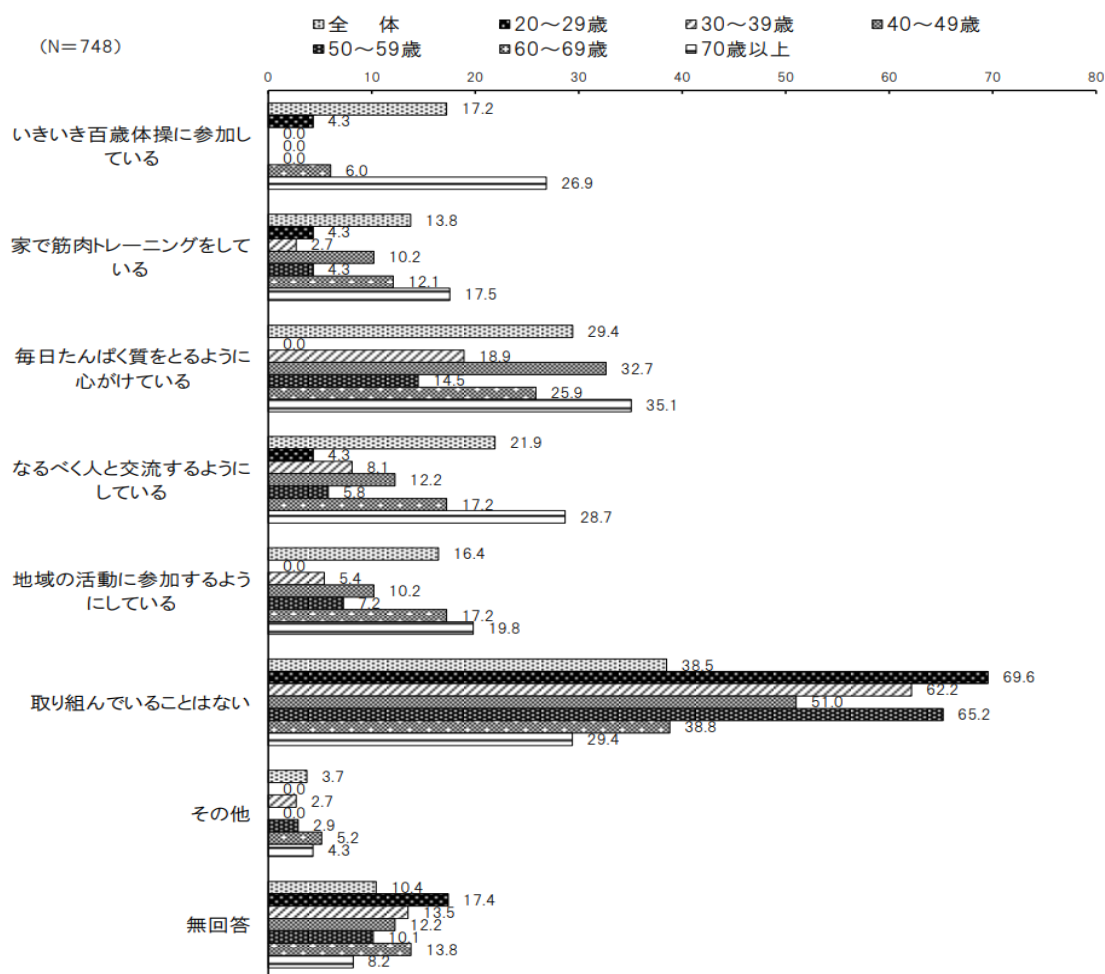
(7) 歯・口腔の健康

問55② 過去1年間に歯科検診を受けた【%】



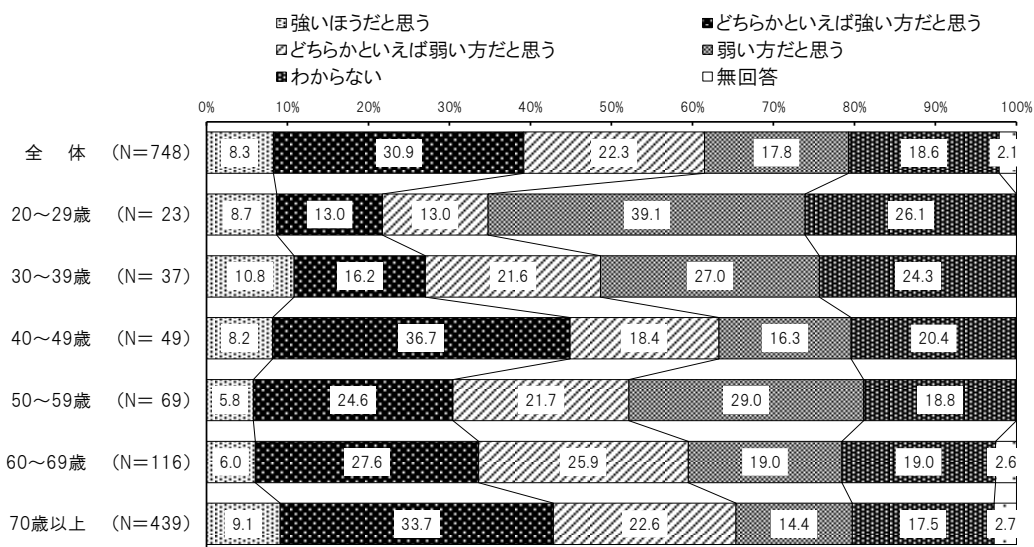
(8) 介護予防（フレイル予防）の推進

問67 フレイル予防のために取り組んでいること【%-複数回答】

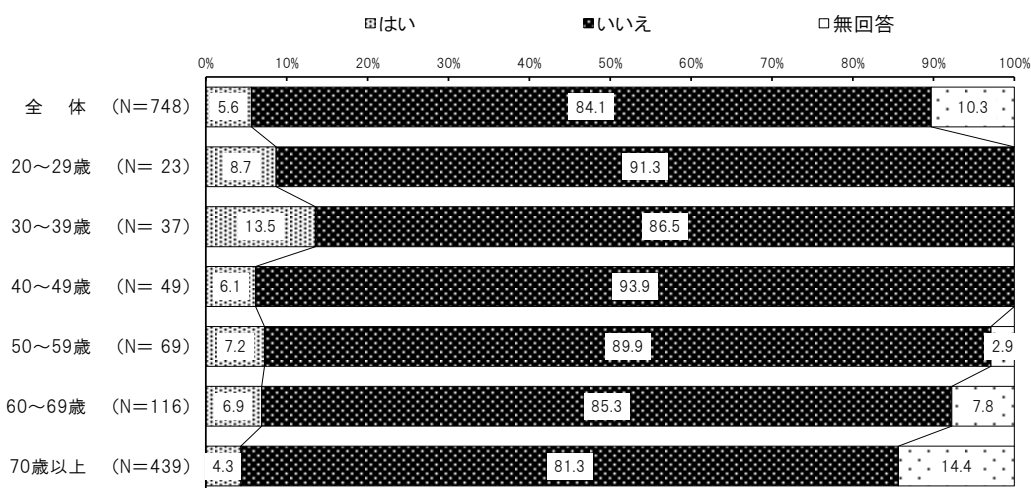


(9) 地域ぐるみの健康づくりの推進

問29 自分と地域の人たちとのつながりの程度〔%〕



問28⑤ 健康や医療関係のボランティア活動を行った〔%〕



3. 目標値一覧

総括目標「健康寿命の延伸」

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
健康寿命の延伸 （日常生活に制限のない期間の平均） ①男性 ②女性	(令和3年) ①79.73 ②83.26	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の延伸 ①81 歳 ②85 歳	健康寿命の算定方法の指針により介護保険情報から「日常生活動作が自立している期間の平均」を算定

(1) 主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の推進

①がん

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)がん検診受診率の向上 ①胃がん検診：男性 女性 ②肺がん検診：男性 女性 ③大腸がん検診：男性 女性 ④子宮頸がん検診 ⑤乳がん検診	(令和6年度) ①男性：12.4% 女性：15.5% ②男性：3.1% 女性：6.5% ③男性：6.9% 女性：15.0% ④18.4% ⑤22.7%	①25% ②20% ③20% ④25% ⑤30%	地域保健事業報告より算定、第2次長期総合計画
(2)がん精密検査受診率の向上	87.7%	100%	健康福祉課

②生活習慣病・循環器疾患・糖尿病

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)特定健診受診率の向上	32%	60%（データヘルス計画の目標値）	特定健診・特定保健指導実施報告
(2)健診有所見者の減少 1.特定健診での収縮期 血圧140mmHg以上の人の割合 ①男性 ②女性	(令和6年度) ①25.5% ②23.3%	①20.0% ②20.0%	集団特定・後期高齢者健診結果（健康予防係集計）
2.特定健診でのLDLコレステロール160mg/dl以上の人の割合 ①男性 ②女性	①5.6% ②4.3%	①3% ②3%	集団特定・後期高齢者健診結果（健康予防係集計）

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
3.特定健診での血糖コントロール不良者の減少 1) HbA1c（NGSP 値）8.4%以上の人の割合の減少 ①男性 ②女性 2) HbA1c(NGSP 値)6.5%以上の人の割合の減少 ①男性 ②女性	(令和6年度) 1) ①②ともに0% 2) ①7.8% ②2.7%	1) ①②0%を維持 2) ①②2%以下	集団特定・後期高齢者健診結果
(3)生活習慣病患者割合の減少 1.高血圧の患者割合の減少 ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者	(令和6年度) ①44.2% ②80.3%	①40.0%以下 ②76.0%以下	KDB「介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）」より算出
2.脂質異常症の患者割合の減少 ①国民健康保険 ②後期高齢者医療	(令和6年度) ①53.8% ②75.0%	①50.0%以下 ②68.0%以下	KDB「介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）」より算出
3.糖尿病の患者割合の減少 ①国民健康保険 ②後期高齢者医療	(令和6年度) ①37.9% ②60.0%	①30.0%以下 ②50.0%以下	KDB「介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）」より算出
(4)生活習慣病による合併症患者の減少 1.脳血管疾患の患者数の減少 ①国民健康保険 ②後期高齢者医療 ③64歳以下の発症	①73人 ②449人 ③20人	①50 人以下 ②400 人以下 ③10 人未満	KDB「厚生労働省様式 3-6 脳血管疾患のレセプト分析」
2.虚血性心疾患の患者数の減少 ①国民健康保険 ②後期高齢者医療 ③64歳以下の発症	①57人 ②327人 ③13人	①40 人以下 ②300 人以下 ③10 人未満	KDB「厚生労働省様式 3-5 虚血性心疾患のレセプト分析」
3.糖尿病性腎症患者の減少 ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者 4.糖尿性網膜症患者の減少 ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者	(令和7年5月) ①80人 ②248人 ①8人 ②8人	①50 人 ②220 人 ①5 人 ②7 人	KDB「厚生労働省様式 3-2 糖尿病のレセプト分析」

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
5.糖尿病性神経障害患者の減少 ①国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療保険加入者	①11人 ②61人	①8人 ②50人	
(5)5年間の新規人工透析移行者数(KDB) ①糖尿病性腎症以外 a)国民健康保険 b)後期高齢者医療 ②糖尿病性腎症 a)国民健康保険 b)後期高齢者医療	(令和2～6年度) ① a)1人 b)1人 ② a)1人 b)人	(令和 7～11 年度) ① a)0人 b)1人 ② a)0人 b)1人	新規人工透析患者数等集計データ（国保連合会提供）
(6)健康の保持増進のためにセルフケアをしている人の増加 ①家庭血圧測定の実施 ②体重測定の実施 ③運動習慣のある人 ④適切な質と量の食事をとる人の割合 ⑤食塩をとりすぎている人の減少	①29.3% ②17.8% ③(2)②身体活動・運動参照 ④(3)①食生活・栄養の項参照 ⑤(3)①食生活・栄養の項参照	①40% ②50% ③(2)①身体活動・運動参照 ④(3)①食生活・栄養の項参照 ⑤(3)①食生活・栄養の項参照	健康に関する住民意識調査

③骨粗しょう症

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)骨粗しょう症検診受診率	(令和 6 年度) 4.8%	10%	健康福祉課(集団検診で計算)
(2)骨折の患者割合 ①国民健康保険 ②後期高齢者医療	(令和 6 年度累計) ①7.2% ②24.2%	①6.0% ②23.0%	KDB「介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）」より算出
(3)骨粗しょう症の患者割合 ①国民健康保険 ②後期高齢者医療	(令和 6 年度累計) ①16.2% ②42.7%	①15.0%以下 ②40.0%以下	KDB「介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）」より算出
(4)介護認定者の筋・骨格疾患の有病率	64.9%	60%以下	KDB「地域の全体像の把握」

(2) 望ましい生活習慣の確立改善

①食生活・栄養

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)適正体重を維持している人の割合の増加 1.肥満(BMI25以上)、やせ(BMI18.5未満)の減少 ①20～60歳代男性の肥満者割合 ②40～60歳代女性の肥満者割合 ③20 歳代女性のやせの割合 2.適正体重が分かる人の割合の増加	①39.3% ②23.2% ③20.0% 70.1%	①30%以下 ②20%以下 ③15%以下 80%	健康に関する住民意識調査
(2)適切な量と質の食事をとる人の割合の増加 ①適正エネルギー量が分かる人の割合の増加 ②主食・主菜・副菜を組みあわせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合の増加 ③野菜摂取量の増加（野菜を1日5皿食べる）	①29.8% ②45.3% ③27.3%	①50% ②50% ③40%	健康に関する住民意識調査
(3)食塩をとりすぎの人の割合の減少 ①自分の適正な食塩摂取量を知っている人の割合 ②減塩の工夫をしている人の割合	①40.5% ②49.3%	①50% ②60%	健康に関する住民意識調査
(4)栄養成分表示を活用している人の割合 ①成人（買い物の時、栄養成分表示を見ている人の割合） ②小・中学生（弁当やお菓子に表示されている栄養成分表示を見たことがある人の割合）	①24.5% ②小学生 59.5% 中学生 78.8%	①35% ②小学生 65% 中学生 85%	健康に関する住民意識調査

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(5) 家族と一緒に食べる割合の増加（夕食はほとんど毎日一緒に食べる） ①こども ②成人	①「寮生」含まない38.9% 「寮生」含む77.8% ②66.7%	①「寮生」含まない 50% ②70%	健康に関する住民意識調査
(6) ゆっくりよく噛んで食事をする人の割合	53.3%	60%	健康に関する住民意識調査
(7) 栄養バランスのとれた食事に関心をもっているこどもの割合の増加	67.4%	75%	健康に関する住民意識調査
(8) 食育に関心をもっている人の割合の増加	50.4%	60%	健康に関する住民意識調査
(9) 朝食の欠食率の減少（「毎日食べる」以外の割合） ①小学生・中学生 ②20歳代男性 ③30歳代男性 ④20歳代女性	①小学生15.5% 中学生14.6% ②37.5% ③31.8% ④14.3%	①0%に近づける ②～③20%以下 ④0%に近づける	健康に関する住民意識調査

②身体活動・運動

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1) 日常生活における歩数の増加（平均歩行時間1時間以上の人増加） ①20～64歳 ②65 歳以上	①男性72.9% 女性74.7% ②男性74.3% 女性 72.9%	全 80%	歩行時間 1 時間を歩数 6,000 歩に換算（健康に関する住民意識調査）
(2) 運動習慣者の割合の増加 ①20～64歳 ②65 歳以上	①男性36.1% 女性28.8% ②男性41.1% 女性 49.6%	①男性 40% 女性 30% ②男性 50% 女性 60%	健康に関する住民意識調査
(3) 自分にあった運動の理解者の増加 ①20～64歳 ②65歳以上	①男性33.6% 女性27.0% ②男性31.9% 女性 34.0%	①男性 45% 女性 40% ②男性 40% 女性 45%	健康に関する住民意識調査
(4) 運動やスポーツを習慣的にしているこどもの割合の増加（週 3 回以上）	小学生52.4% 中学生 48.6%	小学生 60% 中学生 60%	健康に関する住民意識調査

③休養・こころの健康

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)睡眠による休養を十分とれていない人の割合の減少	21.4%	20.0%	健康に関する住民意識調査
(2)自殺者、自殺死亡率の減少（人口 10 万人当たりの自殺者数）	(令和6年) 43.43	0.0	厚生労働省 人口動態統計
(3)自分にあったストレス解消法がない人の減少	33.6%	30.0%以下	健康に関する住民意識調査
(4)ゲートキーパーという言葉と意味を知る人の増加	20.3%	25%以上	健康に関する住民意識調査
(5)悩みや不安を感じた時、相談できる人がいない人の減少	19.5%	15.0%以下	健康に関する住民意識調査

④たばこ

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)成人の喫煙率の減少（喫煙をやめた人がやめる）	未把握	男性 15%以下 女性 3%以下	健康に関するアンケート
(2)妊娠中の喫煙をなくす	0.0%	0%	妊娠届時・産後アンケート
(3)妊娠中の配偶者喫煙の減少	11.2%	0%	妊娠届時・産後アンケート
(4)妊婦の配偶者が分煙する人の増加	未把握	100%	妊娠届時・産後アンケート
(5)禁煙施設の増加 ①公共施設・行政機関の敷地内禁煙 ②医療機関の敷地内禁煙 ③店舗内禁煙 ④飲食店禁煙	未把握	①100% ②95% ③95% ④70%	健康福祉課調査

⑤飲酒

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)未成年者の飲酒をなくす ①全体 ②小学生 ③中学生	飲酒をしようと思ったことがある人の割合 ①11.5% ②14.3% ③10.6%	0.0%	健康に関する住民意識調査
(2)妊娠中の飲酒をなくす	0.0%	0.0%	妊娠届時間診

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(3) 毎日、飲酒している人の割合の減少 ①男性 ②女性	①34.6% ②5.2% (男性N=329) (女性N=401)	①32.0%以下 ②5.0%以下	健康に関する住民意識調査
(4) 多量飲酒者の割合の減少 ①男性（1日3合以上） ②女性（1日2合以上）	①6.1% ②2.2% (男性N=329) (女性N=401)	①6.0%以下 ②2.0%以下	健康に関する住民意識調査

⑥歯・口腔の健康

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1) 80 歳で 20 歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加	(令和6年度) 15.96%	30%	表彰者数
(2) 進行した歯周炎を有する人の割合の減少 ①40歳代 ②50 歳代	①未把握 ②未把握	①20%以下 ②30%以下	健康に関する住民意識調査、歯科健診
(3) 3 歳児でう蝕のない人の割合の増加	70.3%	85%以上	乳幼児健診
(4) 12 歳児でう蝕のない人の割合の増加	(令和5年度) 92.6%	95%以上	中学校歯科健診結果
(5) 12 歳児で歯肉炎がある人の割合の減少	(令和5年度) 25.9%	10%以下	中学校歯科健診結果
(6) 過去 1 年間に歯科健診を受診した人の割合の増加（20 歳以上）	53.1%	60%以上	健康に関する住民意識調査

(3) 食育の推進

①食育

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1) 食育に関心をもっている人の割合の増加	50.4%	60%	健康に関する住民意識調査
(2) 大崎上島町の特産物・郷土料理を知っている人の割合（小・中学生）	74.1%	80%	健康に関する住民意識調査

(4) ライフステージに応じた健康づくりの推進

①次世代・こどもの健康

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)大崎上島町の特産物・郷土料理を知っている人の割合（小・中学生）	74.1%	80%	健康に関する住民意識調査
(2)栄養成分表示を活用している人の割合 ①小学生 ②中学生 （弁当やお菓子に表示されている栄養成分表示を見たことがある人の割合）	①59.5% ②78.8%	①65% ②85%	健康に関する住民意識調査
(3)家族と一緒に食べる割合の増加（夕食はほとんど毎日一緒に食べる） こども	「寮生」含まない38.9% 「寮生」含む 77.8%	朝食 54.5% 夕食 82%	健康に関する住民意識調査
(4)栄養バランスのとれた食事に関心をもっているこどもの割合の増加	67.4%	70%	健康に関する住民意識調査
(5)朝食の欠食率の減少（「毎日食べる」以外の割合） 小学生・中学生	小学生 15.5% 中学生 14.6%	8.6%	健康に関する住民意識調査
(6)運動やスポーツを習慣的にしているこどもの割合の増加（週3回以上）	小学生 52.4% 中学生 48.6%	小学生 60% 中学生 60%	健康に関する住民意識調査
(7)未成年者の飲酒をなくす ①全体 ②小学生 ③中学生	飲酒をしようと思ったことがある人の割合 ①11.5% ②14.3% ③10.6%	0%	健康に関する住民意識調査
(8)未成年者の喫煙をなくす（喫煙経験） ①小学生 ②中学生	①②未把握	0%	健康に関する住民意識調査
(9)3歳児でう蝕のない人の割合の増加	70.3%	85%	乳幼児健診
(10)12歳児でう蝕のない人の割合の増加	(令和5年度) 92.6%	95%	中学校歯科健診結果
(11)12歳児で歯肉炎がある人の割合の減少	(令和5年度) 25.9%	10%	中学校歯科健診結果

②働き盛り世代の健康

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)自殺者、自殺死亡率の減少（人口 10 万人当たりの自殺者数）	(令和6年) 43.43	0.0	厚生労働省 人口動態統計
(2)64 歳以下の脳血管疾患の発症の減少	(令和7年5月) 20人	10 人未満	KDB「厚生労働省様式 3-6 脳血管疾患のレセプト分析」
(3)64 歳以下の虚血性心疾患の発症の減少	(令和7年5月) 20人	10 人未満	KDB「厚生労働省様式 3-5 虚血性心疾患のレセプト分析」
(4)健康の保持増進のためにセルフケアをしている人の増加（20歳～59歳） ①血圧測定を毎日実施している人の割合 ②体重測定を毎日実施している人の割合 ③運動習慣のある人の割合 ④減塩の工夫をしている人の割合 ⑤主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が 1 日 2 回以上の日がほぼ毎日の人の割合	 ①8.4% ②11.2% ③32.0% ④33.7% ⑤36.5%	 ①30% ②30% ③50% ④50% ⑤50%	健康に関する住民意識調査
(5)骨粗しょう症検診受診率	(令和 6 年度) 4.8%	10%	健康福祉課(集団検診で計算)
(6)進行した歯周炎を有する人の割合の減少 ①40歳代 ②50 歳代	 ①未把握 ②未把握	 ①20%以下 ②30%以下	健康に関する住民意識調査、歯科健診

③高齢期の健康・介護予防の推進

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1)65 歳以上の高齢者のうち介護保険の要支援、要介護を受けた人の割合	(令和6年度末) 22.3%	29.4%以下	介護保険事業状況報告
(2)BMI が基準の範囲（20.1～24.9）の者の割合（70 歳以上）	52.5%	80%	ポピュレーションアプローチ通いの場の支援から

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(3) 筋肉量が基準の範囲の者の割合 (70 歳以上) ①男性(7.0 kg/m ² 以上) ②女性(5.7 kg/m ² 以上)	①男性 73.9% ②女性 87.1%	①男性 90% ②女性 95%	ポピュレーションアプローチ通いの場の支援から
(4) フレイル予防には筋肉を衰えさせないことが大事だと知っている・聞いたことがある割合	45.3%	90%	健康に関する住民意識調査
(5) 口腔フレイルについて知っている・少し知っている・聞いたことがある割合	35.8%	90%	健康に関する住民意識調査
(6) 口腔機能(咀嚼力・舌口唇の力・嚥下機能等)を含む歯科健診・検査を受けたことがある割合	12.0%	60%	健康に関する住民意識調査
(7) フレイル予防のために取り組んでいること(70 歳以上)	①百歳体操への参加 26.9% ②自宅筋肉トレーニング 17.5% ③毎日たんぱく摂取 35.1% ④人との交流 28.7% ⑤地域活動参加 19.8% ⑥パタカラ体操 未把握 ⑦歯科の定期受診 未把握	①百歳体操への参加 50% ②自宅筋肉トレーニング 70% ③朝・昼・夜毎食たんぱく摂取 70% ④人との交流 50% ⑤地域活動参加 40% ⑥パタカラ体操 50% ⑦歯科の定期受診 50% ※③⑥⑦は中間評価で調査する	健康に関する住民意識調査

(5) 地域で健康を支えるための社会基盤整備

①地域ぐるみの健康づくり

指標	現状値（令和 7 年度）	目標値（令和 17 年度）	出典等
(1) 自分と地域のつながりが強い方だと思う住民の割合の増加	39.2%	50%	健康に関する住民意識調査
(2) 健康や医療サービスに関するボランティア活動をしている住民の割合の増加	5.6%	10%	健康に関する住民意識調査

4. 策定推進体制

(1) 健康増進計画策定推進委員会設置条例

(設置)

第1条 健康増進法(平成14年法律第103号)第8条第2項の規定に基づく、大崎上島町健康増進計画(以下「健康増進計画」という。)の策定及び健康増進計画に係る事業の推進を目的として、健康増進計画策定推進委員会(以下「策定推進委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 策定推進委員会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 健康増進計画の策定及び変更に関すること。
- (2) 健康増進計画の進行管理及び評価に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、健康増進計画に関して町長が必要と認めること。

(委員の委嘱等)

第3条 策定推進委員会は、委員30名以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから町長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係機関の職員
- (3) 町民
- (4) 町職員
- (5) 前各号に掲げる者のほか、町長が必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 策定推進委員会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、策定推進委員会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、副会長が職務を代理する。

(会議等)

第6条 策定推進委員会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、その議長となる。

2 策定推進委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 策定推進委員会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聞く事ができる。

(庶務)

第7条 策定推進委員会の庶務は、健康福祉課において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、策定推進委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

(特例措置)

2 第6条第1項の規定にかかわらず、この条例の施行日以後最初に開かれる会議は、町長が招集するものとする。

(2) 健康増進計画策定推進委員会名簿

	委員氏名	所属団体等	
会長	円山 忠信	大崎上島町町医・豊田郡医師会	(内科)代表
副会長	黒川 貞幸	大崎上島町町医・竹原豊田 歯科医師会	(歯科)代表
委員	森 ルイ	大崎上島町議会	議員
	立田 文治	大崎上島町連合区長会	会長
	藤原 金生	大崎上島町社会福祉協議会	事務局長
	波多野 学	大崎上島町地域包括支援センター	管理者
	中村 比呂子	生活サポートセンター Iらんど	相談支援専門員
	元樋 泰次郎	大崎上島町立小・中 PTA 連合会	会長
	川本 美陽	大崎上島町立大崎上島幼稚園	園長
	望月 浩和	大崎上島町立小学校	校長
	笠原 美智恵	大崎上島町立中学校	校長
	松本 茂	広島商船高等専門学校	准教授
	福本 真由美	大崎上島町食生活改善推進協議会	会長
	梅澤 恵子	大崎上島町公衆衛生推進協議会	副会長
	梅木 ちひろ	豊田・竹原歯科衛生士会	歯科衛生士
	屋敷 貞美	大崎上島町商工会	課長補佐
	高田 幸典	大崎上島町老人クラブ連合会	会長
	向井 秀基	町民(高齢期ワーキング)	町民
	安保 静香	町民(子育て・成人期ワーキング)	町民
	廣中 小由里	広島県西部東保健所保健課	課長
	山本 秀樹	大崎上島町教育委員会学校教育課	課長
	川本 亮之	大崎上島町教育委員会生涯学習課	課長
	三村 竜也	地域経営課	課長
	川野 義彦	健康福祉課	課長
事務局	村山 吉郎	健康福祉課	課長補佐
	池田 美果	健康福祉課 健康予防係	係長
	石田 良美	健康福祉課 健康予防係	主査
	角本 明美	健康福祉課 健康予防係	主査
	近下 侑	健康福祉課 健康予防係	主任保健師
	平賀 文子	健康福祉課 健康予防係	主任保健師
	桐木 直人	健康福祉課 健康予防係	保健師
	石浦 明日花	健康福祉課 健康予防係	保健師
委託先	高木 朋美	株式会社シーズ総合政策研究所	主任研究員
	池田 円香	株式会社シーズ総合政策研究所	研究員

(3) 策定経過（住民意識調査～健康増進計画策定推進委員会）

年月日	内容等
令和 6 年 12 月～ 令和 7 年 1 月	健康に関する住民意識調査の実施
令和 7 年 3 月 14 日	令和 6 年度健康増進計画策定推進委員会 1) 会長・副会長の選出について 2) 第Ⅱ期健康増進計画・食育推進計画最終評価及び第Ⅲ期健康増進計画・食育推進計画策定について 3) 健康に関する住民意識調査（住民）及び小中学生健康・食育に関するアンケート結果について
令和 7 年 5 月 27 日	令和 7 年度第 1 回健康増進計画策定推進委員会 1) 健康に関する住民意識調査（令和 6 年度実施）結果報告まとめ（抜粋） 2) 町の健康づくり、健康状況等について
令和 7 年 9 月～12 月	健康づくり地域会議
令和 7 年 10 月 30 日	令和 7 年度第 2 回健康増進計画策定推進委員会 1) 関係機関の取り組みについて 2) 第Ⅱ期健康増進計画・食育推進計画目標指標最終現状値について 3) 第Ⅲ期健康増進計画・食育推進計画（案）について 4) 健康づくり地域会議について（中間報告）
令和 8 年 1 月 22 日	令和 7 年度第 3 回健康増進計画策定推進委員会 1) 第Ⅲ期健康増進計画・食育推進計画素案について
令和 8 年 2 月 6～27 日	パブリックコメントの実施
令和 8 年 3 月 17 日	令和 7 年度第 4 回健康増進計画策定推進委員会 1) 2)

(4) 健康づくり地域会議実施経過

健康づくり地域会議

斜線（\）は欠員等

地区	開催日	場所	参加 人数	区長 副区 長	食推	公衛 協	老人 ク	百歳 体操	高齢 者
山尻	9月5日(金)	山尻老人集会所	6	○	○				○
脇之浦	9月8日(月)	脇之浦集いの館	7	○	\	\	\	○	○
野賀	9月12日(金)	天寿会館	6	○	○	○	\	○	○
宇浜	9月16日(火)	宇浜地域集会所	6	○	○	○	\	○	○
郷	9月17日(水)	木江会館	6	○	○	○	\	○	○
三里浜	9月18日(木)	農業開発センター	18	○	○	○	\	○	○
小原	9月22日(月)	小原老人集会所	3	○	○		\		○
鮎崎	9月29日(月)	鮎崎老人集会所	3	○			○	○	
原下	9月30日(火)	原下集会所	13	○	○	○	○	○	○
向山	10月1日(水)	向山老人集会所	20	○	○	○	○	○	○
天満	10月2日(木)	天満地域集会所	13	○	○	○	\	○	○
向浜 本浜 岡部	10月10日(金)	明石会館	13	○	○	○	○	○	○
瀬井	10月14日(火)	瀬井集会所	5	○	○	○		○	
片浜	10月20日(月)	片浜老人集会所	3	○	○			○	\
本郷	10月21日(火)	本郷老人集会所	13	○	○	○	○	○	○
外表	10月27日(月)	外表伝承館	13	○	○	○	○	○	
垂水	11月4日(火)	垂水老人集会所	11	○	○			○	○
木越	11月6日(木)	木越会館	5	○	○		\	○	○
岩白	11月13日(木)	岩白会館	4	○	○		○	○	○
白水	11月18日(火)	白水老人集会所	7	○		○	○	○	
上の谷	11月19日(水)	上の谷会館	4	○	○		\	○	○
東原下	11月20日(木)	東原下老人集会所	8	○	○		○	○	○
中浜	11月27日(木)	沖浦漁村センター	9	○		○	\	○	○
古江	12月2日(火)	古江老人集会所	5	○	○			○	\
盛谷	12月4日(木)	盛谷老人集会所	6	○	○			○	○
大田	12月8日(月)	大田老人集会所	6	○		\	○	○	\
原田	12月9日(火)	西野公民館	7	○	○	○	○	○	○
大串	12月11日(木)	大串老人集会所	14	○	○		○	○	○
下組	12月15日(月)	下組老人集会所	4	○	\	○	\	○	○
矢弓	12月17日(水)	矢弓老人集会所	4	○	○		\		○
大西	12月18日(木)	大西老人集会所	12		○	○	○	○	○
上組	12月19日(金)	上組老人集会所	3	○			\		○
生野島	1月29日(木)	生野島老人集会所	4	○	\	○	\	○	\

各区の区長、副区長、食推、公衛協、老人クラブ会長、いきいき百歳体操世話人、高齢者巡回相談員を対象に実施し、いきいき百歳体操参加者の参加もありました。

健康づくり地域会議で出された意見等

地区で実施している 取り組みや健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき百歳体操（週 1 回実施）、かみかみ体操 ・食生活講習会やサロン ・感染対策（手指アルコール） ・室内禁煙
住民調査項目 【健康状態】	<ul style="list-style-type: none"> ・胃カメラが出来るようにしてほしい。胃カメラの対象を拡げてほしい。毎年受診できるといい。 ・集会所に血圧計が、あったらいい。 ・健康に関する住民意識調査項目選択肢に「かかりつけ医で受けている」「人間ドック」を加えるようにしてほしい。 かかりつけ医のある人は、定期検査をしているので、そこで診てもらったらいいいのでは。 ・健診希望日が人数が埋まると別日に変わってくれるように連絡があるが、受診者数が多い地区は、受診者数の枠を増やす等、人数配分をしたらいい。 ・特定健診やがん検診（個別健診）の手続きがわかりにくい。 ・未受診者へ何回も通知が来る。受診勧奨、再勧奨（受診したのに来ることがある。） ・毎年を受診していない。 ・申込から受診まで期間が長い。 ・健診結果が怖いので受診しない。 ・受診率が低い。わくわく元気ポイント 5,000 円は、健診受診した人に出したらいいのでは。 ・胃のバリウム検査は大変。向きをかえたり回転したりするのは大変。検診車が古い。 ・健診会場で血圧が高くなり、かかりつけ医に相談したら気にしなくてもよいと言われた。 ・健診に時間がかかる事とフェリーの時間に間に合わなくなるので、かかりつけ医で受けている。 ・かかりつけ医で検査を毎月してもらっている。済生丸健診を受診する。
住民調査項目 【食生活・食育】	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜摂取は、野菜ジュースの利用もいいのでは。 ・薄味にしているはずだったが、血圧が高かった。 ・郷土料理が出てこない。作ってみるにも作り方がわからない。 郷土料理は、大平（おおびら）、いぎす豆腐、鯛めしがある。 大平は、地区によって作り方や味が違う。民泊で作ると、若い子は、よく食べる。 郷土料理や特産物を使った料理を継承したらいい。 地元の食材を使って、学校給食に郷土料理の日を設けたらいい。 30 歳代、40 歳代の母親にも郷土料理を知ってもらう。 地域の祭りで、大平や芋づるを使った料理を作った。 ・朝食は食べている人がほとんどだが、食べない人もいる。自分は朝ごはんより、寝ていたいので、食べなかった。 ・こどもがコンビニでおにぎりを買って食べるようになった。 ・食生活改善推進員が減って、講習会の参加者も減っている。若い人に交代してもらう。 ・朝食は自分も食べない。自分は朝食を食べない習慣で来ている。 ・若い人は朝食を食べない人が増えているようだ。どうしてだろう。 ・減塩は、わかっていても、これまでの習慣で、浸るくらいに醤油をかけて食べている。 ・醤油ボトルをもらったことは覚えている。今は使っていない。 ・漬物があると、よく食べる。 ・なかなか家では、薄味にならない。（食生活講習会のようにではない）

	<ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質や塩分量がわかる表などを各戸へ配布したらいい。 ・フードバンクはない。 ・アカモクやひじき、海藻も取れなくなった。漁組、規制があるようになった。 ・学校給食に有機野菜を取り入れ、こどもたちに食べてもらう。町内に野菜を作る畑を増やす。自給率をあげる。 ・減塩の工夫について、食べ方等を知る機会を持ってほしい。 調味料でも、すぐ1日の食塩摂取量を超えてしまっていると感じた。 ・醤油ボトルを年に何回か配ったらいい。 ・減塩しょうゆを使っている。 ・醤油スプレーを使って、薄味に慣れた。外食した時に味が濃く感じる。
住民調査項目 【地域の状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート項目「住民のつながり」は、わかりにくい。 ・会館の掃除で2カ月に1回区民が集まるようにしている。 ・地域の集まりに若い人が参加するようになったらいい。 ・体調や生活が気になる人には、民生委員や高齢者巡回相談員が見守りしている。 ・周りの異変に気になるので、声をかけたが自殺になった。 ・地域のつながりは強い方だ。よく近所で声をかけている。近所付き合いがある。 ・地域のつながりが薄くなっている。総会の参加も少ない。若い人も来ない。 ・とんどや運動会の打ち上げに区民が集まっている。 ・参加しない人は決まっている。が要注意世帯は気をつけている。 ・孤独死があった。 ・クロネコの見守りを申請するように勧めている。 ・地域が狭いので、だいたい近所の様子わかる。どこでも、出てこない人は、人と付き合うのが嫌なので、役場に連絡するようになる。 ・溝掃除の後に区民が集まってグランドゴルフ、会食をしている。 ・老人会もなくなった。 ・若い人と高齢者が集まることもなくなった。若い人が挨拶することもない。 ・住民同士のつながりが弱い。昔に比べたら希薄になった。 ・隣が遠くなり、空き家も増えた。 ・40歳代、50歳代の独居の男性は、民生委員や高齢者巡回相談員がかかわる機会はなく健康状態が気になる人もいる。役場や保健師がかかわってくれと安心。 ・隣近所で挨拶や会話が必要。 ・行事の時は団結がある。祭りが出来ている。 ・民生委員、高齢者巡回相談員が見守り、区長に伝えるケースもある。 ・若い人と接触する機会がない。接点は、祭りや運動会。50歳以下の参加がない。 ・女の人のはつながりが強い。昔は隣近所で寄って話したりしていたが高齢になって、なくなった。 ・生まれも育ちも町内で同級生もいていいねと結婚してきた人から言われ孤独、孤立している人もいると感じた。 ・よってみんな屋があり、つながりが強い。 ・安否確認のため、朝、黄色タオルを出すようにしている。 ・高齢者が玄関先で倒れて翌朝、新聞配達が来て無事だったことがあった。 ・コロナ禍まで、盆踊りをしていたが、区民も高齢になり復活は難しい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関先や家の周りにランプの取り付けに町の補助がある。
住民調査項目 【身体活動・運動】	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の参加が少ない。男性が参加するような場を作る。百歳体操参加が減ってきている。 ・室内運動（ボッチャ、モルック、室内ゴルフ）をやっている。 これから区で企画してやる予定。区の集いを実施してみる。 室内で出来る運動を区で始めた。 ボッチャは、わいわいスポーツで講習会を受けたが、立ち上げる人がいない。 ・公民館活動等に参加する人が減ってきている。 続けて参加してもらうのは、何か、いいことがあってもいい。わくわく元気のポイントのように。 ・若い人が参加するようになったらいい。百歳体操にも参加を呼びかける。 ・サイクリングで島に来る人は多いが、道路の状態が良くない。走れない。 ・10年間の計画で温水プールの計画もあった。計画の継続性。 ・地区は道も平坦でウォーキングコースになっている。 ・大串のグランドゴルフ場に、地区で送迎して行っている。 ・明石会館に運動器具を置いてほしい。2階にはスロープもある。 ・明石地区はグランドゴルフが出来る広さの場所がない。沖浦に行っている。 ・老人クラブで運動の機会がある。
住民調査項目 【喫煙・飲酒】	<ul style="list-style-type: none"> ・たばこのポイ捨てが見られる。 ・大串のグランドゴルフフェンスの外で喫煙している。どうだろう。 ・こどもの飲酒は家庭で保護者が気をつけるしかない。 ・区の打ち上げでは、大人とこどもを分けている。 ・祭りの日に警察署員の見守りがあるようになった。 ・親戚の集まりで、お酒を飲んでみるかと声をかけることがある。 ・年末年始に神社で、お神酒をこどもにすすめている。こどもも飲んでいる。 ・祭りに大人が飲ませていた。 ・自分もこどものときに飲んでた。昭和生まれがこどもに勧めている。 ・大人がこどもに、勧めて飲ませていた。年始の時に勧めることがある。 ・ノンアルコールは大丈夫？ ・高校生も祭りで、大人がお酒を勧め、飲んでいる様子だ。
住民調査項目 【休養・ストレス】	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゲートキーパー」の言葉でなく、声をかける、話を聞くなど、普段やっている事だということ、地域を支えているということを伝えと受け入れやすい。（肯定感が生まれる） ・悩んでいる人に簡単に声かけられない。 ・自分のことが、わからなくなる。近所が教えてくれる。
住民調査項目 【フレイル】	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル教室に参加して、色々教えてくれた。参加するまで、何十年朝食を食べなかった。
小学生・中学生調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコールは家庭で気をつけるしかない。 ・こどもが自分で朝食を作ったり準備できることを教わる機会を作る。誰がやっていか。 こどもに力をつける。学校で時間を取るの難しい。 ・大人が危ないからと、やらせない。イベントなどで体験の場を作る。 ・朝食は簡単なものでいい。小学生が少ないので、小学校でバナナ等置いておくのも。 ・朝食について小学校、参観日に出前講座をしたらいい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・目のことについて事業を行ってほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症と握力の関係 ・空き家バンクを利用した人の情報が入らない。挨拶もない。地区のルールを守ってほしい。 ・耳の遠い人にはデマンドバスの予約や利用が出来ない。いい方法はないか。 ・アンケート調査の回答率が低い原因。 ・健康寿命が低い原因。 ・町からの配布物が字が小さい。見えて読めるように。 ・こどもの貧困率は。 ・役場に行っても、職員の挨拶がない。 ・健康相談の利用が少ない。 ・区総会など昼にやったらいいかも。 ・若い人に高齢者巡回相談員になってほしい。 ・マルシェが小学校になり遠くなった。行かない。 ・10 年後、20 年後を考えて、どの年齢に重点を置くか。年齢別に状況把握と施策。 ・介護人材は、10 年後確保できるのだろうか。施設の閉鎖も押し寄せてくる。 ・人口を減らさないよう。離島への補助。入院出来たら防げたかもしれない。 ・アンケート結果を地区、地域単位毎に対比したらいい。 ・町長期総合計画の成果と課題をまとめたものがあるか。 ・相談しても、たらいまわしにならないようにしてほしい。だんだん言語化するのが難しくなった。総合相談窓口のような交通整理するところは、あるか。 ・情報弱者 85 歳、90 歳にタブレットや携帯電話の貸与があるといい。 ・町の給食費は無料か。 ・地域包括ケアはいつから始まっているか。介護の当事者にならないとサービス等わからない。 ・島だからと言って介護サービスが利用できないのは、おかしい。 ・以前は、デ－サービス参加者の送迎があった。が人数が少なくなり、なくなった。 ・町は島からのフェリー時間を気にせず、研修や講演会を実施している。気にしていない。
--	---

5. 用語説明

掲載 ページ	用語	説明
1	平均寿命	年齢別の推計人口を死亡率のデータを基にして平均的に何歳までに寿命を迎えるかを算出する。
1	健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。
6	健診	健康診査または健康診断の略。健康であるか否かを確認するもの（例えば、特定健診、後期高齢者健診、3歳児健診等）。
6	検診	特定の病気を早期に発見し、早期に治療することを目的としている（例えば、がん検診、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診等）。
6	内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）	内臓肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化を招きやすい病態。
7	フレイル	健康な状態と要介護状態の中間の段階。加齢に伴う体力低下、低栄養、口腔機能低下等、心身の機能が低下し弱った状態だが、早期対応で回復が可能な状態のこと。
20	ポピュレーションアプローチ	集団に対して健康増進や疾病予防の取り組みを行うこと。
20	脂質異常症	中性脂肪やコレステロールなどの脂質代謝に異常をきたした状態。2007年に名称が「高脂血症」から改められた。
20	一次予防	疾病予防や健康増進を行うことで、原因の排除やリスクの低減を図ること。具体的には、生活習慣や生活環境の改善、健康教育、予防接種等による疾病の発生を予防すること。健康診断は二次予防となる。
22	二重読影	二人以上の医師が検査画像の読影を行うこと。診断の精度を高めることを目的とする。
25	ロコモティブシンドローム	主に加齢によって生じる運動器の疾患または機能不全、障害のために、介護が必要となるリスクが高まっている状態などを指す。
26	ゲートキーパー	自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を取ることが出来る人のこと。「命の番人」とも位置付けられる。
27	8020運動	「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動。
30	BMI	肥満度を表す指標として用いられている体格指数で、 $BMI = [体重\text{ kg}] \div [身長\text{ m}]^2$ 。日本肥満学会の定めた基準では、18.5未満が「低体重」、18.5以上25未満が「普通体重」、25以上が「肥満」と分類される。
33	ライフコースアプローチ	胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた考え方。

6. 健康に関する住民意識調査調査票

(1) 一般住民

大崎上島町 健康に関する住民意識調査
【町民の皆様へ】

日頃より、町民の皆様には大崎上島町政にご理解とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

大崎上島町では、町民の皆様が生産を通じて、健やかにいきいきと暮らせるまちづくりを目標に、「大崎上島町健康増進計画・食育推進計画」に基づき、各種保健事業・健康づくり事業を実施しています。この調査は、町民の皆様の健康づくりや食育に対する意識や関心、日頃の生活等についてお聞きし、今後の健康づくり施策の基礎資料とさせていただきます。

この度、町内にお住まいの20歳以上の町民のなかから選ばせていただきます。調査票を送付させていただきます。お手数ですが、あて名の方についてそれぞれ回答をお願いします。また、町回答はすべて統計的に処理しますので、個人の情報の公表等は一切ありません。

健康づくりにのみ利用し、他の目的には使用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答をお願いします。記入が終わりましたら、返信用封筒に入れて1月10日(金)までに投函してください。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和 6 年 1 2 月
大崎上島町長 谷 川 正 芳
(保健衛生課)

ご記入にあたってのお願い

- ・封筒のあて名の方ご本人についてうかがいます。
- ・ご記入は、黒または青の鉛筆やボールペンでお願いします。
- ・令和6年12月1日現在でお答えください。
- ・問1から順に質問ごとに用意した選択肢から、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」の場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
- ・一部の方だけに答えていただく質問もありますが、その場合は矢印(→)や説明文に沿ってお答えください。
- ・ご記入いただきました調査票は、令和7年1月10日(金)までに同封の返信用封筒に入れて投函してください(切手は不要です)。
- ・調査に関するお問い合わせ先 大崎上島町役場保健衛生課(木江支所)

TEL 0846-62-0330

あなた自身や家族についておたずねします

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性

2 女性

3 その他 (答えたくないも含む)

問2 あなたのお住まいの地区をお答えください。

1 大崎

2 東野

3 木江

問3 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1 20~29歳

4 50~59歳

7 70~74歳

2 30~39歳

5 60~64歳

8 75歳以上

3 40~49歳

6 65~69歳

問4 あなたの家族構成についてお答えください。(○は1つ)

1 単身

2 夫婦のみ

3 2世代 (あなたの子どもまたは親と同居)

4 3世代 (あなたの子ども、孫または親と同居)

5 その他 ()

問5 あなたの加入している医療保険についてお答えください。(○は1つ)

1 国民健康保険

4 後期高齢者医療

2 あなたの勤め先の保険

5 その他 ()

3 家族の勤め先の保険

問6 あなたの職業についてお答えください。(○は1つ)

1 自営業・自由業

2 会社員・公務員・団体職員 (常勤)

3 アルバイト・パート・派遣など

4 専業主婦 (夫)

5 学生

6 無職

7 その他 ()

問6-1 (問6で「1」~「3」の方) あなたの職場は、どこですか。(○は1つ)

1 町内

2 町外

健康状態などについておたずねします

問7

あなたは、自分を健康だと感じますか。(○は1つ)

1

はい

2

いいえ

問8

現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。(○は1つ)

1

はい → 「1」を選んだ方は 問8-1へ

2

いいえ → 「2」を選んだ方は 問9へ

問8-1

(問8で「1」の方) それはどのようなことに影響がありますか。(○はいくつでも)

1

日常生活動作 (起床、衣服着脱、食事、入浴)

2

外出 (時間や作業量などが制限される)

3

仕事、家事、学業 (時間や作業量などが制限される)

4

運動 (スポーツを含む)

5

その他 ()

問9

あなたは、現在、継続的に医療機関で治療していますか。(○は1つ)

1

はい → 「1」を選んだ方は 問9-1へ

2

いいえ → 「2」を選んだ方は 問10へ

問9-1

(問9で「1」の方) あなたは、薬を服用していますか。(○は1つ)

1

はい → 「1」を選んだ方は 問9-2へ

2

いいえ → 「2」を選んだ方は 問10へ

問9-2

(問9-1で「1」の方) あなたが服用している薬は何ですか。(○はいくつでも)

1

高血圧治療の薬

2

糖尿病治療の薬

3

脂質異常症の薬

4

尿酸を下げる薬

5

その他 ()

問10

健康のために気をつけていることはどのようなことですか (○はいくつでも)

1

食生活に気をつける

2

歩いたり、軽い体操をする

3

スポーツやランニングをする

4

休養や睡眠を十分にとる

5

酒を控える

6

たばこを吸わない、やめた

7

定期的に健康診断を受ける

8

趣味や生きがいをもつ

9

健康補助食品 (サプリメント等) を利用する

10

筋力トレーニング、いきいき百歳体操

11

その他 ()

12

特に何もしていない

問11

健康管理に関することについておたずねします。あてはまる番号に○をつけてください。(①～③それぞれに○は1つ)

	毎日	週2～3回程度	月2～3回程度	測定しない
①体重測定をしていますか。	1	2	3	4
②血圧測定をしていますか。	1	2	3	4

③血圧計を持っていますか。	持っている	持っていない
	1	2

2

問12

生活習慣病の予防方法について、知っていますか。(○は1つ)

1

はい

2

いいえ

問13

あなたは、生活習慣の改善に向けて、健康相談や個別相談などの機会があれば利用しようと思えますか。(○は1つ)

1

利用する

2

利用する必要があるが、利用したくない → 「2」を選んだ方は 問13-1へ

3

わからない

問13-1

(問13で「2」の方) 利用したくない理由は何ですか。

問14

あなたは、この1年間に次の健 (検) 診を受けましたか。(○はいくつでも)

1

特定健診等の健康診査

2

肺がん検診 (胸部レントゲン)

3

胃がん検診 (胃カメラ・胃バリウム等)

4

大腸がん検診 (健検査)

5

子宮頸がん検診

6

乳がん検診

7

骨粗しょう検診 (超音波等)

8

人間ドック

9

歯科検診

10

肝炎ウイルス検診

11

その他 ()

12

いずれも受けていない → 「12」を選んだ方は 問14-1へ

問14-1

(問14で「12」いずれも受けていない」の方) あなたが健 (検) 診を受けない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1

健康だから

2

めんどうだから

3

いつ健 (検) 診をしているか知らない

4

時間の都合がつかないから

5

土・日曜日に受けられないから

6

結果が怖いから

7

会場に行く交通手段がないから

8

機会を逸してしまった

9

健 (検) 診を受ける体力がないから・身体が不自由だから

10

仕事が休めないから

11

その他 ()

問15

あなたは、健 (検) 診を受けて要指導になったときなど健康づくりについて具体的な相談先はありますか。(○は1つ)

1

はい → 「1」を選んだ方は 問15-1へ

2

いいえ

3

相談先は必要ない

4

その他 ()

問15-1

(問15で「1」の方) それは誰ですか。(○は1つ)

1

かかりつけ医または医師

2

家族

3

友人・知人

4

町保健師・栄養士

5

その他 ()

3

107

食生活・食育についておたずねします

問16 あなたの身長と体重を記入してください。(【 】に数字を記入)

身長【 】cm

体重【 】kg

問16-1 自分の適正体重を知っていますか。(○は1つ)

1 はい

2 いいえ

問17 ふだん朝食を食べますか。(○は1つ)

1 毎日食べる

2 週に2～3回は食べない

3 週に4～5回は食べない

4 ほとんど食べない

→【「1」を選んだ方は 問18へ】

→【「2」～「4」を選んだ方は 問17-1へ】

問17-1 (問17で「2」～「4」の方) 朝食を毎日食べない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 いつも食べないから

2 時間がないから

3 お腹がすいていないから

4 用意されていない(しない)から

5 その他()

問18 朝食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。(○は1つ)

1 ほとんど毎日

2 週に4～5日

3 週に2～3日

4 週に1日程度

5 ほとんどない

6 同居している家族はいない

問19 夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。(○は1つ)

1 ほとんど毎日

2 週に4～5日

3 週に2～3日

4 週に1日程度

5 ほとんどない

6 同居している家族はいない

問20 あなたのふだん(平日)の夕食時間は何時ごろですか。(○は1つ。「1」の場合は【 】に数字を記入)

1 いつも・大体【 】時頃

2 23時以降

3 決まっていない

4 食べない

問21 主食(ごはん・パン・めんなど)、主菜(肉・魚・卵・豆など)、副菜(野菜・きのこ・海藻など)を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。(○は1つ)

1 ほとんど毎日

2 週に4～5日

3 週に2～3日

4 ほとんどない

問22 あなたのふだんの食生活についてうかがいます。あてはまる番号に○をつけてください。(①～⑬それぞれに○は1つ)

①煮物・みそ汁などの味付けは濃いほうですか。

②漬け物を1日2回以上食べますか。

③味付けをしたおかずしようにゆ・ソース又は塩などをかけますか。

④めん類の汁をほとんど全部飲みほしますか。

⑤野菜を1日5皿位食べますか。
(1皿：トマト半分またはほうれん草のおひたし等の小鉢)

⑥果物を毎日食べますか。

⑦自分にあった食事量や食事のカロリーを知っていますか。

⑧栄養バランスを考えた食事をしていますか。

⑨ゆっくりによく噛んで食事をしますか。

⑩産地や生産者を意識して、農林水産物・食品を選んでいきますか。

⑪地域の食文化や郷土料理を継承していると思いますか。

⑫農林漁業体験を経験したことがありますか。

⑬食品ロス削減のために何らかの行動をしていますか。

はい

いいえ

① 1 2
② 1 2
③ 1 2
④ 1 2
⑤ 1 2
⑥ 1 2
⑦ 1 2
⑧ 1 2
⑨ 1 2
⑩ 1 2
⑪ 1 2
⑫ 1 2
⑬ 1 2

問23 減塩普及に関することについておたずねします。あてはまる番号に○をつけてください。(①～④それぞれに○は1つ)

①自分の食塩摂取目標量(男性7.5g未満/日、女性6.5g未満/日、高血圧治療中の方6g未満/日)を知っていましたか。

②買物の時、栄養成分表示を見ますか。

③減塩の工夫をしていますか。

④減塩のコツにレモンの活用が有効なことを知っていますか

はい

いいえ

① 1 2
② 1 2
③ 1 2
④ 1 2

問24 あなたは、食品の選択や調理について今後どのような知識を身につけたいと思いますか。(○はいくつでも)

1 旬の食材

2 食品表示の見方(原材料、賞味期限など)

3 食品の保存方法

4 安全な食品の選び方

5 食中毒の予防

6 食品中の添加物・保存料について

7 何をどれだけ食べたらよいか

8 栄養バランスのとれた献立の作り方

9 家庭料理の作り方

10 行事食や伝統食の作り方

11 その他()

12 特にない

108

4

5

問25 「食育」という言葉やその意味を知っていますか。(○は1つ)

1 言葉と意味を知っている

3 知らない

2 言葉は知っているが、意味は知らない

※食育とは：生きる上での基本であり、知育・徳育・体育の基礎となるもの。様々な経験を通じて、「食」に関する知識と、「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

問26 「食育」に関心がありますか。(○は1つ)

1 関心がある

2 どちらかといえば、関心がある

3 どちらかといえば、関心がない

4 関心がない

5 わからない

【「1」「2」を選んだ方は 問26-1へ】

【「3」～「5」を選んだ方は 問27へ】

問26-1 (問26で「1」または「2」の方) あなたが「食育」に関心がある理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 子どもの心身の発育のために必要だから

9 自然環境と調和した食料生産が重要だから

2 食生活の乱れが問題になっているから

10 食べ残しや食品廃棄が問題だから

3 肥満ややせすぎが問題になっているから

11 食への感謝や季節感がうすれているから

4 生活習慣病有病者が増加しているから

12 その他 ()

5 食品の安全確保が重要だから

13 特にない

6 食に関する地域の文化・伝統が重要だから

14 わからない

7 食糧自給率の低下と輸入依存が問題だから

8 生産者と消費者の交流・信頼が足りないから

問27 あなたは、今後の食生活で特にどのような面に入れたいと思いますか。(○はいくつでも)

1 家族や友人と食卓を囲む機会の増加

9 自分で調理する機会の増加

2 食事の正しいマナーや作法の習得

10 家族と調理する機会の増加

3 地域性や季節感のある食事の実践

11 規則正しい食生活リズムの実践

4 地場産物の購入

12 おいしさや楽しさなど食の豊かさ

5 食べ残しや食品の廃棄の削減

13 食文化の伝承

6 生産から消費までのプロセスの理解

14 その他 ()

7 食品の安全性への理解

15 特にない

8 栄養バランスのとれた食事の実践

16 わからない

6

地域の状況についておたずねします

問 28 地域の状況についておたずねします。あてはまる番号に○をつけてください。(①～⑤それぞれに○は1つ)

	はい	いいえ
①地域の人や友人と交流し、楽しく過ごしていますか。	1	2
②家族または職場の人たちと楽しく過ごしていますか。	1	2
③地域活動に参加していますか。	1	2
④地域活動に地域の人を誘っていますか。	1	2
⑤この1年間に、健康や医療サービスに関係したボランティア活動(献血など)を行いましたか。(職業として行っているものは除きます)	1	2

問29 あなたにとって、ご自分と地域の人たちとのつながりは強い方だと思えますか。(○は1つ)

1 強いほうだと思う	4 弱い方だと思う
2 どちらかといえば強い方だと思う	5 わからない
3 どちらかといえば弱い方だと思う	

問30 あなたが住んでいる地域や地域とのつながりについておたずねします。なお、「地域」は、行政区から町全体の範囲でお考えください。(①～④それぞれに○は1つ)

	あてはまる 1	どちらか といえは あてはまる 2	どちらか といえは あてはまる 3	どちらか といえは あてはまる 4	どちらか といえは あてはまる 5
①近所付き合いや地域の人々とのつながりは大切だと思う。	1	2	3	4	5
②近所付き合いや地域のイベントなど、地域の人々とながっている感じがする。	1	2	3	4	5
③食をテーマにした取組みやイベントが発見される。	1	2	3	4	5
④日常的に食べ物を購入するのに不便である。	1	2	3	4	5

7

109

身体活動・運動についておたずねします

問31 この1年間、継続して運動をしていますか。(○は1つ)

1 している → 「1」を選んだ方は 問31-1へ

2 していない → 「2」を選んだ方は 問32へ

問31-1 (問31で「1」の方) 1週間あたりの運動日数は何日くらいですか。また、運動を行う場合、平均運動時間はどのくらいですか。(【 】に数字を記入)

1週間あたりの運動日数【 】日

平均運動時間【 】時間【 】分

問32 運動についておたずねします。あてはまる番号に○をつけてください。(①、②それぞれに○は1つ)

	はい	いいえ
①自分の体にあった運動の種類や強度(どのくらいの強さの運動をどのくらいの時間、頻度で行うかの目安)がわかりますか。	1	2
②日常生活の中で重い物や散歩なども含めて、「自分から積極的に外出する方だ」と思いますか。	1	2

問33 1日あたり、どのくらいの時間、歩いていますか(仕事や家事の時間も含む)。(【 】に数字を記入)

約【 】時間【 】分

問34 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防や改善のために、適切な食事、定期的な運動、週に複数回の体重計測のいずれかを実践していますか。(○は1つ)

1 実践して半年以上継続している

2 実践しているが、半年未満である

3 とどききをつけているが、継続的ではない

4 現在はしていないが近いうちにしようと思っている

5 現在はしていないし、しようとも思わない

※メタボリックシンドロームとは：内臓脂肪型肥満によって様々な病気が引き起こされやすくなった状態のことです。

問35 「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」という言葉やその意味を知っていますか。(○は1つ)

1 言葉も意味もよく知っている

2 言葉も知っているし、意味も大体知っている

3 言葉は知っているが、意味はあまり知らない

4 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない

5 言葉も意味も知らない

※ロコモティブシンドロームとは：運動器の障害により要介護のリスクが高い状態になることです。

8

喫煙・飲酒についておたずねします

問36 これまでタバコを吸ったことがありますか。(○は1つ)

1 ある → 「1」を選んだ方は 問36-1へ

2 ない → 「2」を選んだ方は 問37へ

問36-1 (問36で「1」の方) これまでどのくらい吸ったことがありますか。(○は1つ)

合計100本以上または6ヶ月以上吸っている → 「1」を選んだ方は 問36-2へ

2 吸ったことはあるが、合計100本未満で6ヶ月未満である → 「2」を選んだ方は 問37へ

問36-2 (問36-1で「1」の方) ここ1ヶ月、タバコを吸っていますか。(○は1つ)

1 毎日吸う

2 とどきき吸う

3 今は(ここ1ヶ月)吸っていない

問37 喫煙の影響についてあなたが知っていることは、次のどれですか。(○はいくつでも)

1 肺がんになりやすい	8 胃潰瘍になりやすい
2 胃がんになりやすい	9 歯周病になりやすい
3 喉頭がんになりやすい	10 流産・早産がおこりやすくなる
4 ぜんそくになりやすい	11 体重の少ない赤ちゃんが生まれやすい
5 気管支炎・気管支拡張症になりやすい	12 その他()
6 心臓病になりやすい	13 知らない
7 脳卒中(脳梗塞・脳出血)になりやすい	

問38 タバコについてうかがいます。あてはまるものに○をつけてください。(①～③それぞれに○は1つ)

	はい	いいえ
①あなたと同居している家族でタバコを吸っている家族はいますか。	1	2
②タバコには、発がん性物質が含まれていることを知っていますか。	1	2
③タバコを吸わない人にも、タバコの煙の影響があることを知っていますか。(受動喫煙)	1	2

問39 「慢性閉塞性肺疾患(COPD)」という病気を知っていますか。(○は1つ)

1 どんな病気かよく知っている

2 名前は聞いたことがある

3 知らない

問40 これまでお酒を飲んだことがありますか。(○は1つ)

1 ある → 「1」を選んだ方は 問41へ

2 ない → 「2」を選んだ方は 問42へ

9

110

問41 (問40で「1」の方)週に何日アルコール類(日本酒、洋酒、ビール、焼酎など)を飲みますか。(○は1つ)

1 毎日	} 【「1」～「5」を選んだ方は 問41-1へ】
2 週5～6日	
3 週3～4日	
4 週1～2日	
5 月1～3日	} 【「6」～「7」を選んだ方は 問42へ】
6 やめた(1年以上)	
7 ほとんど飲まない(飲めない)	

問41-1 (問41で「1」～「5」の方)1日にどのくらいの量を飲みますか。日本酒に換算してお答えください。(○は1つ)

※日本酒1合(180ml)と同じ量の目安：ビール中瓶1本(500ml)、焼酎割りをグラス1杯、ウイスキーのダブル1杯(60ml)、シングル2杯、ワインをグラス2杯(240ml)

1 1合(180ml)未満	4 3合以上4合(720ml)未満
2 1合以上2合(360ml)未満	5 4合以上5合(900ml)未満
3 2合以上3合(540ml)未満	6 5合(900ml)以上

休養・ストレスについておたずねします

問42 あなたのらだんの睡眠時間はどのくらいですか。(○は1つ。昼寝は除きます。)

1 4時間以下	3 6時間位	5 8時間位
2 5時間位	4 7時間位	6 9時間以上

問43 ここ1ヶ月間、睡眠で休養が十分とれていますか。(○は1つ)

1 十分とれている	3 あまりとれていない
2 まあまあとれている	4 まったくとれていない

問44 あなたは眠れないときに、次のものを利用することがありますか。(○は1つ)

1 アルコール	3 その他()
2 睡眠薬	4 利用しない

問45 ストレスについておたずねします。あてはまる番号に○をつけてください。(①～⑧それぞれに○は1つ)

	はい	いいえ
①現在の生活が、楽しいですか。	1	2
②現在、病気やけがなど体調不良はありませんか。	1	2
③自分の時間を作り楽しんでますか。	1	2
④(男性の方)家事(食事・洗濯・掃除)をしますか。	1	2
⑤ストレスをためないことが大切だと思いますか。	1	2
⑥自分にあったストレス解消法がありますか。	1	2

の嫌な事があった時、気持ちの切り換えができますか。	1	2
⑧嫌な事があった時、気持ちの切り換えが大切だと思いますか。	1	2

問46 あなたはここ1ヶ月間に、ストレスやイライラなどを感じたことがありますか。(○は1つ)

1 たくさんある	} 【「1」～「3」を選んだ方は 問46-1へ】
2 多少ある	
3 あまりない	
4 全くない	
→ 【「4」を選んだ方は 問47へ】	

問46-1 (問46で「1」～「3」の方)あなたは、どのようにストレスを感じましたか。(○はいくつでも)

1 自分や家族の健康状態・病気	5 近隣とのつきあい
2 会社や仕事のこと	6 家計や金銭管理のこと
3 育児や子どもの生活態度	7 その他()
4 親や家族の介護	

問47 あなたは、ここ1ヶ月間の心の状況をどのように感じていますか。(○は1つ)

1 大変よい	2 普通	3 あまりよくない	4 よくない
--------	------	-----------	--------

問48 あなたは、悩みや不安を感じたときに相談できる人がいますか。(○は1つ)

1 はい → 【「1」を選んだ方は 問48-1へ】	2 いいえ → 【「2」を選んだ方は 問49へ】
---------------------------	--------------------------

問48-1 (問48で「1」の方)相談相手はどなたですか。(○はいくつでも)

1 配偶者	3 友人	5 その他()
2 親・兄弟・子ども	4 専門家(医師など)	

問49 全員におたずねします。あなたは、悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか。(○は1つ)

1 ためらいを感じる	3 ためらいを感じない
2 どちらかというためらいを感じる	4 わからない

問50 もし仮に、あなたが、家族など身近な人の「うつ病のサイン」に気づいたとき、精神科医療機関へ相談することを勧めますか。(○は1つ)

1 勧める	2 勧めない	3 わからない
-------	--------	---------

問51 「ゲートキーパー」という言葉やその意味を知っていますか。(○は1つ)

1 言葉と意味を知っている	3 知らない
2 言葉は知っているが、意味は知らない	

※ゲートキーパーとは：自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人のことで、「命の門番」とも位置付けられる人のことです。

問52 今後の暮らしで心配なことはありますか。(○はいくつでも)

1 体調・健康面のこと	7 人との付き合いに関すること
2 仕事のこと	8 住宅のこと
3 老後のこと	9 地域の安全のこと
4 育児や子育てに関すること	10 地震や火事など災害のこと
5 家族のこと	11 その他 ()
6 経済的な問題	12 特に悩みや不安はない

歯についておたずねします

問53 あなたは、現在、自分の歯（差し歯などで歯根だけ残っている歯も含みます）は何本ありますか。永久歯は通常32本（親知らずを含む）です。

約	本
---	---

問54 歯みがきの状況についておたずねします。(○は1つ)

1 毎日1回みがく	3 毎日3回以上みがく	5 みがかない
2 毎日2回みがく	4 とどきみがく	

問55 歯の健康についておたずねします。あてはまる番号に○をつけてください。(①～⑦それぞれに○は1つ)

	はい	いいえ
①かかりつけの歯科医院がありますか。	1	2
②過去1年間に歯科健診を受けましたか。	1	2
③過去1年間に歯石をとってもらったことがありますか。	1	2
④普段食事や歯みがきをしていて歯ぐきから出血することがあります。	1	2
⑤歯間ブラシや糸ようじを使っていますか。	1	2
⑥固いものが食べられますか。	1	2
⑦よく噛んで食べていますか。	1	2

問56 あなたは、今までに歯周病にかかったことがありますか。(○は1つ)

1 ない	2 治療中	3 治療済み	4 未治療・治療中断
------	-------	--------	------------

問57 生活習慣病と歯周疾患との関係について、どう思いますか。(○は1つ)

1 関係があると思う	3 関係はないと思う
2 どちらともいえない	4 わからない

健康増進施策についておたずねします

問58 健康増進施策で、力を入れてほしい事業は何ですか。(○はいくつでも)

1 生活習慣病予防、改善のための食生活、料理に関する健康づくり教室や啓発に関する事業	2 生活習慣病予防、改善のために効果の出る運動について学習できる健康づくり教室や啓発に関する事業	3 親子食育教室や、子どもの料理教室など	4 心の健康に関する事業	5 がんに関する講演会やシンポジウム	6 禁煙教室などのタバコ・アルコールに関する事業	7 歯の健康づくりに関する事業	8 生活習慣病予防を目的に、料理を主とした大人対象の食育に関する事業	9 介護予防に関する事業	10 認知症に関する事業	11 男性の料理教室	12 母親学級や離乳食講習会などの母子保健に関する事業	13 健康福祉まつりや栄養展などの普及啓発に関する事業	14 学校と連携した小・中学生への喫煙防止対策などに関する事業	15 食品衛生講習会などの食品に関する事業	16 性感染症やその他感染症に関する事業	17 がん患者の会	18 その他 ()	19 特になし
--	--	----------------------	--------------	--------------------	--------------------------	-----------------	------------------------------------	--------------	--------------	------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-----------------------	----------------------	-----------	------------	---------

問59 健康に関するお考えなどについておたずねします。あてはまる番号に○をつけてください。(①～⑦それぞれに○は1つ)

	はい	いいえ
①いくつになっても、外出（趣味・旅行・地域の行事など）して、楽しむことが大切だと思いますか。	1	2
②町内に車いすで利用できるトイレがどこにあるか知っていますか。	1	2
③地域の子どもたちと交流する機会がありますか。	1	2
④外出に誘ってくれる友人がいますか。	1	2
⑤車いすの使い方や介助方法を知っていますか。	1	2
⑥健康であっても日々の健康管理が必要であると思いますか。	1	2
⑦介護保険サービスの利用方法を知っていますか。	1	2

問60 基本的な感染対策について、あなたは次のことを実践していますか。

	はい	いいえ
①こまめな換気	1	2
②手洗い・うがい	1	2
③咳エチケットの徹底（マスクの着用）	1	2

フレイルについておたずねします

問61 自分の体脂肪率が適正かどうか知っていますか。

- 1 知っている 2 体脂肪率はわかるが適正かどうかわからない 3 知らない

問62 自分の筋肉量が適正かどうか知っていますか。

- 1 知っている 2 筋肉量はわかるが適正かどうかわからない 3 知らない

問63 フレイルについて知っていますか。

- 1 知っている 2 少し知っている 3 聞いたことはある 4 知らない

問64 フレイル予防には筋肉を衰えさせないことが大事だと知っていますか。

- 1 知っている 2 聞いたことはある 3 知らない

問65 口腔フレイルについて知っていますか。

- 1 よく知っている 2 少し知っている 3 聞いたことはある 4 知らない

問66 口腔機能（咀嚼力・舌口唇の力・嚥下機能等）を含む歯科健診・検査を受けたことがありますか。

- 1 ある 2 ない

問67 フレイル予防のために取り組んでいることがありますか。（〇はいくつでも）

- 1 いきいき百歳体操に参加している 5 地域の活動に参加するようにしている
2 家で筋肉トレーニングをしている 6 取り組んでいることはない
3 毎日たんばく質をとるように心がけている 7 その他（ ）
4 なるべく人と交流するようにしている

問68 健康増進、保健サービスなどに関して、ご意見・ご要望があれば自由に記入してください。

皆様からのご意見を今後の健康づくり事業に活用させていただきます。
ご協力ありがとうございます。
返信用封筒に入れて1月10日（金）までに投函してください（切手は不要です）。

小・中学生の皆さんに協力をお願いします
【健康・食育に関するアンケート】

大崎上島町では、町民の方に健康診査や健康相談などの健康づくりの支援をしています。大人になると健康に気をつかう人が多くなりますが、健康づくりは、若いときから心がけることが大切といわれています。

そこで、大崎上島町の「健康増進計画」を作り、具体的に進めています。この計画は、子どもからお年寄りまで様々な世代に合った健康づくりの目標、方法を明らかにするための計画です。

このたび、計画を見直すため、小・中学生の皆さんの生活や健康などについてうかがいたいと考え、この調査を実施することになりましたので、協力をお願いします。

調査結果は計画づくりの参考にする以外は使用いたしません。名前の記入も必要ありませんので、安心して答えてください。

令和6年12月
大崎上島町長 谷川正芳
(保健衛生課)

記入上の注意

- 1 回答は、以下のように選択肢の番号に○をつけたり、【 】内に数字を記入してください。
- 回答例: 1 ○○ ② ○○ 3 ○○
- 2 回答数は、設問によって「1つ」「あてはまるものすべて」と異なりますので注意してください。回答がその他の場合は () に具体的な内容を書いてください。
- 3 令和6年12月現在でお答えください。
- 4 答えにくいものや答えられない場合は無理に答えないで、次に進んでください。
- 5 学校で回収しますので、回答がわかりましたら提出してください。

あなたとご家族の状況についておたずねします

問1 あなたとあなたのご家族について、お答えください。(あてはまる番号に○、【 】に数字を記入)

(1)性別	1 男	2 女	3 その他 (答えたくないも含む)
(2)一緒に住んでいる家族	1 父親	3 兄弟姉妹	5 祖母
	2 母親	4 祖父	6 養生 7 その他 ()
(3)家族で働いている人	1 父親	3 兄弟姉妹	5 祖母
	2 母親	4 祖父	6 その他 ()
		7 答えたくない	
(4)学年	あてはまるものを○で囲んでください。		
	小学生	4年	5年 6年
	中学生	1年	2年 3年

あなたの生活習慣・毎日のことについておたずねします

問2 学校がある日は、朝、何時頃に起きますか。(数字を記入)

朝【 】時 位

問3 学校がある日は、夜、何時頃に寝ますか。(数字を記入)

夜【 】時 位

問4 寝不足で朝起きるのがつらい、または昼間ねむくて集中できないことがありますか。(○は1つ)

1 ほとんど毎日 2 週に3日位 3 とときどき 4 ほとんどない

問5 あなたはいつ値みがきをしていますか。(あてはまるものすべて○)

1 朝 2 昼 3 夜

問6 鏡などを使って、自分の歯や歯ぐきの様子を観察していますか。(○は1つ)

1 している 2 たまにしている 3 ほとんどしない

問7 家事など家の手伝いをしていますか。(○は1つ)

1 している 2 たまにしている 3 ほとんどしない

気がかりなことや健康状態などについておたずねします

問8 現在、心配なことはありますか。(あてはまるものすべて○)

1 勉強のこと

2 学校のこと

3 進路のこと

4 両親のこと

5 兄弟姉妹のこと

6 その他の家族のこと

7 友だちのこと

8 異性との交際のこと

9 自分の性格のこと

10 自分の健康のこと

11 自分の習い事のこと

12 お金のこと

13 その他()

14 特にない

問9 悩みや困っていることは、だれに相談しますか。(あてはまるものすべて○)

1 母親

2 父親

3 兄弟姉妹

4 祖父母

5 友だち

6 先輩

7 先生

8 インターネット

9 その他()

10 相談する人はいない

11 相談したくない

問10 あなたは、現在の体や心の健康状態をどのように思っていますか。(○は1つ。「3」の場合は悪いと思うところを記入してください。)

1 良い

2 ぶつう

3 悪い

4 わからない

体や心の健康状態で悪いと思うところ:

問11 くだんから気をつけていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべて○)

1 早寝早起き朝ごはんを食べる

2 1日3回の食事をきちんと食べる

3 よく噛んで食べる

4 間食をしない

5 米量や食べる量に気をつける

6 太りすぎない

7 やせすぎない

8 くだんから運動したりして体を動かしている

9 歯みがきなどをして、歯を大切にしている

10 外から帰ってきたときは、うがいや手洗いをしている

11 疲れたときは休む

12 いつも楽しい気持ちでいるようにしている

13 家事を手伝うようにしている

14 ゲームやインターネットをやりますすぎない

15 特に何もしていない(くだんから心がけていることはない)

16 その他()

問12 悩みやストレスを感じたときに、どのように解消していますか(あてはまるものすべて○)

1 友だちとおしゃべり

2 スポーツや音楽

3 ゆっくり休む(寝る)

4 特に何もしていない

5 ストレスを感じることはない

6 その他()

あなたの食生活などについておたずねします

問13 食事の時間を楽しく過ごしていますか。(○は1つ)

1 はい

2 いいえ

3 どちらでもない

問14 朝食を毎日食べていますか。(○は1つ)

1 毎日食べる ⇒問15へ

2 週の4日以上は食べる ⇒問15へ

3 あまり食べない ⇒(1)へ

4 食べない ⇒(1)へ

(1)【問14で3または4を回答した方のみ】朝食を食べない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべて○)

1 起きるのがおそくて食べる時間がない

2 朝は食欲がない、食べたくない

3 食べない習慣になっている

4 太りたくない、ダイエットのため

5 食事が準備されていない

6 その他()

問15 夕食は誰と食べていますか。(○は1つ)

1 家族そろって食べる

2 家族の誰かと食べる

3 ひとりで食べる

4 食べない

5 寮生

6 その他

問16 ふだん家の朝ごはんでは食べているものをお答えください。(あてはまるものすべて○)

1 主食(ごはん・パン(食パン、ロールパン含む)・麺類)

2 主菜(肉・卵・魚・大豆・大豆製品等)

3 副菜(野菜・芋類・大豆以外の豆類・きのこ・海藻等・ちりめん・ごまなどの種実)

4 乳製品(牛乳・ヨーグルト・チーズ等)

5 果物(缶詰以外)

問17 食物アレルギーは、ありますか。(○は1つ。「2」の場合は記入してください。)

1 ない

2 ある

アレルギーをおこした食べ物は何か:

115

問18 あなたは、間食（おやつなどを含む）でどのようなものをよく食べていますか。（あてはまるものすべて○）

1	チョコレート・クッキー・ケーキ等	7	ジュース・ｽﾏｰﾂﾞｰﾘｯｸなどの飲み物
2	スナック菓子・せんべい等	8	牛乳・ヨーグルトドリンク・豆乳
3	ゼリー・プリン・ヨーグルト等	9	アイスクリーム
4	パン・おにぎり	10	その他（ ）
5	カップ麺・麺類	11	（ほとんど）間食はしない
6	果物		

問19 食事のマナーのことや、体によい食べ物、食習慣について、家族と話をすることがありますか。（○は1つ）

1	することがある	2	することはない
---	---------	---	---------

問20 次の項目について、あてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

	はい	いいえ
①自分の食生活摂取目標量を知っていますか。	1	2
②弁当やお菓子に表示されている栄養成分表示*を見ることがありますか。	1	2
③塩分の取りすぎが脳や心臓の病気になることやよいことを知っていますか。	1	2
④野菜はよく食べますか。	1	2

※栄養成分表示とは：食品のエネルギーやたんぱく質、脂質、炭水化物などの栄養成分の量を表示したものです。

問21 あなたは、バランスのよい食事や体によい食べ物について、関心がありますか。（○は1つ）

1	ある	2	ない
---	----	---	----

問22 あなたは「食育*」という言葉を知っていますか。（○は1つ）

1	聞いたことがある	2	聞いたことはない
---	----------	---	----------

※食育とは：生きる基本であり、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と、「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を営む人を育てることです。

問23 大崎上島町の特産物・郷土料理を知っていますか。（○は1つ。「1」の場合は知っているものを記入してください）

1	知っている	2	知らない
知っている特産物・郷土料理：			

健康のことなどについておたずねします

問24 あなたは、今まで大人からお酒（洋酒、日本酒、ビール、焼酎など）をすすめられたことがありますか。（○は1つ）

1	ある	2	ない
---	----	---	----

問25 あなたは、今まで飲酒してみようと思ったことがありますか。（○は1つ）

1	ある	2	ない
---	----	---	----

問26 あなたは、未成年の飲酒は法律で禁止されていることを知っていますか。（○は1つ）

1	知っている	2	知らない
---	-------	---	------

問27 あなたは、お酒を飲み過ぎると、慢性的な病気*や急性中毒*になることがあることを知っていますか。（○は1つ）

1	知っている	2	聞いたことがある	3	知らない
---	-------	---	----------	---	------

※慢性的な病気とは：徐々に発症して治療や経過が長期に及ぶものです。
※急性中毒とは：飲酒后、急に症状が出ることです。

問28 あなたは、今まで大人から喫煙（たばこを吸うこと）をすすめられたことがありますか。（○は1つ）

1	ある	2	ない
---	----	---	----

問29 あなたは、今までたばこを吸ってみようと思ったことがありますか。（○は1つ）

1	ある	2	ない
---	----	---	----

問30 あなたは、未成年の喫煙は法律で禁止されていることを知っていますか。（○は1つ）

1	知っている	2	知らない
---	-------	---	------

問31 家族で、たばこを吸っている人はいいますか。（○は1つ）

1	いる	2	いない
---	----	---	-----

問32 あなたは、たばこの煙がたばこを吸わない人の健康に与える影響について、どう思っていますか。（○は1つ）

1	非常に悪い影響がある	3	健康に影響はない
2	それほど大きな影響ではない	4	わからない

問33 日頃から個人的に運動などをしていますか。（○は1つ）

1	自分から週3回以上している	3	（ほとんど）していない
2	自分から週1・2回している		

問34 心と体の健康に、食事や運動、休養（睡眠）などの生活習慣が深く関係していることを知っていますか。（○は1つ）

1	よく知っている	3	あまり知らない
2	知っている	4	まったく知らない

問35 運動をすることは楽しいですか。(○は1つ)

1 とても楽しい	3 どちらかといえば楽しくない
2 どちらかといえば楽しい	4 まったく楽しくない

問36 あなたは、健康な生活習慣が身についていると思いますか。(○は1つ)

1 そう思う	3 あまりそう思わない ⇒ (1) へ
2 ややそう思う	4 まったく思わない ⇒ (1) へ

(1) 【問36で3または4と答えた方のみ】 身につけていない自分の生活習慣は何ですか。
(あてはまるものすべて○)

1 食生活	3 休養（睡眠を含む）	5 その他（ ）
2 運動	4 生活のリズム	

問37 次の項目について、あてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	はい	いいえ
①いくつになっても、外出（趣味・旅行・地域の行事など）して、楽しむことが大切だと思えますか。	1	2
②いまままでに高齢者を外出に誘ったことがありますか。	1	2
③車いすの使い方や手助けの仕方を知っていますか。	1	2
④いまままでに車いすに乗った高齢者に声をかけたり、手助けしたことがありますか。	1	2
⑤車いすで利用できる町内の施設を知っていますか。	1	2

問38 基本的な感染対策について、あなたが知っていること、実践していることは何ですか。
知っているもの、実践しているものすべてに○をつけてください。

	知っている	実践している
①こまめな換気	1	2
②手洗い・うがい	1	2
③咳エチケットの徹底（マスクの着用など）	1	2

皆さんのご意見を今後の健康づくり事業に活用させていただきます。
す。ご協力ありがとうございます。
回答が伝わったら学校に提出してください。